

多治見市
令和2年度 市民意識調査
報告書

令和3年2月

多治見市

令和2年度市民意識調査について

多治見市では、市民の生活意識や市政全般、今後のまちづくりについての意見、要望などを把握することにより、今後の住みよいまちづくりに向けての各種施策の基礎資料を得るために、隔年で市民意識調査を実施しています。

令和2年度の調査では、通常の設定問とは別に、新型コロナウイルス感染症に関する設定問を追加しました。

本報告書では、第I部で新型コロナウイルス感染症関連に関する設定問、第II部および第III部で通常の設定問の調査結果をまとめましたのでこれを公表します。

新型コロナウイルス感染症をはじめ、全般において、これまでの市の取り組みを高く評価していただきました。今後は、課題を整理し、まちづくりに生かしてまいります。

調査結果概要

I 回収結果

(1) 一般調査

※回収数は全体で前回比37%増、特に広報紙綴込みの回収数が前回比84%増

調査時期：令和2年8月～9月

調査対象：市内在住の16歳以上の男女2,000人 ()はH30

		回収票数	回収率
郵送配布 (※)	郵送回収	847 (708)	42.35% (35.4%)
	インターネット回収	124 (89)	6.20% (4.45%)
広報紙綴込み・郵送回収		455 (247)	
合計		1,426 (1044)	

(2) 高校生調査

※回収率は15%減

調査時期：令和2年8月～9月

調査対象：市内4校の高校2年生839人 ()はH30

	依頼数	回収票数	回収率
インターネット回収	839 (840)	456 (580)	54.35% (69.5%)

2 回答結果（概要）

(1) 通常の設問（一般）

① 市政への満足度…41/42項目で向上（H30年比）

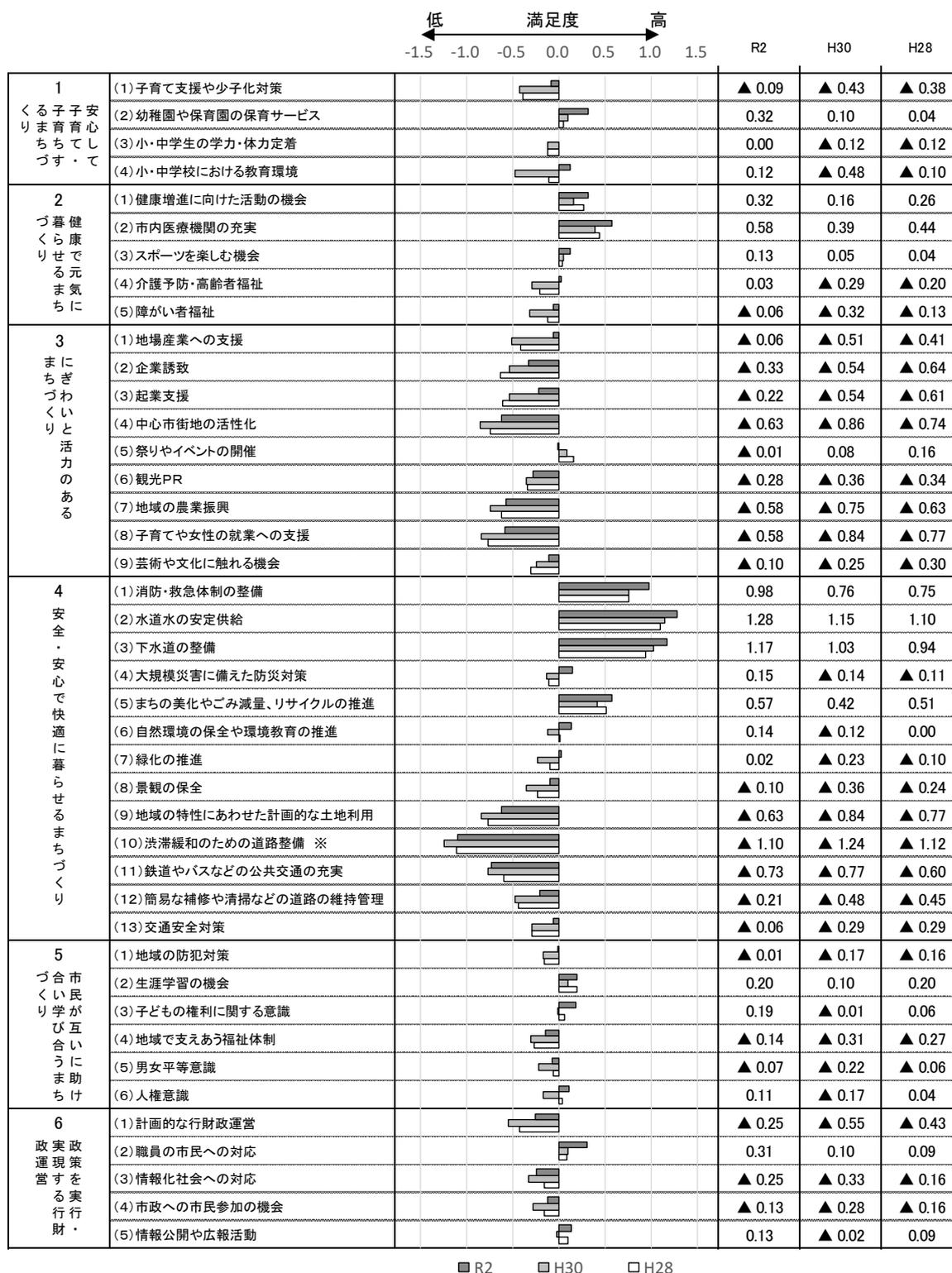
※「祭りやイベントの開催」のみ低下

【向上した主な項目（上位5項目）】

1-(4)「小・中学校における教育環境」0.64↑、3-(1)「地場産業への支援」0.45↑、

1-(1)「子育て支援や少子化対策」0.34↑、

2-(4)「介護予防・高齢者福祉」3-(3)「起業支援」0.32↑



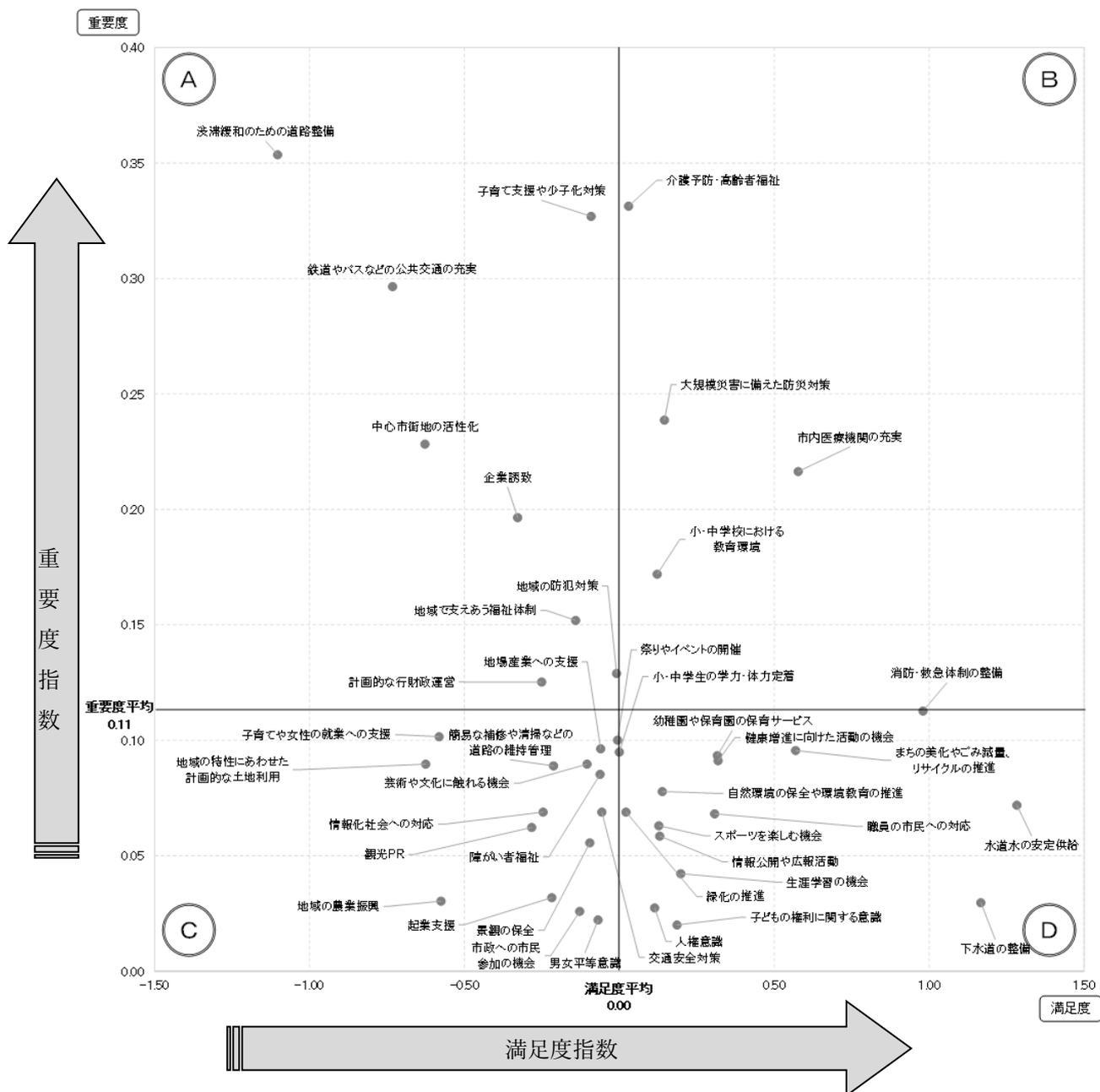
■ R2 ■ H30 □ H28

②今後力を入れてほしい施策 ※上位5項目

順位	施策名			【参考】前回調査時
1	渋滞緩和のための道路整備	35.4%	→	渋滞緩和のための道路整備 42.4%
2	介護予防・高齢者福祉	33.1%	→	介護予防・高齢者福祉 32.4%
3	子育て支援や少子化対策	32.7%	↑	鉄道やバスなどの公共交通の充実 30.4%
4	鉄道やバスなどの公共交通の充実	29.7%	↓	大規模災害に備えた防災対策 25.0%
5	大規模災害に備えた防災対策	23.9%	↓	子育て支援や少子化対策 24.9%

※表中、矢印(→↑↓)は前回順位との比較

③「市政への満足度（満足度）」と「今後力を入れてほしい施策（重要度）」による散布図

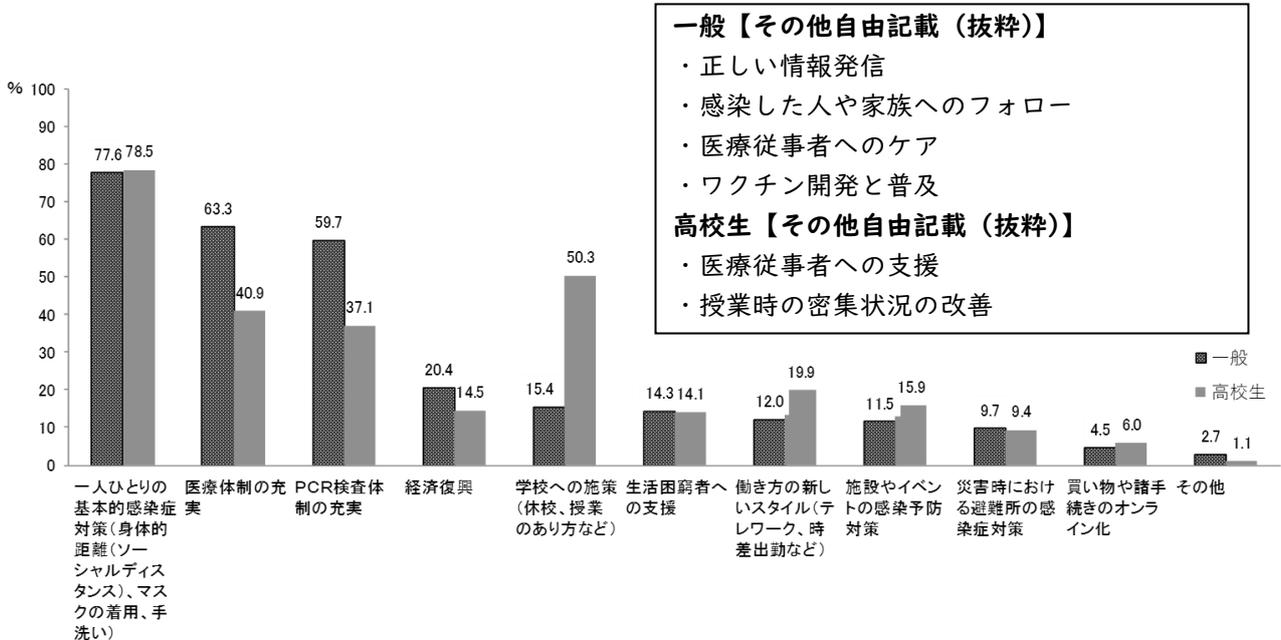


散布図からまとめた重要度が高い項目

<p>A=満足度が低く、重要度が高い (最優先で改善すべき施策)</p>	<p>B=満足度も重要度も高い (現状の水準を引き続き重点的に維持すべき施策)</p>
<p>①渋滞緩和のための道路整備 ②子育て支援や少子化対策 ③鉄道やバスなどの公共交通の充実 ④中心市街地の活性化 ⑤企業誘致 ⑥地域で支えあう福祉体制 ⑦地域の防犯対策 ⑧計画的な行財政運営</p> <p style="text-align: right;">} New</p>	<p>①大規模災害に備えた防災対策 ②市内医療機関の充実 ③介護予防・高齢者福祉 ④小・中学校における教育環境</p> <p><参考> ③④は前回 A だったが、満足度が向上し B となった。</p>

(2) 新型コロナウイルス感染症に関連する関係する設問

① 今後、新型コロナウイルス感染症の対策として優先度が高いと考える項目
(3つまで回答)



② 新型コロナウイルス感染症への多治見市の学校教育に対する評価

(ア) 休校の対応

(国が、3/2~5/24 まで一斉休校としたこと)

(イ) 夏休みの対応

(市が夏季休暇を9日間に短縮したこと)

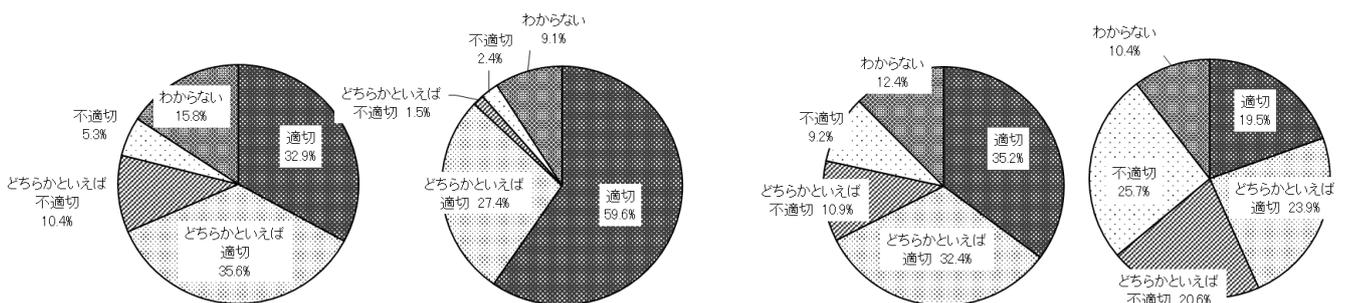
※県立高校の夏季休暇は15~18日間

【一般】

【高校生】

【一般】

【高校生】



「適切」「どちらかといえば適切」の割合
一般:68.5%、高校生:87.0%

「適切」「どちらかといえば適切」の割合
一般:67.6%、高校生:43.4%

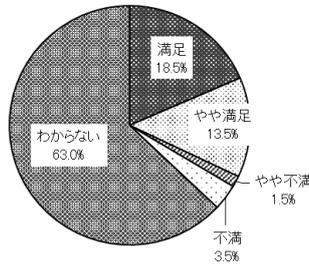
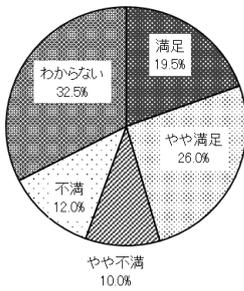
③ 多治見市独自の経済対策

(ア) テイクアウト 200 円引き

『タジミールゴー』

【一般】

【高校生】



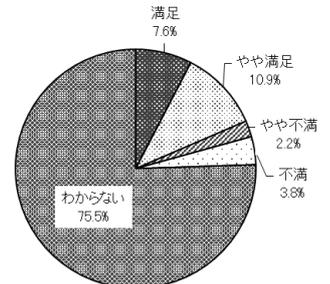
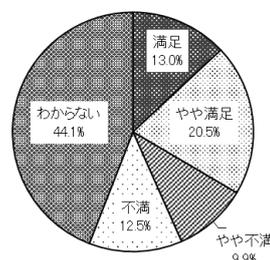
「満足」「やや満足」の割合
一般:45.5%、高校生:32.0%

(イ) 美濃焼購入最大 40%引き

『美濃焼GO』

【一般】

【高校生】

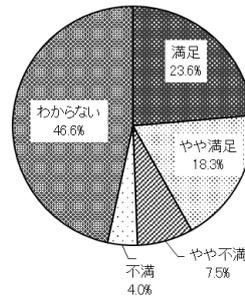
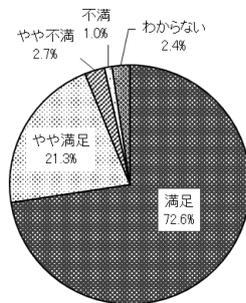


「満足」「やや満足」の割合
一般:33.5%、高校生:18.5%

④ 特別定額給付金の支給に関して多治見市のスピード感

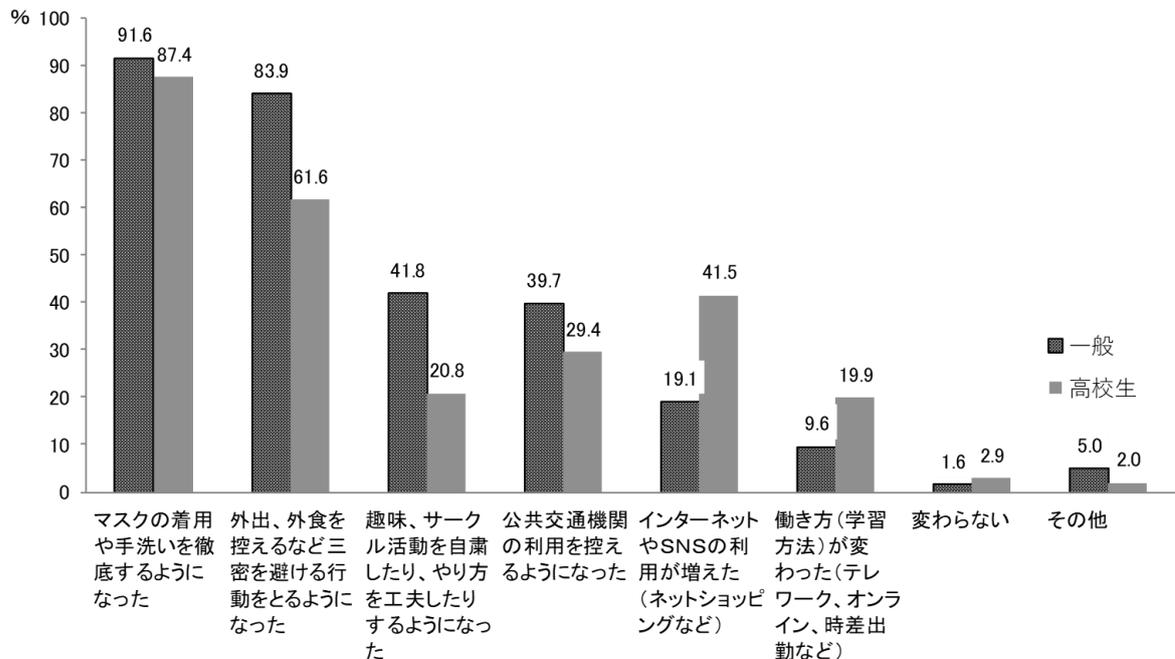
【一般】

【高校生】



「満足」「やや満足」の割合
一般:93.9%、高校生:41.9%

⑤ 新型コロナウイルス感染症のまん延による自分の生活の変化（複数回答可）



一般【その他自由記載（抜粋）】

- ・ 仕事（収入）が少なくなった、失業した
- ・ 子どもの休校で働けなかった
- ・ 通院を控えた
- ・ 庭を畑に変えて子どもと野菜を作り始めた
- ・ 不安感が強くなった
- ・ 意識の差による人間関係の悪化

高校生【その他自由記載（抜粋）】

- ・ 自分のやりたいことができなくなった
- ・ 政治について考える機会が増えた
- ・ 家でより楽しく暮らせるように工夫した

目次

第Ⅰ部 新型コロナウイルス感染症関連	
第Ⅰ章 調査結果	2
1. 一般向け調査	2
1-1 今後、新型コロナウイルス感染症の対策として優先度が高いと考える項目	2
1-2 新型コロナウイルス感染症への多治見市の学校教育に対する評価	3
1-3 多治見市独自の経済対策	4
1-4 特別定額給付金の支給に関して多治見市のスピード感	5
1-5 新型コロナウイルス感染症のまん延による自分の生活の変化	5
2. 高校生向け調査	6
2-1 今後、新型コロナウイルス感染症の対策として優先度が高いと考える項目	6
2-2 新型コロナウイルス感染症への多治見市の学校教育に対する評価	7
2-3 多治見市独自の経済対策	8
2-4 特別定額給付金の支給に関して多治見市のスピード感	9
2-5 新型コロナウイルス感染症のまん延による自分の生活の変化	9
第Ⅱ部 市民意識調査 一般	
第Ⅰ章 調査概要	12
1. 調査目的	12
2. 調査方法等	12
3. 回収結果	12
4. 調査報告書における表および図表の見方	12
第Ⅱ章 調査結果	13
1. 基本属性	13
1-1 性別	13
1-2 年齢	13
1-3 小学校区	14
1-4 職業	14
2. 住みやすさと居留意向	15
2-1 住みやすさ	15
2-2 今後の居留意向	19
3. 生活実態および市民意識	22
3-1 生活実態および市民意識	22
4. 市政全般について	26
4-1 市政への満足度	26
4-2 市の重点施策	44
5. 情報提供について	50
5-1 広報たじみ【Tajimist (たじみすと)】を読んでいますか	50

5-2	広報たじみ【Tajimist (たじみすと)】の内容	52
5-3	市のホームページ	56
5-4	FMたじみ (エフエムピピ)	58
5-5	市の広報手段	60

第Ⅲ部 市民意識調査 高校生

第1章	調査概要	64
1.	調査目的	64
2.	調査方法等	64
3.	回収結果	64
第2章	調査結果	65
1.	基本属性	65
2.	住みやすさと居住意向	66
3.	生活実態および市民意識	68
3-1	生活実態および市民意識	68
4.	市政全般について	69
4-1	市政への満足度	69
4-2	市の重点施策	71
5.	情報提供について	72
5-1	広報たじみ【Tajimist (たじみすと)】を読んでいますか	72
5-2	広報たじみ【Tajimist (たじみすと)】の内容	73
5-3	市のホームページ	74
5-4	FMたじみ (エフエムピピ)	75
5-5	市の広報手段	76

参考資料

依頼文書および調査票	78
------------	----

第 I 部

新型コロナウイルス感染症関連

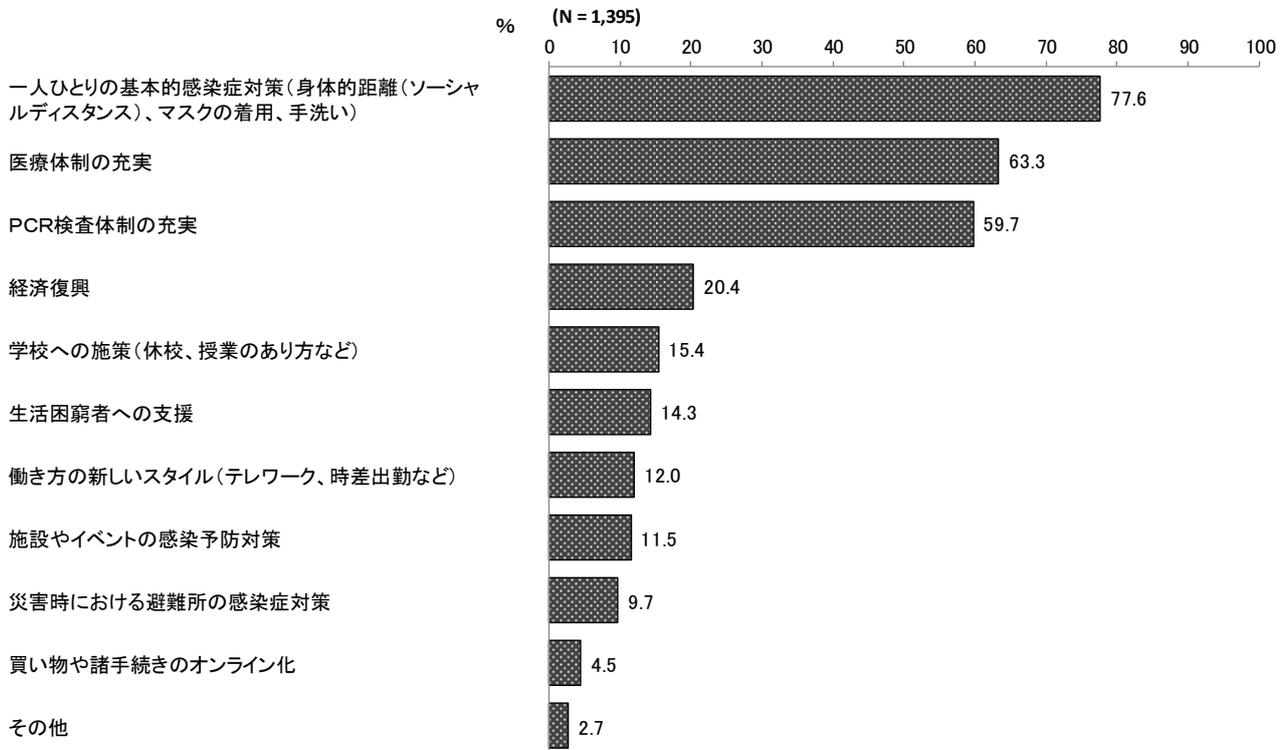
第1章 調査結果

1. 一般向け調査

1-1 今後、新型コロナウイルス感染症の対策として優先度が高いと考える項目

「一人ひとりの基本的感染症対策（身体的距離（ソーシャルディスタンス）、マスクの着用、手洗い）」が77.6%で最も高く、次いで「医療体制の充実」が63.3%、「PCR検査体制の充実」が59.7%となっている。

図 1-1 優先度が高いと考える項目



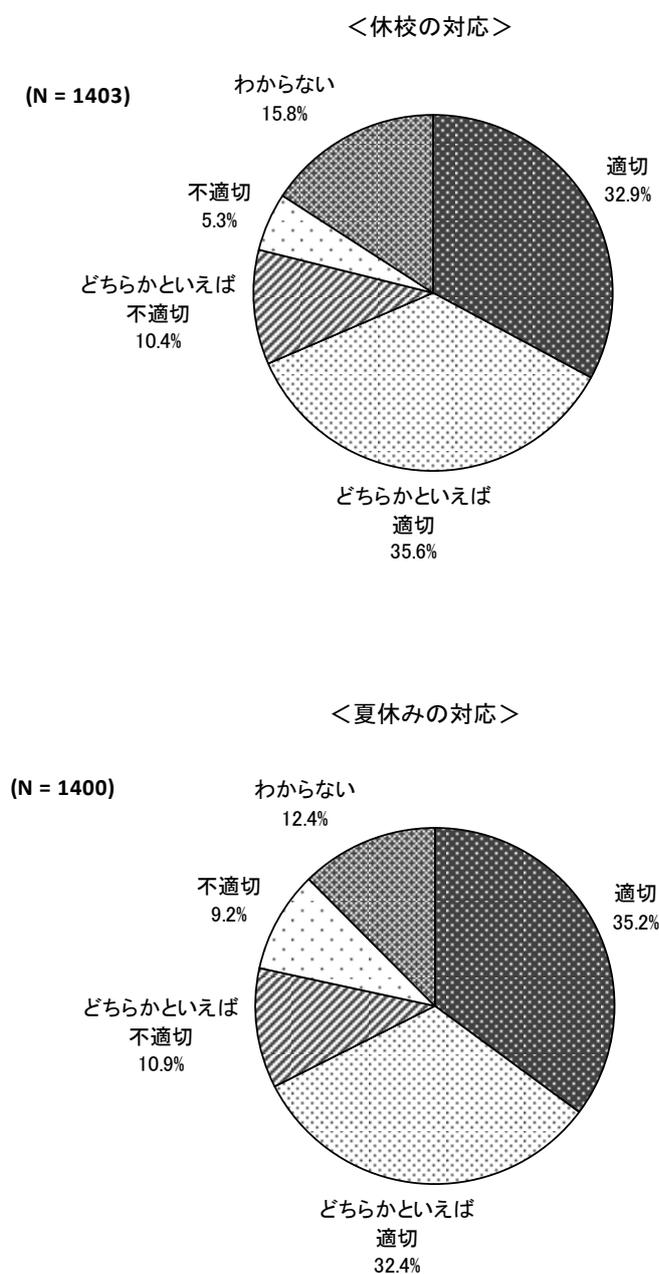
1-2 新型コロナウイルス感染症への多治見市の学校教育に対する評価

<休校の対応>では、「どちらかといえば適切」が35.6%で最も高く、次いで「適切」が32.9%、「わからない」が15.8%となっている。

<夏休みの対応>では、「適切」が35.2%で最も高く、次いで「どちらかといえば適切」が32.4%、「わからない」が12.4%となっている。

「適切」と「どちらかといえば適切」を合わせた“適切と感じている人”は、<休校の対応>で68.5%、<夏休みの対応>で67.6%と、<休校の対応>の方がやや高くなっている。

図 1-2 学校教育に対する評価



1-3 多治見市独自の経済対策

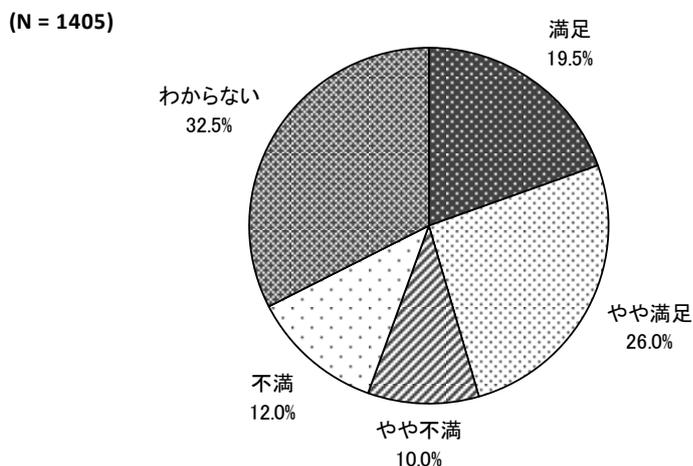
『タジミールゴー』では、「わからない」が32.5%で最も高く、次いで「やや満足」が26.0%、「満足」が19.5%となっている。

『美濃焼GO』では、「わからない」が44.1%で最も高く、次いで「やや満足」が20.5%、「満足」が13.0%となっている。

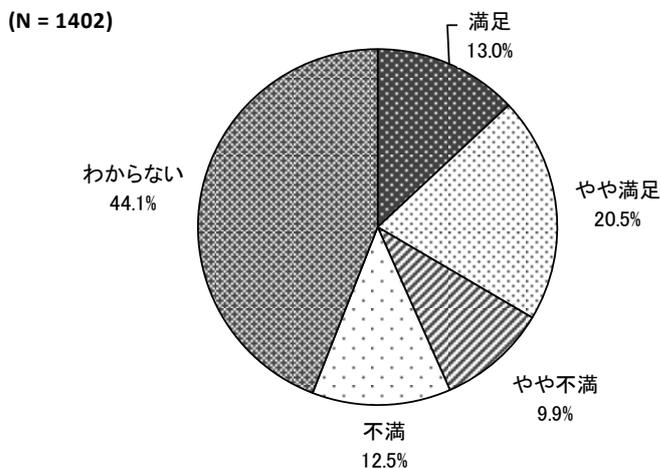
「満足」と「やや満足」を合わせた“満足と感じている人”は、『タジミールゴー』で45.5%、『美濃焼GO』で33.5%と『タジミールゴー』の方が12.0ポイント高くなっている。

図 1-3 多治見市独自の経済対策

<テイクアウト 200 円引き『タジミールゴー』>



<美濃焼購入最大 40%引き『美濃焼GO』>

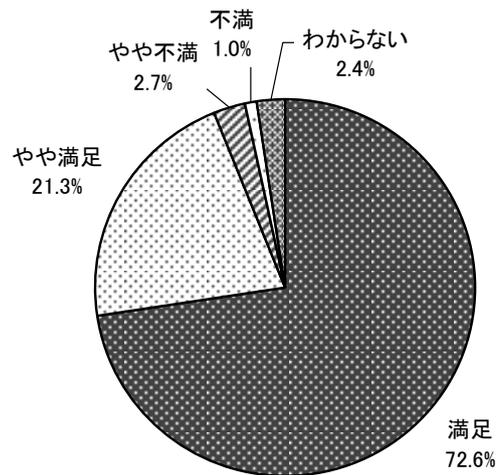


1-4 特別定額給付金の支給に関して多治見市のスピード感

「満足」が72.6%で最も高く、次いで「やや満足」が21.3%、「やや不満」が2.7%となっている。
また、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足と感じている人”は93.9%、「不満」と「やや不満」を合わせた“不満と感じている人”は3.7%であり、“満足と感じている人”が“不満と感じている人”を非常に大きく上回った。

図 1-4 多治見市のスピード感

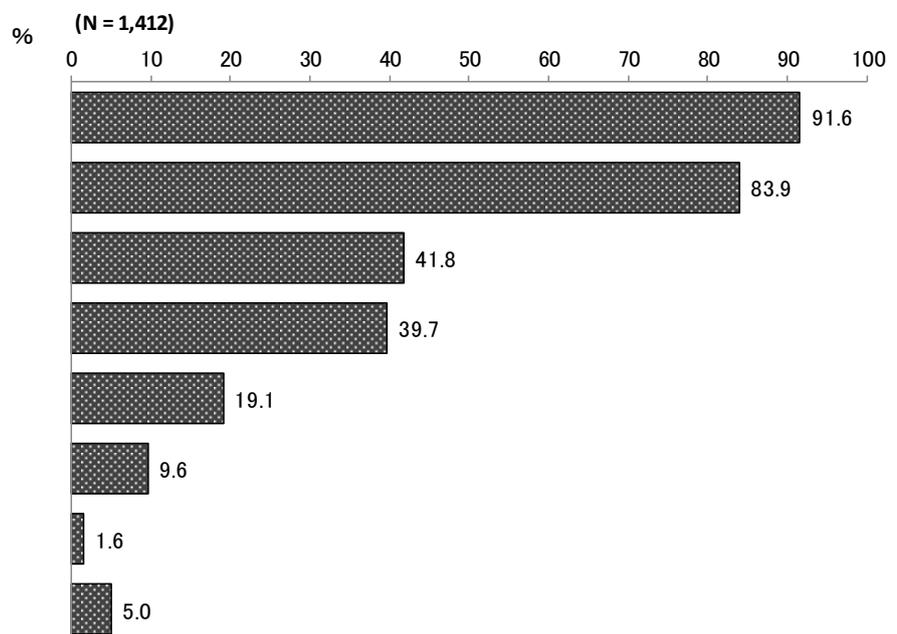
(N = 1407)



1-5 新型コロナウイルス感染症のまん延による自分の生活の変化

「マスクの着用や手洗いを徹底するようになった」が91.6%で最も高く、次いで「外出、外食を控えるなど三密を避ける行動をとるようになった」が83.9%、「趣味、サークル活動を自粛したり、やり方を工夫したりするようになった」が41.8%となっている。

図 1-5 自分の生活の変化

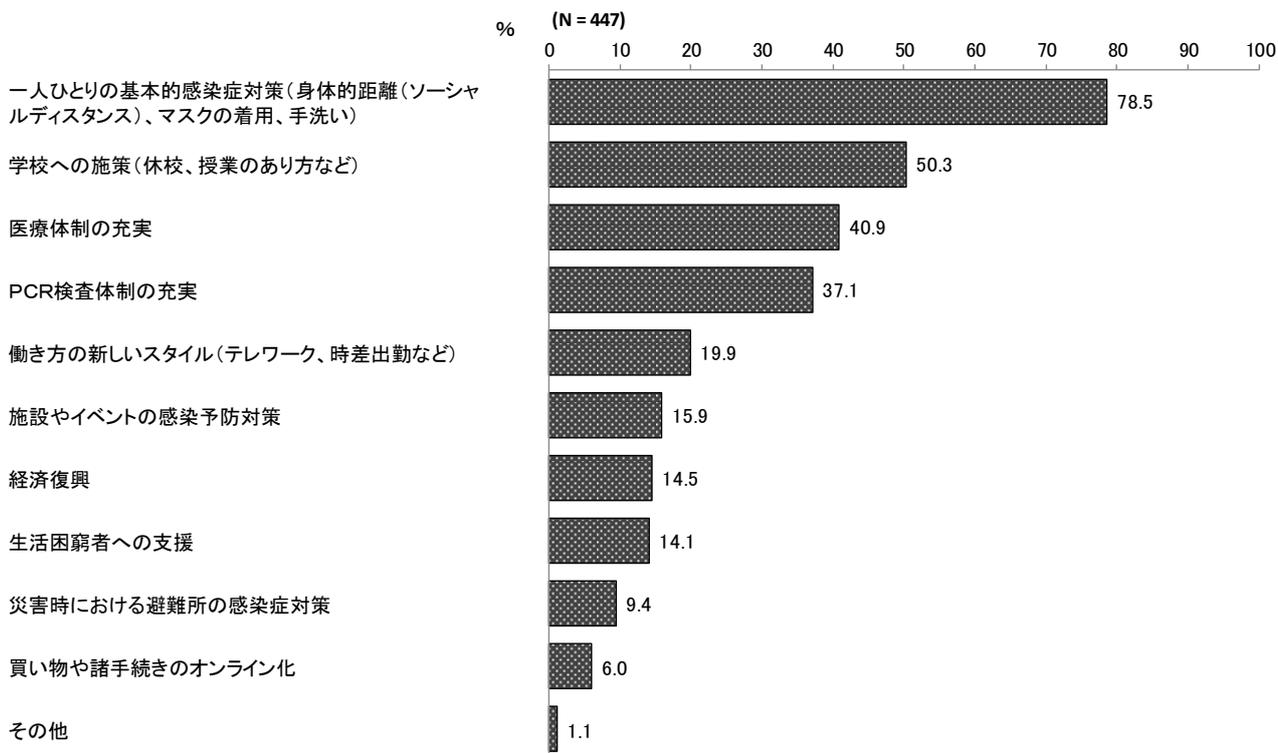


2. 高校生向け調査

2-1 今後、新型コロナウイルス感染症の対策として優先度が高いと考える項目

「一人ひとりの基本的感染症対策（身体的距離（ソーシャルディスタンス）、マスクの着用、手洗い）」が78.5%で最も高く、次いで「学校への施策（休校、授業のあり方など）」が50.3%、「医療体制の充実」が40.9%となっている。

図 2-1 優先度が高いと考える項目



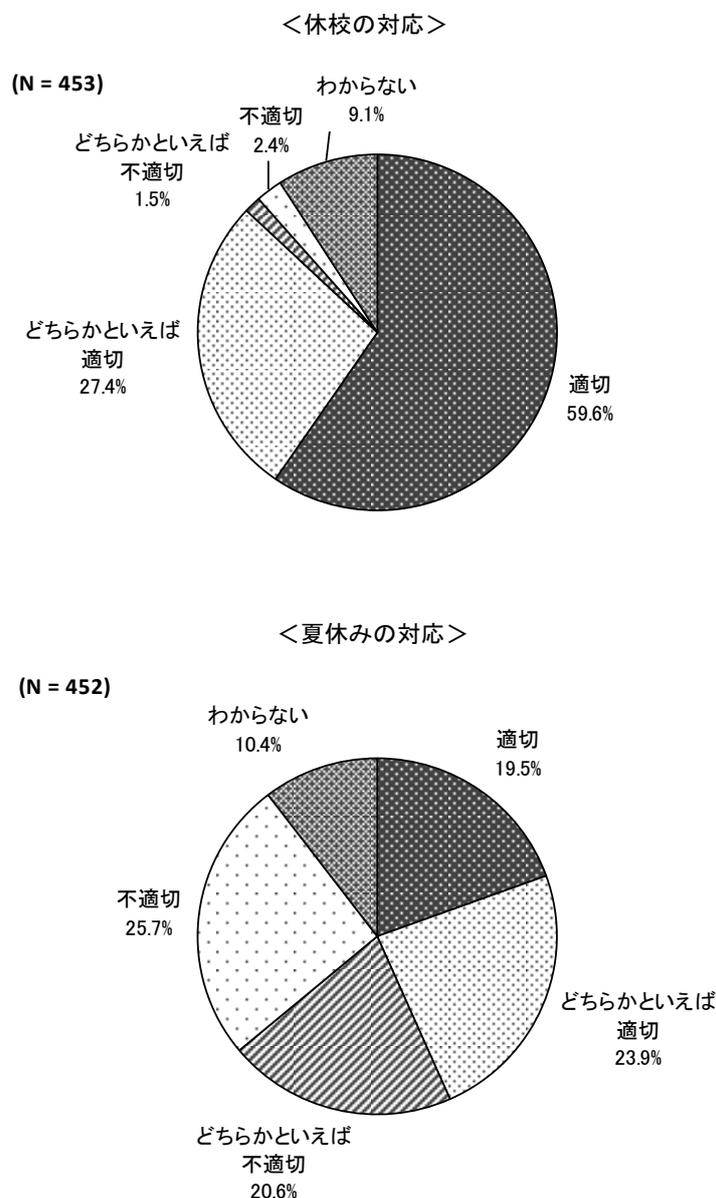
2-2 新型コロナウイルス感染症への多治見市の学校教育に対する評価

＜休校の対応＞では、「適切」が59.6%で最も高く、次いで「どちらかといえば適切」が27.4%、「わからない」が9.1%となっている。

＜夏休みの対応＞では、「不適切」が25.7%で最も高く、次いで「どちらかといえば適切」が23.9%、「どちらかといえば不適切」が20.6%となっている。

「適切」と「どちらかといえば適切」を合わせた“適切と感じている人”は、＜休校の対応＞で87.0%、＜夏休みの対応＞で43.4%と、＜休校の対応＞の方が大幅に高い。また、＜夏休みの対応＞は「不適切」と「どちらかといえば不適切」を合わせた“不適切と感じている人”が46.3%となっており、“適切と感じている人”をやや上回っている。

図 2-2 学校教育に対する評価



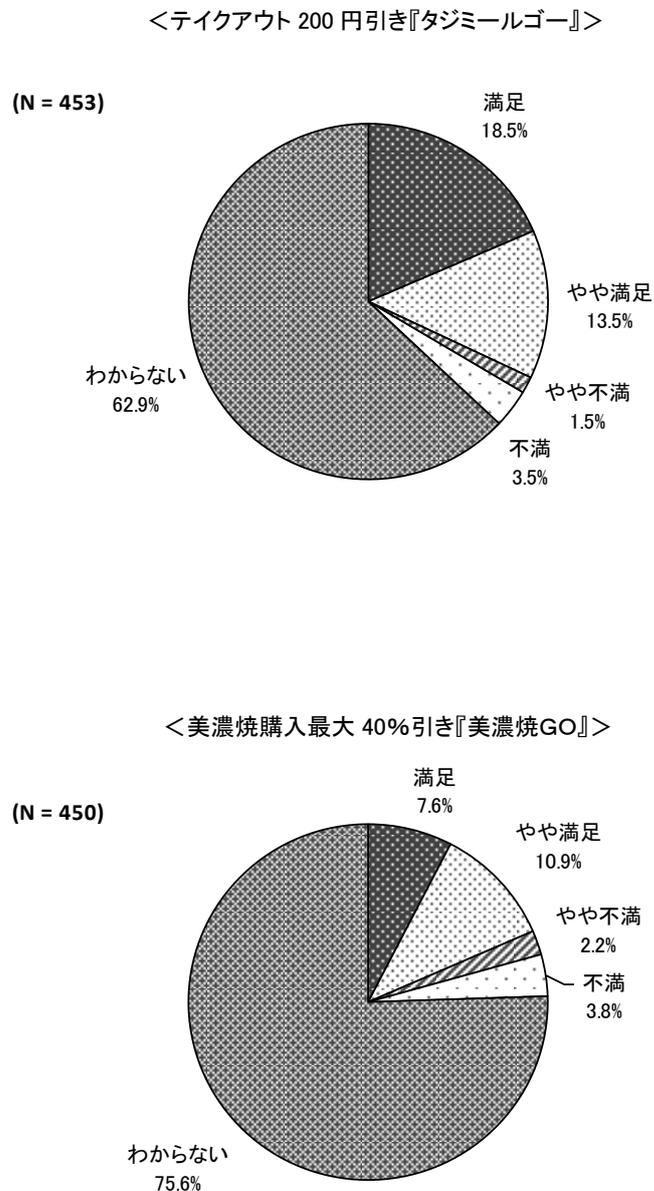
2-3 多治見市独自の経済対策

『タジミールゴー』では、「わからない」が62.9%で最も高く、次いで「満足」が18.5%、「やや満足」が13.5%となっている。

『美濃焼GO』では、「わからない」が75.6%で最も高く、次いで「やや満足」が10.9%、「満足」が7.6%となっている。

「満足」と「やや満足」を合わせた“満足と感じている人”は、『タジミールゴー』で32.0%、『美濃焼GO』で18.5%と『タジミールゴー』の方が13.5ポイント高くなっている。

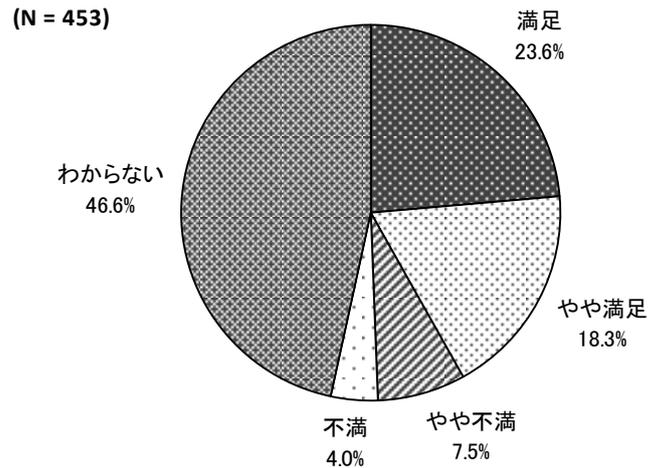
図 2-3 多治見市独自の経済対策



2-4 特別定額給付金の支給に関して多治見市のスピード感

「わからない」が46.6%で最も高く、次いで「満足」が23.6%、「やや満足」が18.3%となっている。また、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足とじている人”は41.9%、「不満」と「やや不満」を合わせた“不満とじている人”は11.5%であり、“満足とじている人”が“不満とじている人”を30.4ポイント上回った。

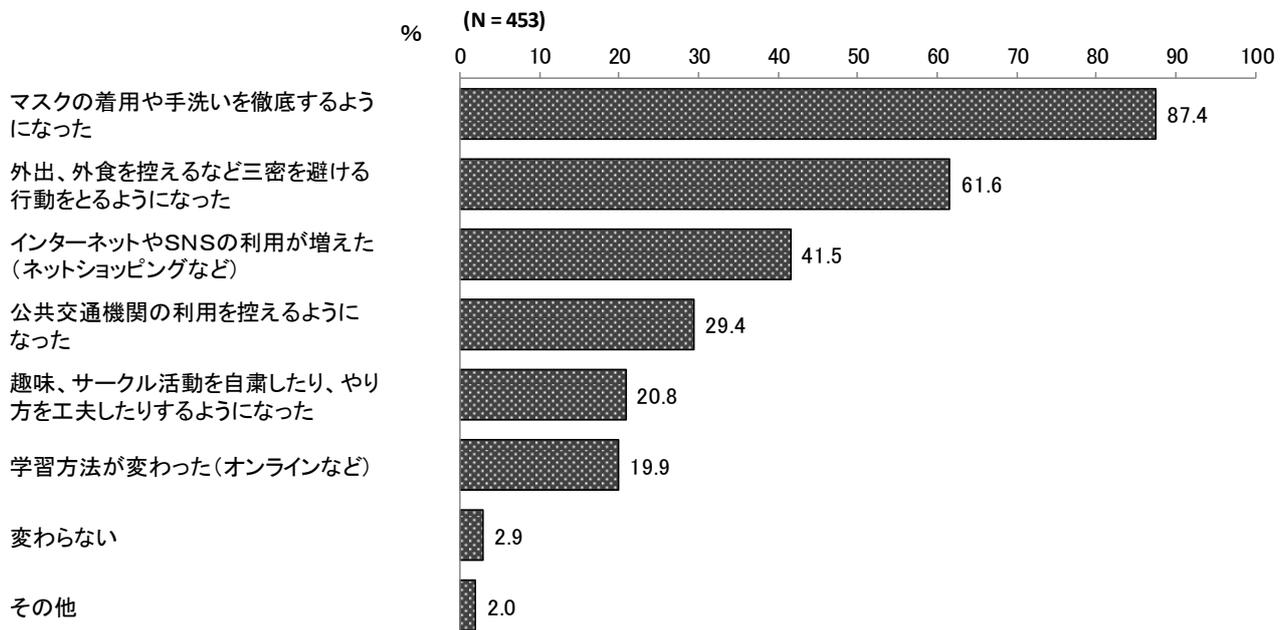
図 2-4 多治見市のスピード感



2-5 新型コロナウイルス感染症のまん延による自分の生活の変化

「マスクの着用や手洗いを徹底するようになった」が87.4%で最も高く、次いで「外出、外食を控えるなど三密を避ける行動をとるようになった」が61.6%、「インターネットやSNSの利用が増えた（ネットショッピングなど）」が41.5%となっている。

図 2-5 自分の生活の変化



第Ⅱ部

市民意識調査 一般

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市民の生活意識や市政全般、今後のまちづくりについての意見、要望などを把握することにより、今後の住みよいまちづくりに向けての各種施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査方法等

- 調査地域 多治見市全域
- 調査方法 ①市内在住の16歳以上の男女2,000人（無作為抽出）
⇒郵送配付、郵送回収およびインターネット回収
②広報たじみ読者
⇒広報たじみ綴込み、郵送回収
- 調査時期 令和2年8月～9月

3. 回収結果

		回収票数	回収率	有効回収票数	無効票
郵送配付	郵送回収	847	42.35%	847	0
	インターネット回収	124	6.20%	124	0
広報たじみ綴込み・郵送回収		455	—	455	0
合計		1,426	—	1,426	0

4. 調査報告書における表および図表の見方

- ①図表内の「N」は、設問に対する回答の合計数である。
- ②集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ③複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ④本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

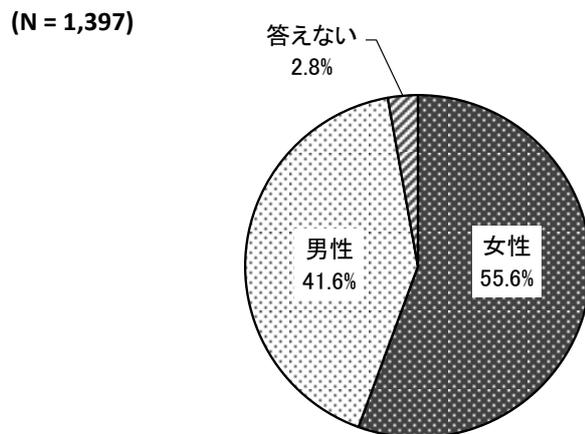
第2章 調査結果

1. 基本属性

1-1 性別

「女性」が55.6%、「男性」が41.6%、「答えない」が2.8%であった。

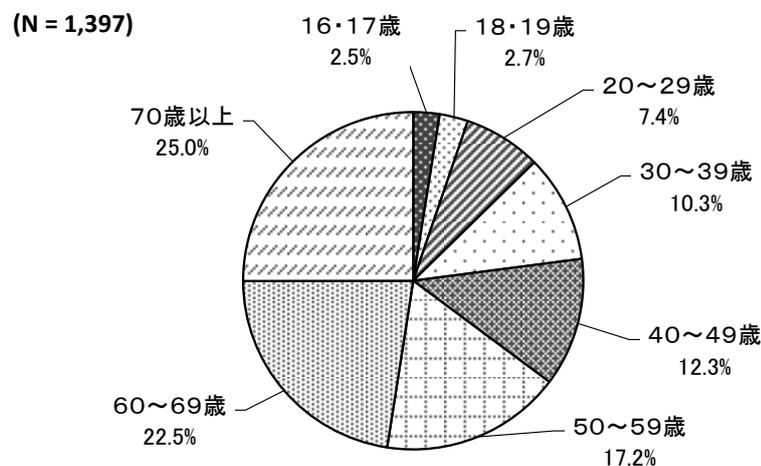
図 1-1-1 「性別」



1-2 年齢

「70歳以上」が25.0%と最も高く、次いで「60～69歳」が22.5%、「50～59歳」が17.2%となっている。

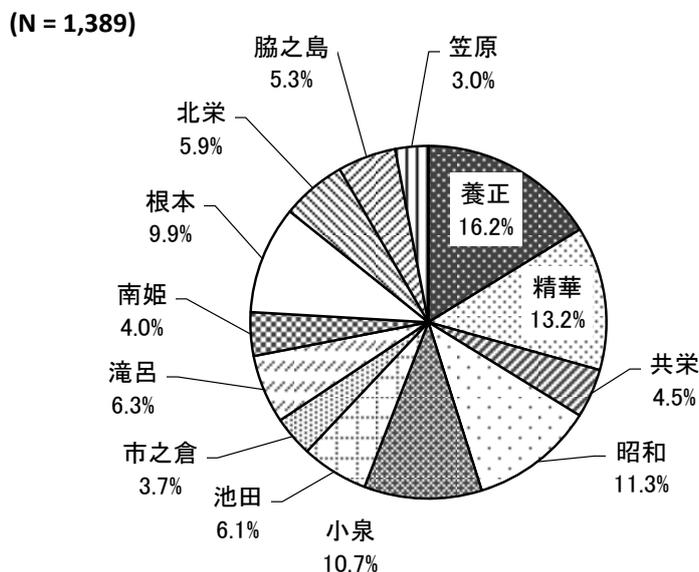
図 1-2-1 「年齢」



1-3 小学校区

「養正」が16.2%と最も高く、次いで「精華」が13.2%、「昭和」が11.3%となっている。

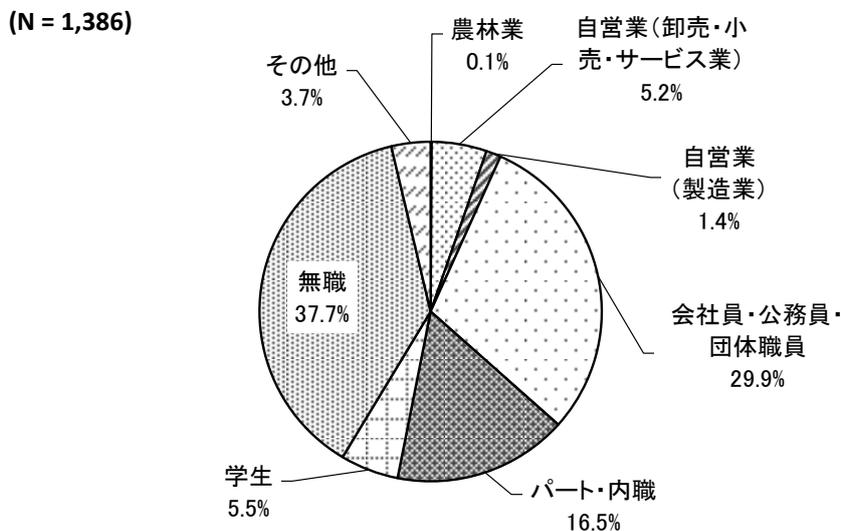
図 1-3-1 「小学校区」



1-4 職業

「無職」が37.7%と最も高く、次いで「会社員・公務員・団体職員」が29.9%、「パート・内職」が16.5%となっている。

図 1-4-1 「職業」



2. 住みやすさと居住意向

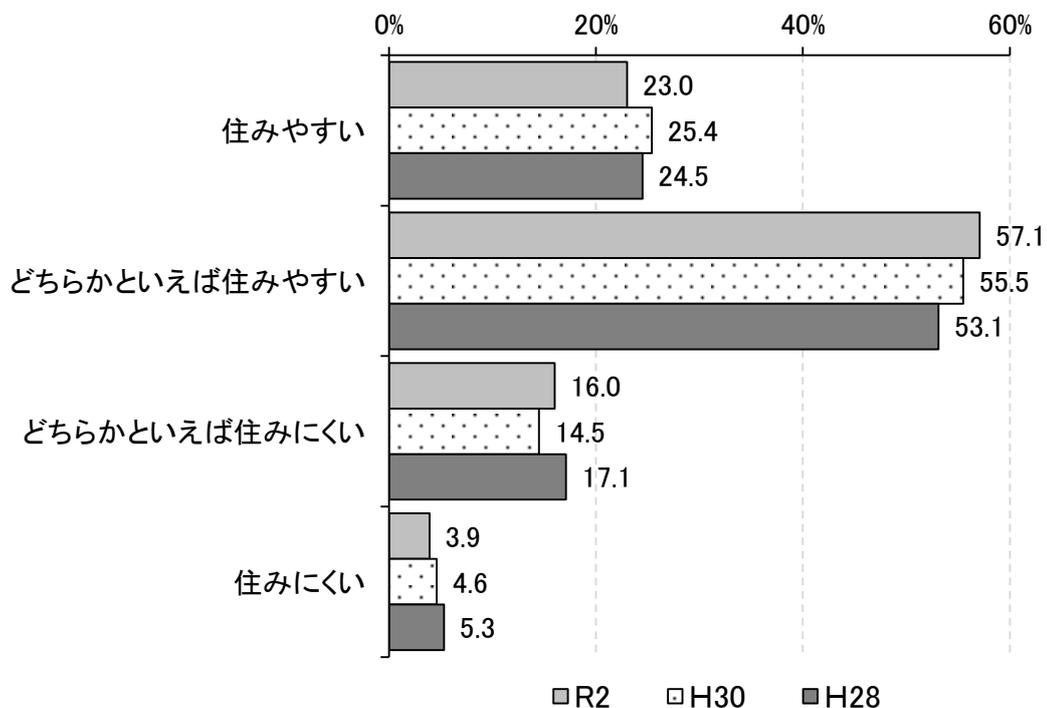
2-1 住みやすさ

「どちらかといえば住みやすい」が57.1%と最も高く、次いで「住みやすい」が23.0%、「どちらかといえば住みにくい」が16.0%となっている。

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”は80.1%、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた“住みにくいと感じている人”は19.9%となっている。

過去の調査と比較すると、「どちらかといえば住みやすい」は年々増加しているものの、“住みやすいと感じている人”は平成30年度と比べやや減少している。

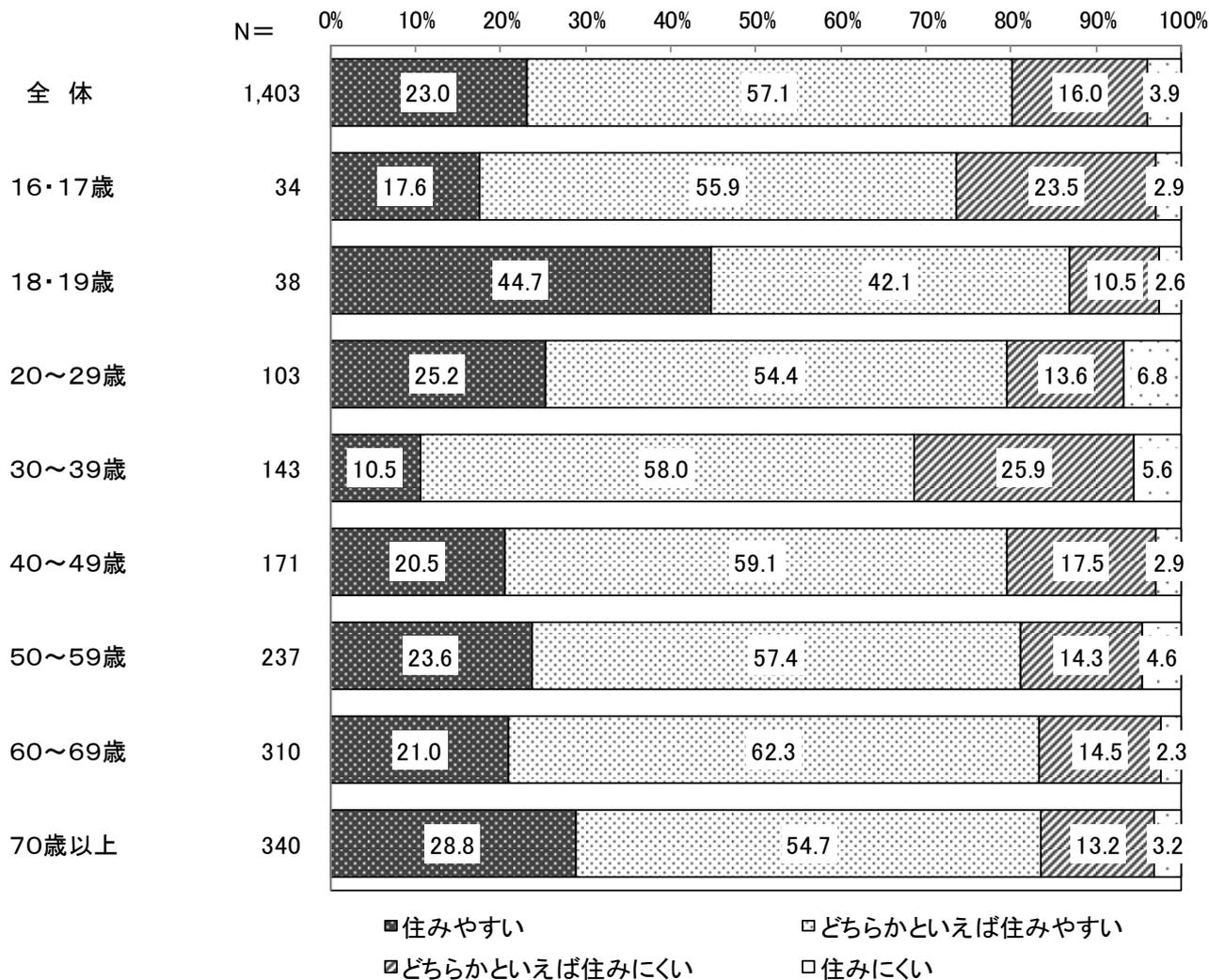
図 2-1-1 「住みやすさ」(過年度比較)



【市民意識調査 一般】

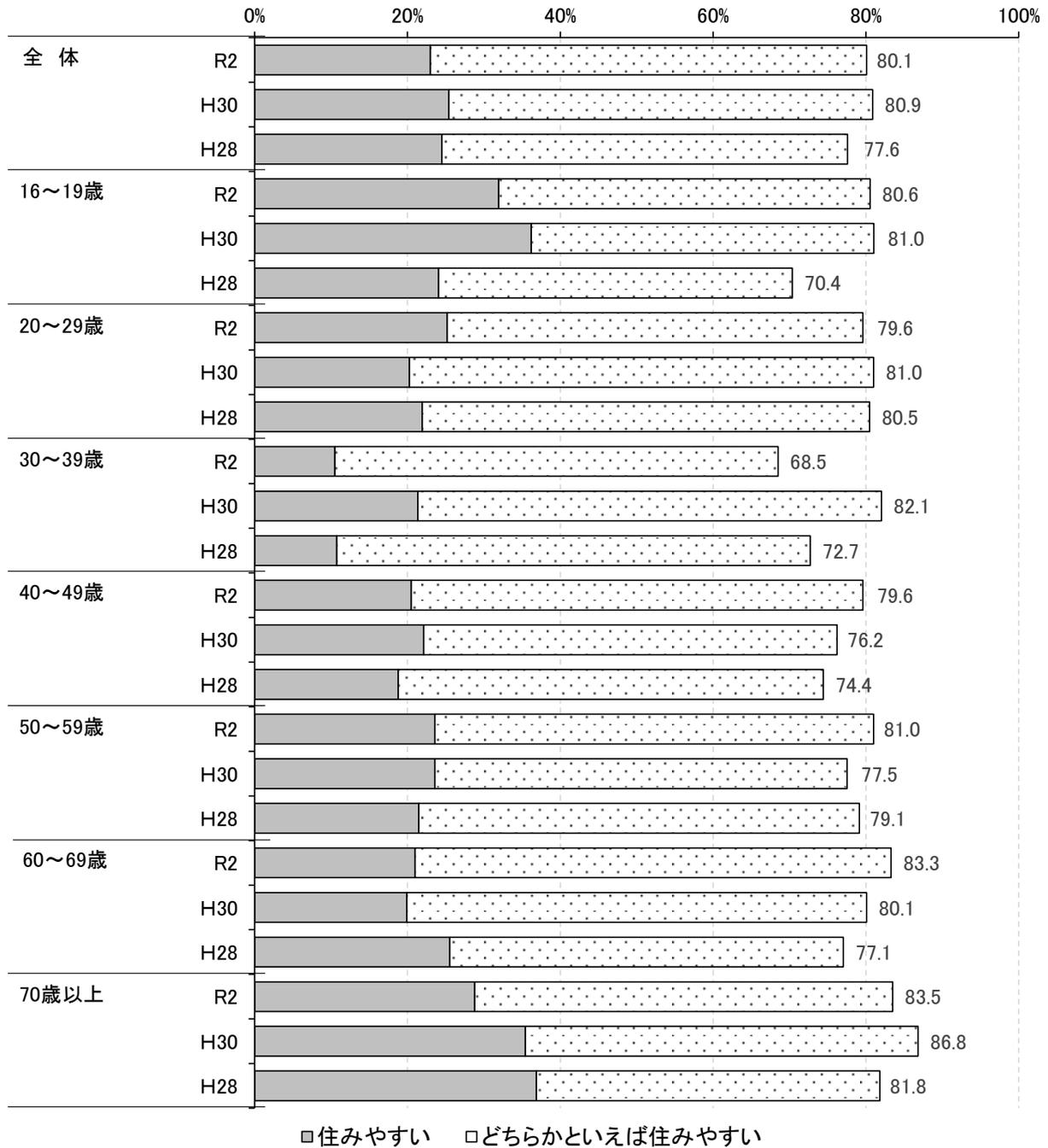
年代別にみると、「住みやすい」が「18・19歳」で44.7%と最も高くなっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”も「18・19歳」で86.8%と最も高くなっている。一方で、“住みやすいと感じている人”が低くなっているのは「16・17歳」の73.5%であり、最も高い「18・19歳」と比べると13.3ポイントの差がみられる。

図 2-1-2 年代別「住みやすさ」



年代別にみると、“住みやすいと感じている人”は、「40～49歳」および「60～69歳」で年々増加がみられている。一方で、「30～39歳」では平成30年調査よりも“住みやすいと感じている人”が13.6ポイント減少している。

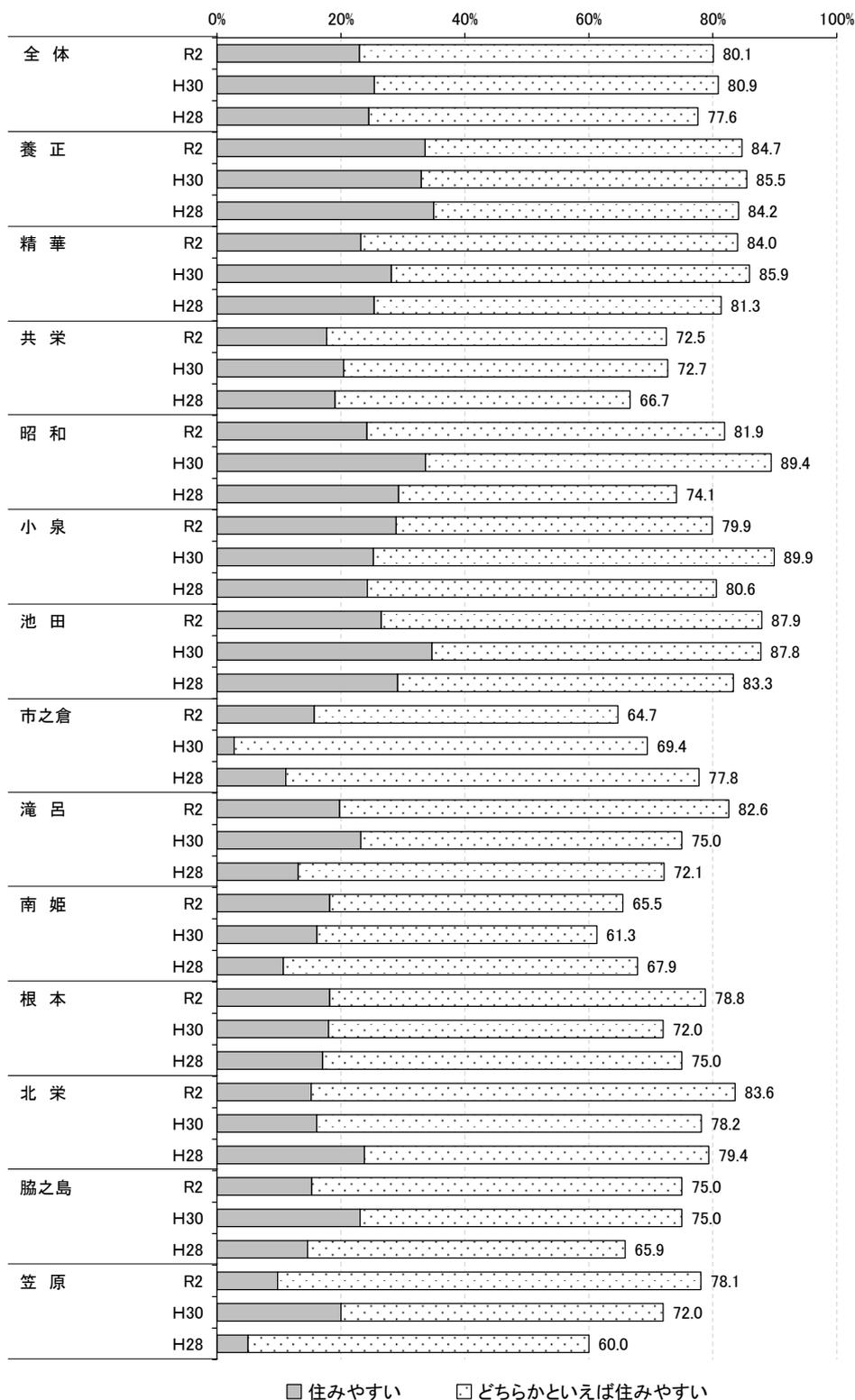
図 2-1-3 年代別「住みやすさ」(過年度比較)



【市民意識調査 一般】

小学校区別にみると、“住みやすいと感じている人”は、「養正」「精華」「共栄」「昭和」「小泉」「市之倉」で平成30年調査よりも減少しており、特に「小泉」では10ポイント減少し、79.9%となっている。一方、その他の小学校区では平成30年調査よりも増加しており、特に「滝呂」では7.6ポイント以上増加し、82.6%となっている（脇之島は増減なし）。

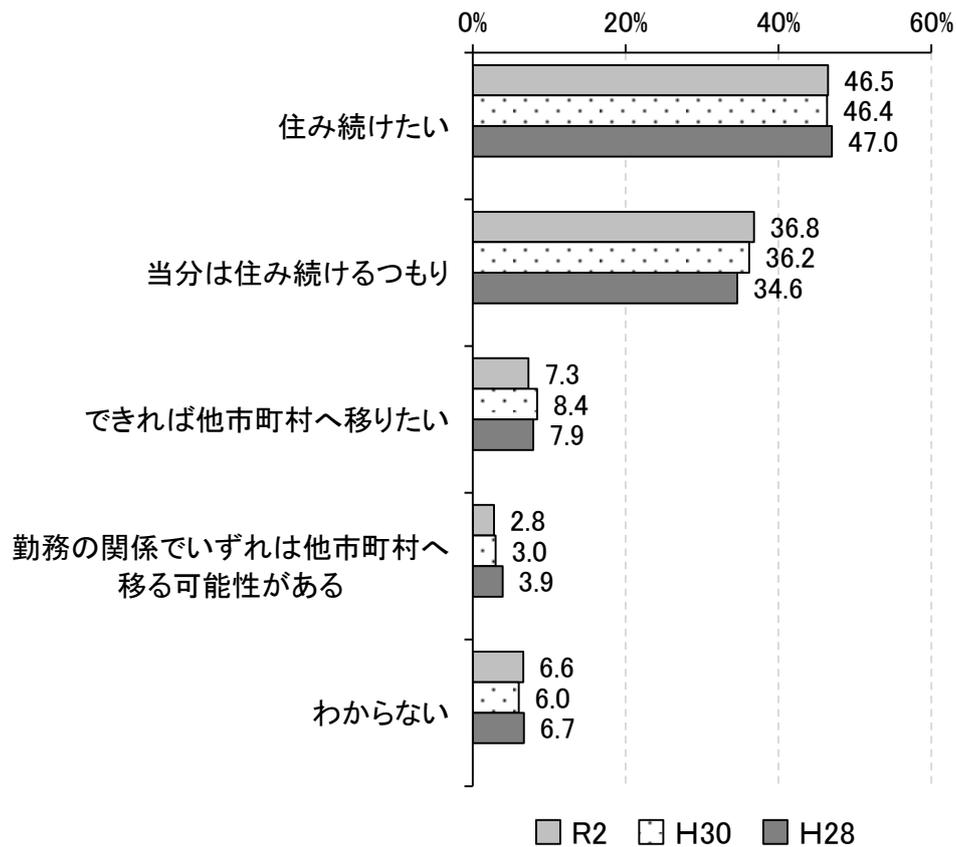
図 2-1-4 小学校区別「住みやすさ」(過年度比較)



2-2 今後の居留意向

「住みたい」が46.5%と最も高く、次いで「当分は住み続けるつもり」が36.8%、「できれば他市町村へ移りたい」が7.3%となっている。「住みたい」と「当分は住み続けるつもり」を合わせた“住みたいと感じている人”は83.3%となっており、平成30年調査の82.6%からやや増加している。

図 2-2-1 「今後の居留意向」(過年度比較)

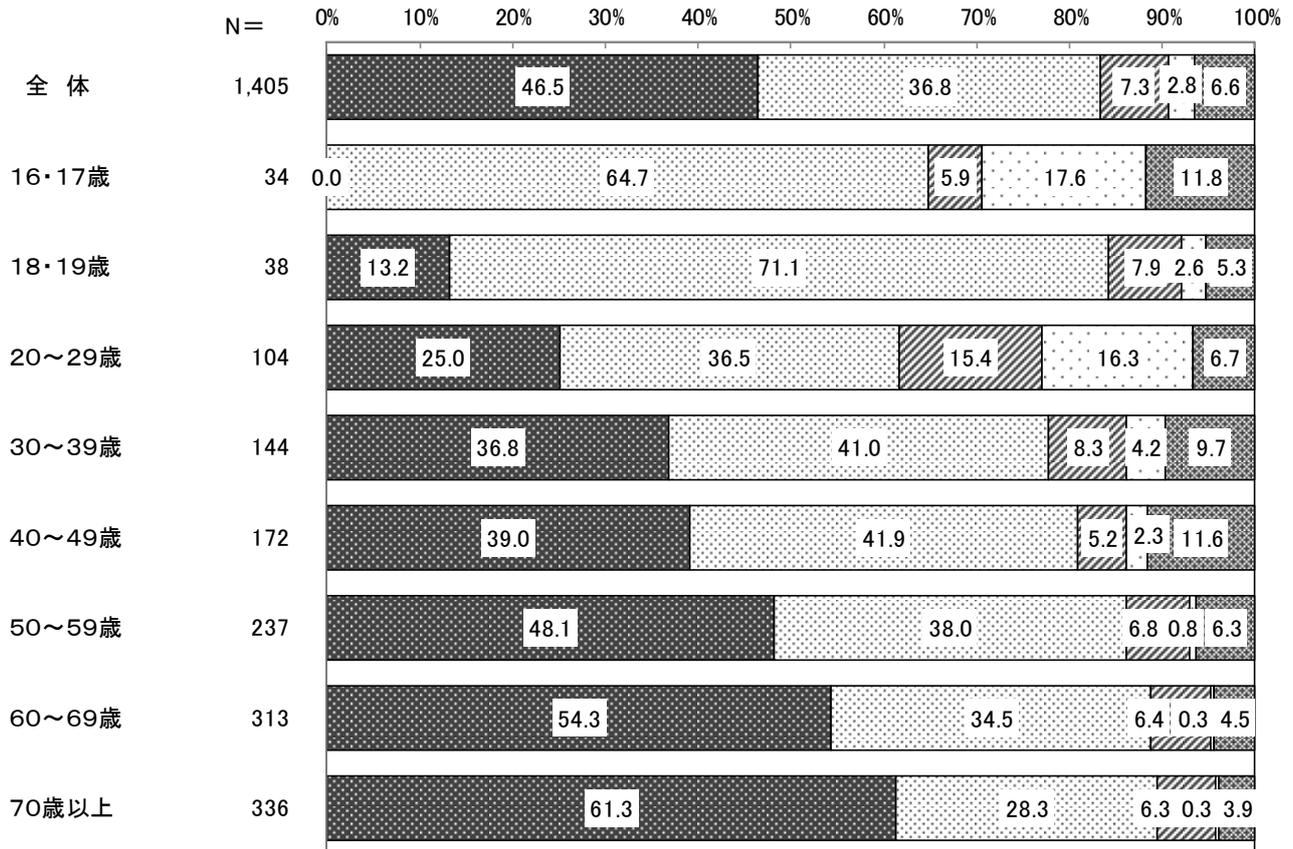


【市民意識調査 一般】

「住み続けたい」が「16・17歳」で0.0%となっている。しかし年代が上がるごとに割合も増加し、「70歳以上」では61.3%となっている。

一方で「できれば他市町村へ移りたい」が「20～29歳」で15.4%と1割を超えており、他の年代と比べてやや高くなっている。また、「16・17歳」、「20～29歳」では「勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある」がそれぞれ1割を超え、他の年代と比べて比較的高くなっている。

図 2-2-2 年代別「今後の居住意向」

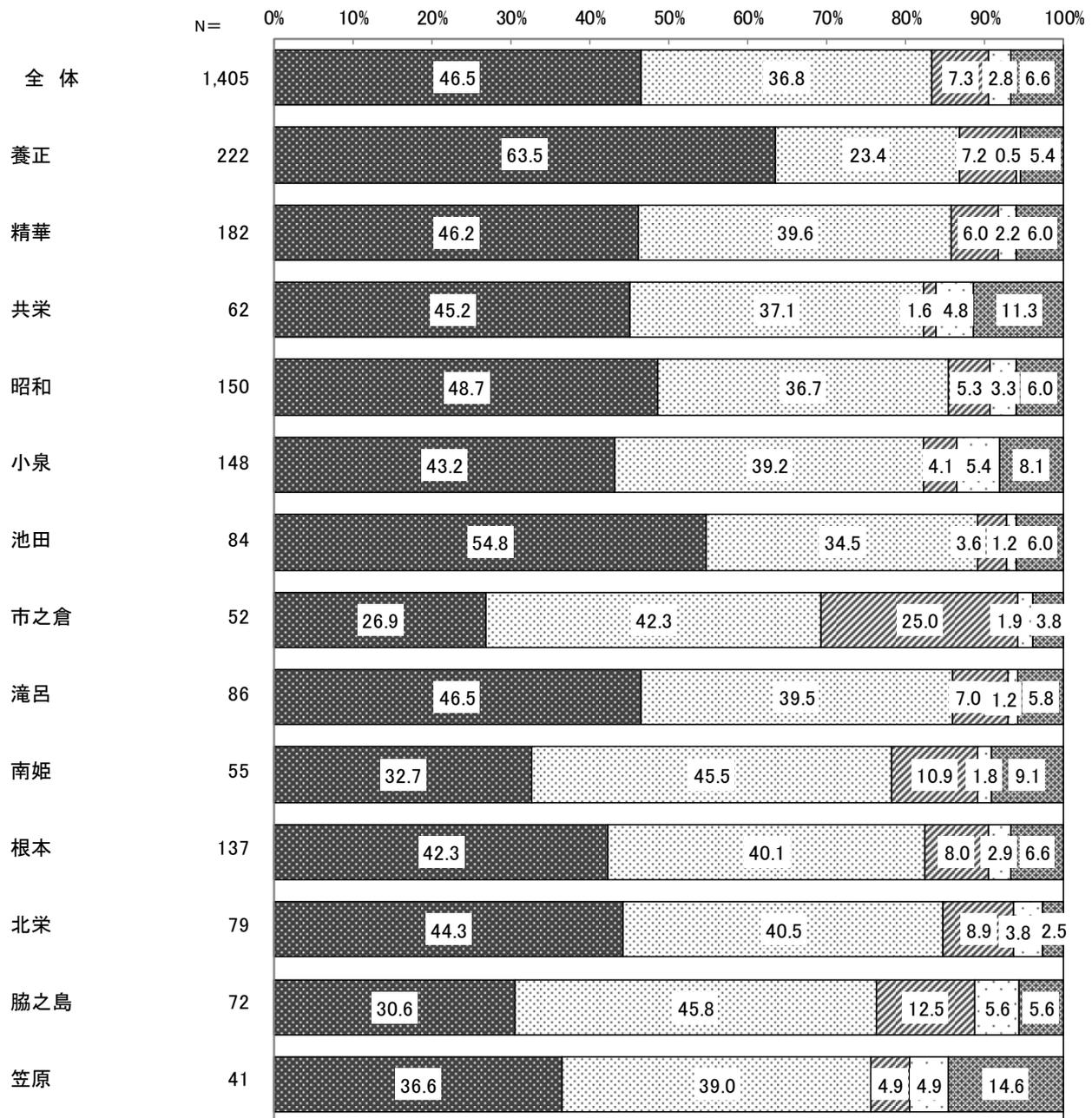


- 住み続けたい
- 当分は住み続けるつもり
- ▣できれば他市町村へ移りたい
- 勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある
- ▣わからない

小学校区別にみると、「住み続けたい」が「養正」で63.5%と最も高くなっており、次いで「池田」で54.8%、「昭和」で48.7%となっている。

一方で「市之倉」では「住み続けたい」が26.9%と最も低くなっており、最も高い「養正」とは36.6ポイントの差がみられる。また、「市之倉」では「できれば他市町村へ移りたい」が25.0%と他の小学校区に比べ、特に割合が高くなっている。

図 2-2-3 小学校区別「今後の居住意向」



- 住み続けたい
- 当分は住み続けるつもり
- ▨できれば他市町村へ移りたい
- 勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある
- わからない

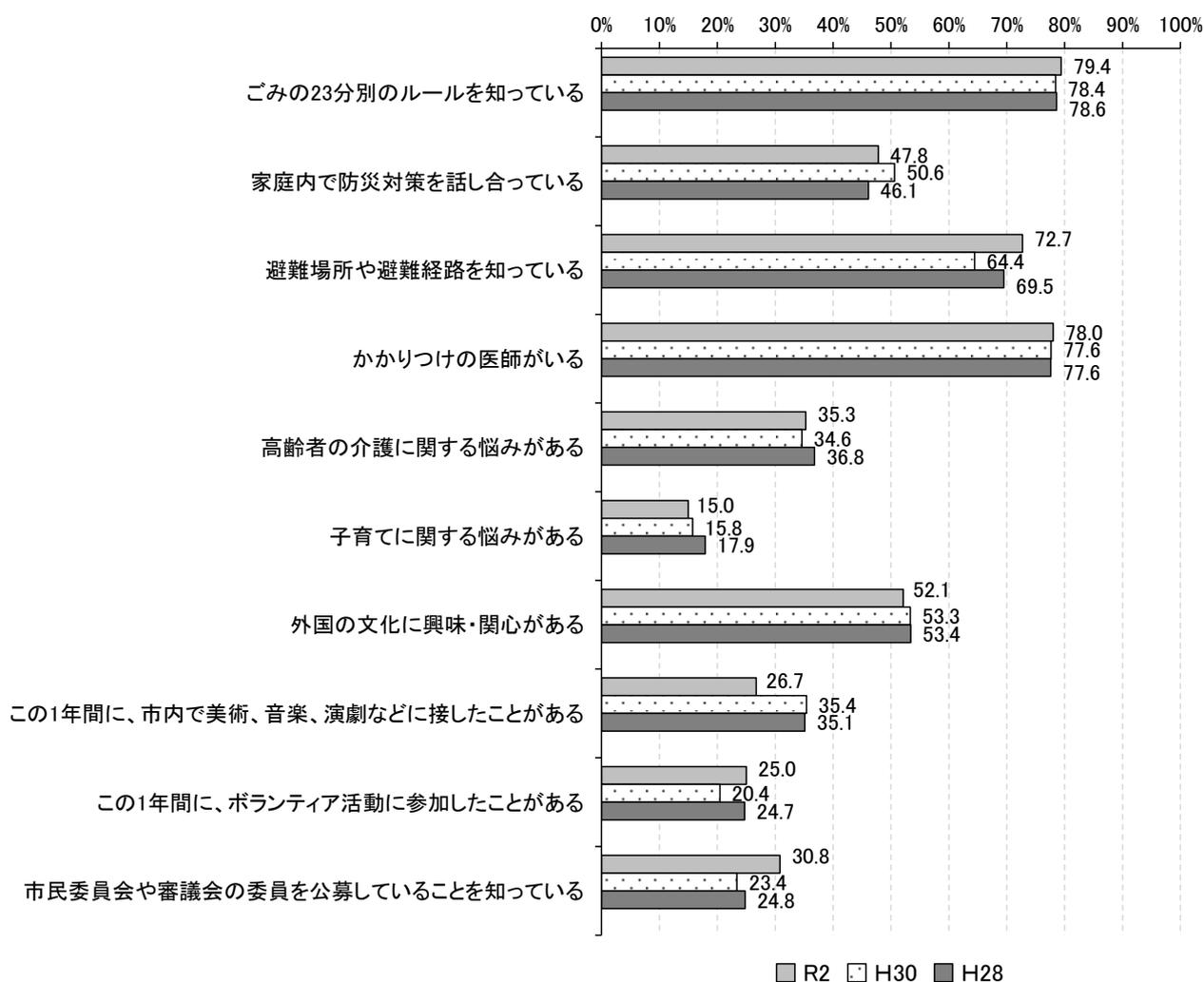
3. 生活実態および市民意識

3-1 生活実態および市民意識

「ごみの23分別のルールを知っている」が79.4%で最も多くなっており、次いで「かかりつけの医師がいる」が78.0%、「避難場所や避難経路を知っている」が72.7%となっている。

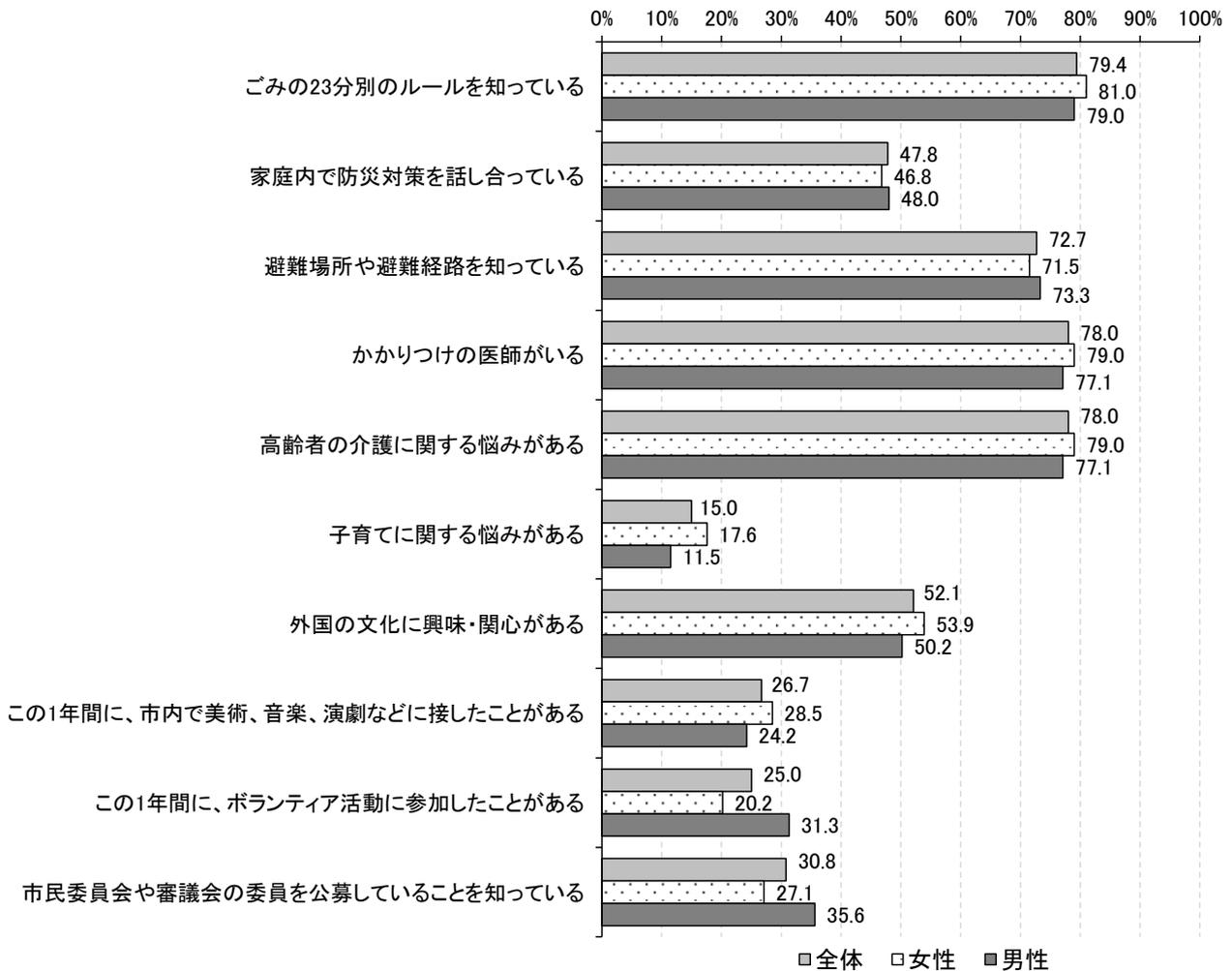
また、「この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがある」は平成28、30年調査と比べて約8ポイントと大きく減少しており、「子育てに関する悩みがある」は年々減少する傾向がみられる。

図 3-1-1 「生活実態および市民意識」(過年度比較)



性別で見ると、「この1年間に、ボランティア活動に参加したことがある」は、男性が女性を11.1ポイント上回っている。その他、「家庭内で防災対策を話し合っている」「避難場所や避難経路を知っている」「市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っている」は、男性が女性よりも多くなっている。

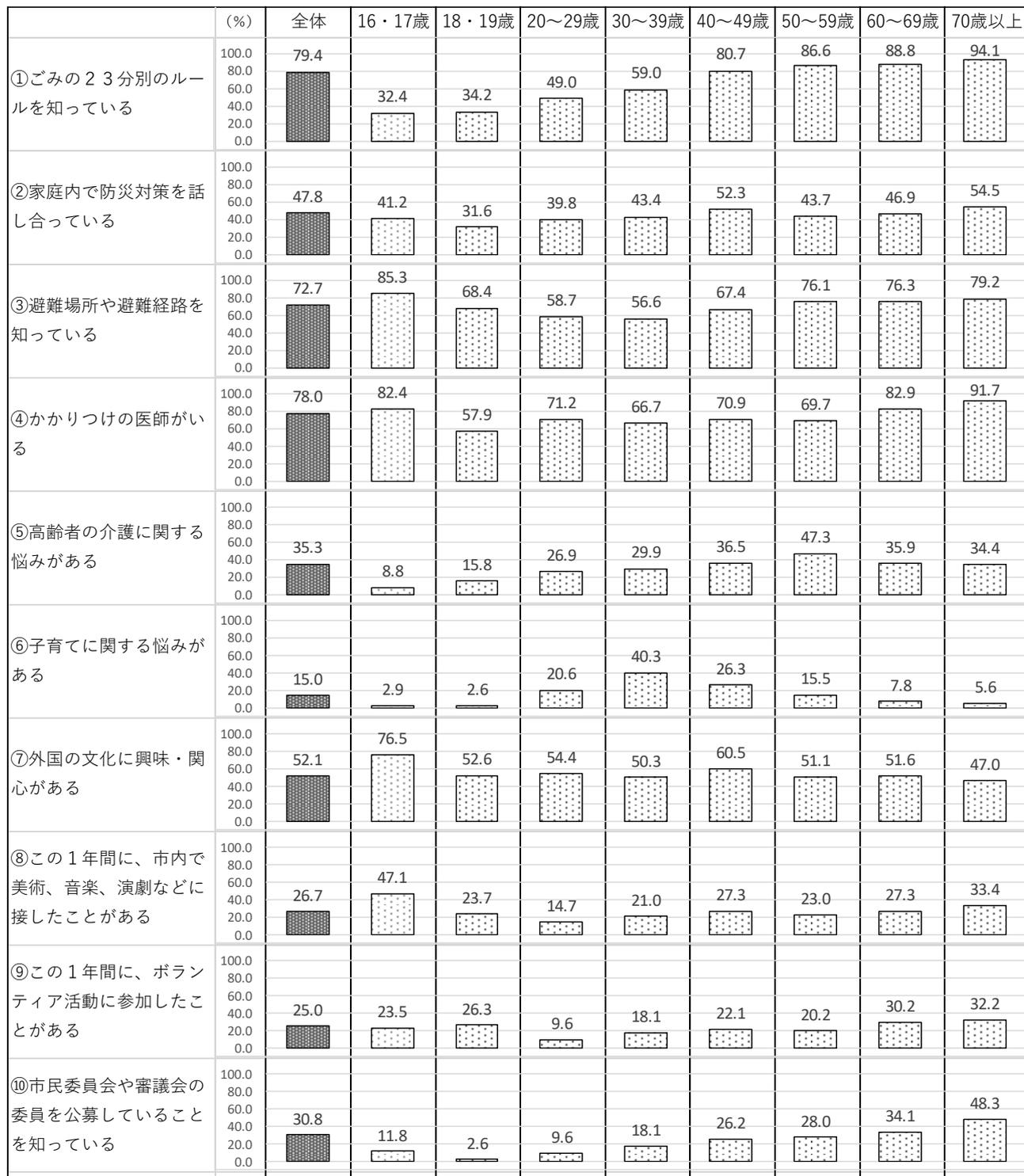
図 3-1-2 性別「生活実態および市民意識」



【市民意識調査 一般】

年代別にみると、「40～49歳」以上になると「ごみの23分別のルールを知っている」が8割を超えて高くなっているが、「16・17歳」、「18・19歳」では3割台となっている。また、「16・17歳」では「この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがある」が47.1%、「30～39歳」では「子育てに関する悩みがある」が40.3%と他の年代と比べ高くなっている。

図 3-1-3 年代別「生活実態および市民意識」



小学校区別にみると、「脇之島」では「外国の文化に興味・関心がある」、「市之倉」では「この1年間に、ボランティア活動に参加したことがある」が他の小学校区と比べてやや高くなっている。

図 3-1-4 小学校区別「生活実態および市民意識」

	(%)	全体	養正	精華	共栄	昭和	小泉	池田	市之倉	滝呂	南姫	根本	北栄	脇之島	笠原
①ごみの23分別のルールを知っている	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	79.4	85.1	83.1	80.6	77.6	74.5	81.0	80.8	70.9	78.2	83.8	76.3	79.2	70.7
②家庭内で防災対策を話し合っている	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	47.8	52.5	47.3	48.4	47.3	44.2	48.2	59.6	40.0	54.5	41.8	45.0	51.4	39.0
③避難場所や避難経路を知っている	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	72.7	74.2	69.8	67.7	71.7	66.9	69.9	75.0	74.4	70.4	80.1	70.0	78.9	70.7
④かかりつけの医師がいる	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	78.0	80.5	79.2	74.2	78.8	79.6	73.8	86.5	68.6	76.4	75.7	82.5	72.9	78.0
⑤高齢者の介護に関する悩みがある	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	35.3	42.2	32.6	32.8	36.8	32.0	36.9	29.4	31.4	29.1	32.8	40.5	23.6	39.0
⑥子育てに関する悩みがある	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	15.0	11.2	17.5	17.7	15.0	17.1	19.3	16.0	10.6	12.7	14.9	17.9	8.5	22.0
⑦外国の文化に興味・関心がある	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	52.1	52.8	56.6	45.2	47.0	53.7	51.2	53.8	50.0	47.3	49.6	48.1	66.7	53.7
⑧この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがある	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	26.7	31.9	35.0	29.0	23.2	21.8	28.0	19.2	19.8	21.8	20.6	30.4	27.8	34.1
⑨この1年間に、ボランティア活動に参加したことがある	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	25.0	28.4	18.0	17.7	27.2	27.9	30.1	40.4	23.3	23.6	20.7	17.7	27.8	29.3
⑩市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っている	100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0	30.8	29.2	36.8	27.4	34.2	29.9	30.1	21.6	27.9	25.5	25.5	36.7	34.7	26.8

4. 市政全般について

4-1 市政への満足度

市の施策項目ごとに、満足度の評価得点をつけて評価している。評価得点は、満足度の選択肢に対して次に示す点数をつけて算出する。算出にあたっては、以下の式を用いている。

《満足度の各選択肢に対する得点》

選択肢番号	満足度	得点
1	満足	2
2	やや満足	1
3	やや不満	-1
4	不満	-2
5	わからない	0

《評価得点の算出式》

$$\text{満足度} = \frac{([\text{満足}] \times 2 \text{点}) + ([\text{やや満足}] \times 1 \text{点}) + ([\text{やや不満}] \times -1 \text{点}) + ([\text{不満}] \times -2 \text{点})}{\text{回答者数}([\text{わからない}] \text{を除く})}$$

「市政への満足度」は42項目中18項目でプラスの評価となっている。プラスの評価となったのは、以下の18項目である。

項目名	点数
水道水の安定供給	1.28
下水道の整備	1.17
消防救急体制の整備	0.98
市内医療機関の充実	0.58
まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	0.57
健康増進に向けた活動の機会	0.32
幼稚園や保育園の保育サービス	0.32
職員の市民への対応	0.31
生涯学習の機会	0.20

項目名	点数
子どもの権利に関する意識	0.19
大規模災害に備えた防災対策	0.15
自然環境の保全や環境教育の推進	0.14
情報公開や広報活動	0.13
スポーツを楽しむ機会	0.13
小中学校における教育環境	0.12
人権意識	0.11
介護予防高齢者福祉	0.03
緑化の推進	0.02

一方で42項目中23項目がマイナス評価となっており、特に「渋滞緩和のための道路整備」(-1.10ポイント)、「鉄道やバスなどの公共交通の充実」(-0.73ポイント)では、マイナスに値が高くなっている。

また、平成30年調査と比較すると、「祭りやイベントの開催」がマイナス評価へと転じている。

図 4-1-1 「市政への満足度」

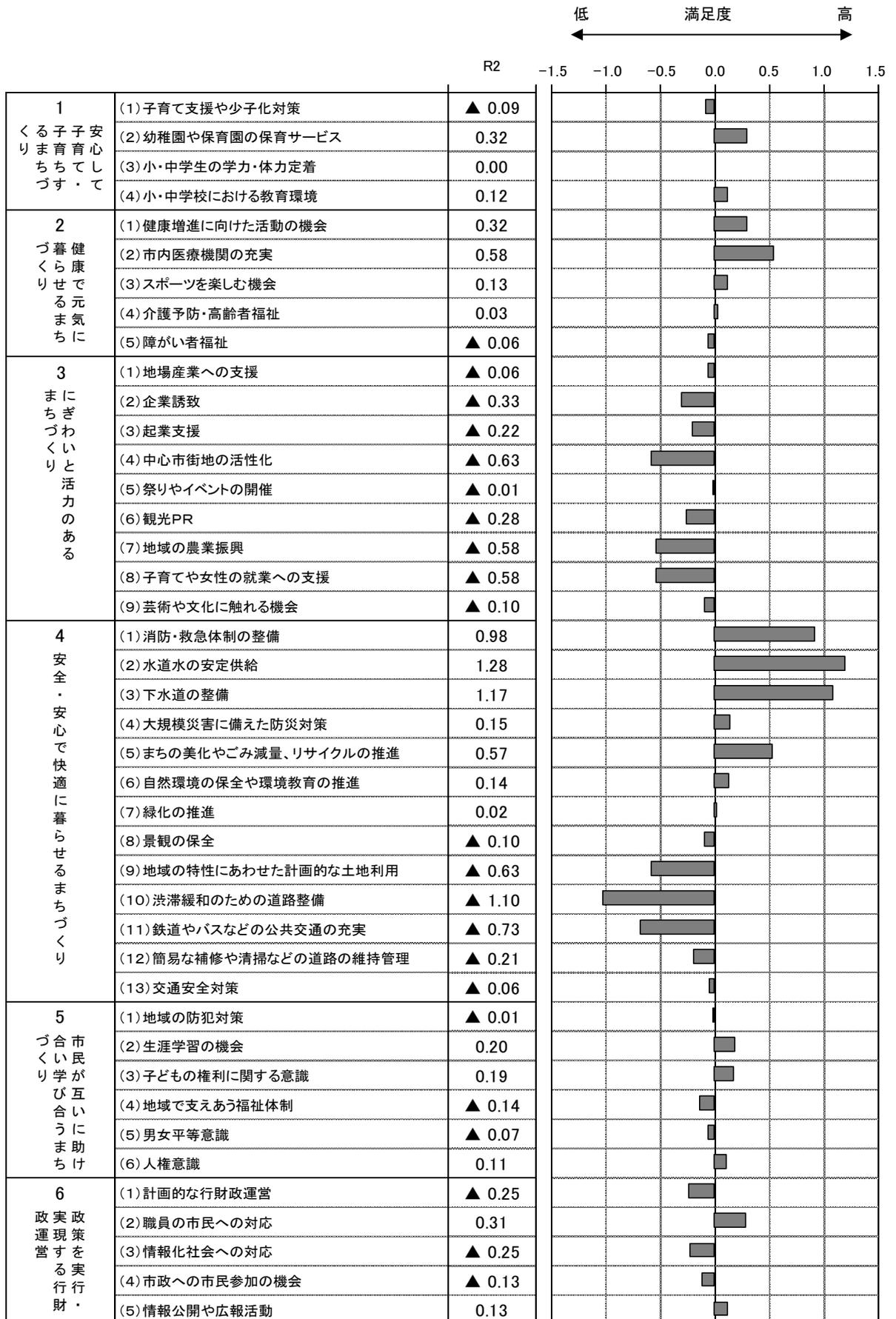
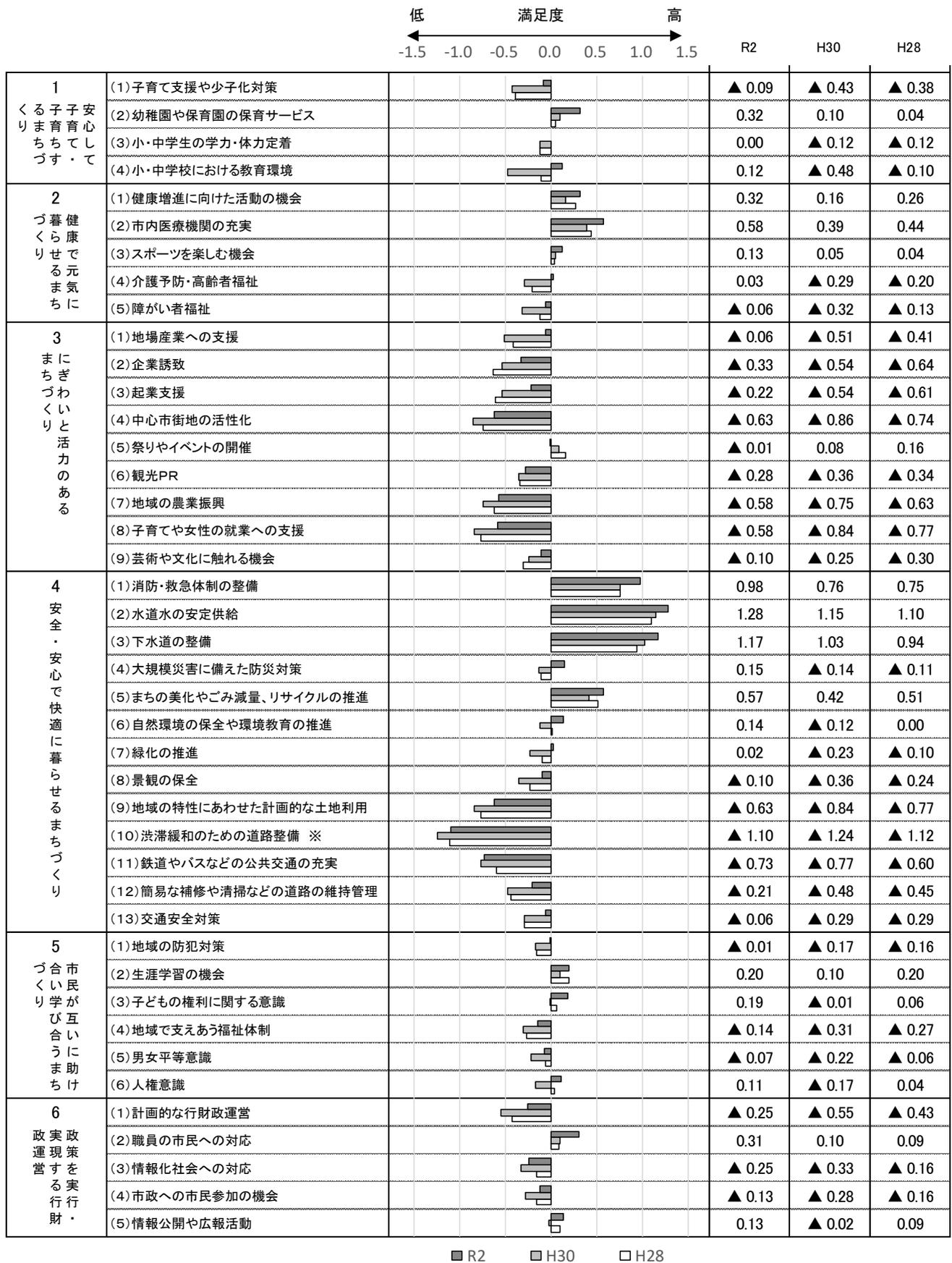


図 4-1-2 「市政への満足度」(過年度比較)



■ R2 ■ H30 □ H28

年代別にみると、「16・17歳」および「18・19歳」は42項目中37項目で満足度がプラスの評価となっている。また、「18・19歳」は「最も評価の高い項目数」が21項目で最も多くなっており、「60～69歳」は「最も評価の低い項目数」が22項目で最も多くなっている。

最も満足度が高い項目は、「18・19歳」で「水道水の安定供給」が1.70ポイントとなっている。一方で、最も満足度の低い項目は、「30～39歳」で「渋滞緩和のための道路整備」が-1.28ポイントとなっている。

表 4-1-3 年代別「市政への満足度」

		全体	16・17歳	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1 子育て安心 まちづくり	(1)子育て支援や少子化対策	▲ 0.09	<u>0.33</u>	▲ 0.31	▲ 0.08	▲ 0.36	▲ 0.13	▲ 0.12	▲ 0.19	0.19
	(2)幼稚園や保育園の保育サービス	0.31	<u>0.72</u>	0.18	0.03	0.35	0.30	0.42	0.17	0.45
	(3)小・中学生の学力・体力定着	0.00	0.64	<u>0.81</u>	0.08	▲ 0.10	▲ 0.07	▲ 0.16	▲ 0.09	▲ 0.01
	(4)小・中学校における教育環境	0.12	0.18	<u>0.73</u>	0.17	0.07	▲ 0.11	0.03	▲ 0.00	0.34
2 健康増進 まちづくり	(1)健康増進に向けた活動の機会	0.32	0.50	<u>0.78</u>	0.56	0.30	0.25	0.35	0.05	0.49
	(2)市内医療機関の充実	0.58	<u>1.04</u>	0.74	0.72	0.44	0.47	0.30	0.46	0.87
	(3)スポーツを楽しむ機会	0.13	<u>0.57</u>	0.41	0.41	0.22	0.26	0.04	▲ 0.12	0.20
	(4)介護予防・高齢者福祉	0.03	<u>1.00</u>	0.30	0.21	0.02	0.01	▲ 0.02	▲ 0.17	0.13
	(5)障がい者福祉	▲ 0.06	<u>1.00</u>	0.23	0.40	0.09	▲ 0.09	▲ 0.20	▲ 0.33	▲ 0.03
3 まちづくり と活力のある	(1)地場産業への支援	▲ 0.06	<u>1.13</u>	0.33	0.69	0.12	▲ 0.12	▲ 0.05	▲ 0.28	▲ 0.19
	(2)企業誘致	▲ 0.33	<u>0.33</u>	▲ 0.25	0.15	▲ 0.38	▲ 0.41	▲ 0.30	▲ 0.58	▲ 0.22
	(3)起業支援	▲ 0.22	▲ 0.01	▲ 0.09	<u>0.03</u>	▲ 0.02	▲ 0.33	▲ 0.08	▲ 0.42	▲ 0.22
	(4)中心市街地の活性化	▲ 0.63	▲ 0.09	<u>0.23</u>	0.03	▲ 0.26	▲ 0.85	▲ 0.58	▲ 0.87	▲ 0.78
	(5)祭りやイベントの開催	▲ 0.01	0.44	<u>0.83</u>	0.26	0.16	▲ 0.21	0.04	▲ 0.15	▲ 0.10
	(6)観光PR	▲ 0.28	<u>0.30</u>	0.29	0.02	▲ 0.20	▲ 0.52	▲ 0.17	▲ 0.43	▲ 0.32
	(7)地域の農業振興	▲ 0.57	<u>0.75</u>	▲ 0.07	0.21	▲ 0.37	▲ 0.83	▲ 0.51	▲ 0.79	▲ 0.71
	(8)子育てや女性の就業への支援	▲ 0.58	<u>1.01</u>	0.13	▲ 0.40	▲ 0.74	▲ 0.60	▲ 0.56	▲ 0.76	▲ 0.57
	(9)芸術や文化に触れる機会	▲ 0.10	<u>0.47</u>	0.23	0.18	0.17	▲ 0.16	▲ 0.02	▲ 0.37	▲ 0.16
4 安全・安心で 快適に暮ら せるまちづくり	(1)消防・救急体制の整備	0.98	1.29	<u>1.39</u>	1.16	0.79	0.96	0.90	0.89	1.07
	(2)水道水の安定供給	1.28	1.29	<u>1.70</u>	1.25	1.12	1.23	1.16	1.23	1.48
	(3)下水道の整備	1.17	1.00	<u>1.57</u>	1.21	0.98	1.12	1.12	1.13	1.28
	(4)大規模災害に備えた防災対策	0.15	0.12	<u>0.69</u>	0.60	0.01	0.26	0.10	▲ 0.03	0.14
	(5)まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	0.57	0.62	<u>0.87</u>	0.76	0.28	0.55	0.49	0.51	0.72
	(6)自然環境の保全や環境教育の推進	0.14	<u>0.94</u>	0.39	0.58	0.25	0.30	0.14	▲ 0.10	0.04
	(7)緑化の推進	0.02	<u>0.57</u>	0.52	0.43	0.22	0.06	0.06	▲ 0.19	▲ 0.07
	(8)景観の保全	▲ 0.10	0.59	<u>0.85</u>	0.48	▲ 0.01	▲ 0.04	▲ 0.08	▲ 0.40	▲ 0.16
	(9)地域の特性にあわせた計画的な土地利用	▲ 0.63	0.25	<u>0.41</u>	0.08	▲ 0.64	▲ 0.60	▲ 0.62	▲ 0.94	▲ 0.76
	(10)渋滞緩和のための道路整備	▲ 1.10	▲ 0.47	<u>0.27</u>	▲ 0.96	▲ 1.28	▲ 1.22	▲ 1.15	▲ 1.26	▲ 0.99
	(11)鉄道やバスなどの公共交通の充実	▲ 0.73	▲ 0.04	▲ 0.06	▲ 0.65	▲ 0.82	▲ 0.77	▲ 0.87	▲ 0.82	▲ 0.66
	(12)簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	▲ 0.21	0.81	<u>0.94</u>	0.24	▲ 0.15	▲ 0.21	▲ 0.30	▲ 0.48	▲ 0.25
	(13)交通安全対策	▲ 0.06	0.60	<u>0.97</u>	▲ 0.04	▲ 0.23	0.02	▲ 0.25	▲ 0.27	0.09
5 市民が互 いに助け 合うまち	(1)地域の防犯対策	▲ 0.01	0.39	<u>0.81</u>	0.15	▲ 0.25	▲ 0.06	0.03	▲ 0.18	0.02
	(2)生涯学習の機会	0.20	<u>0.92</u>	0.18	0.17	▲ 0.02	0.15	0.26	0.22	0.20
	(3)子どもの権利に関する意識	0.19	0.20	<u>0.70</u>	0.35	0.11	0.34	0.20	0.07	0.06
	(4)地域で支えあう福祉体制	▲ 0.14	1.01	<u>1.04</u>	0.18	▲ 0.18	▲ 0.37	▲ 0.20	▲ 0.18	▲ 0.21
	(5)男女平等意識	▲ 0.07	0.86	<u>1.12</u>	▲ 0.16	▲ 0.28	▲ 0.38	▲ 0.17	▲ 0.17	0.02
	(6)人権意識	0.12	<u>1.08</u>	0.86	0.43	0.08	0.13	0.05	▲ 0.06	0.05
6 政策を実 行する財	(1)計画的な行政運営	▲ 0.25	▲ 0.12	<u>0.58</u>	0.05	▲ 0.55	▲ 0.44	▲ 0.37	▲ 0.38	▲ 0.04
	(2)職員の市民への対応	0.31	<u>1.50</u>	0.77	0.34	0.18	0.28	0.21	0.18	0.48
	(3)情報化社会への対応	▲ 0.25	<u>0.91</u>	0.42	▲ 0.02	▲ 0.42	▲ 0.38	▲ 0.37	▲ 0.46	▲ 0.05
	(4)市政への市民参加の機会	▲ 0.13	<u>0.92</u>	0.73	0.16	▲ 0.26	▲ 0.14	▲ 0.25	▲ 0.32	▲ 0.08
	(5)情報公開や広報活動	0.13	0.73	<u>0.75</u>	0.40	0.08	0.02	0.17	▲ 0.07	0.20

評価がプラスの項目(全42項目中)	19	37	37	35	21	18	19	10	21
全体よりも評価が低い項目(全42項目中)		2	3	4	28	33	24	41	16
最も評価の高い項目数(全42項目中)		20	21	1	0	0	0	0	0
最も評価の低い項目数(全42項目中)		0	0	1	9	6	3	22	1

▲ : マイナス
■ : 全体より評価が低いもの
下線 : 各項目で最も評価の高いもの
斜体 : 各項目で最も評価の低いもの

【市民意識調査 一般】

小学校区別にみると、「滝呂」で42項目中27項目がプラス評価となっているほか、「最も評価の高い項目数」も10項目で、小学校区の中で最も多くなっている。一方で、「最も評価の低い項目数」は「笠原」で18項目となっている。

最も満足度が高い項目は、「笠原」の「水道水の安定供給」で1.48ポイントとなっている。一方で最も満足度の低い項目は、「脇之島」の「渋滞緩和のための道路整備」で-1.45ポイントとなっている。

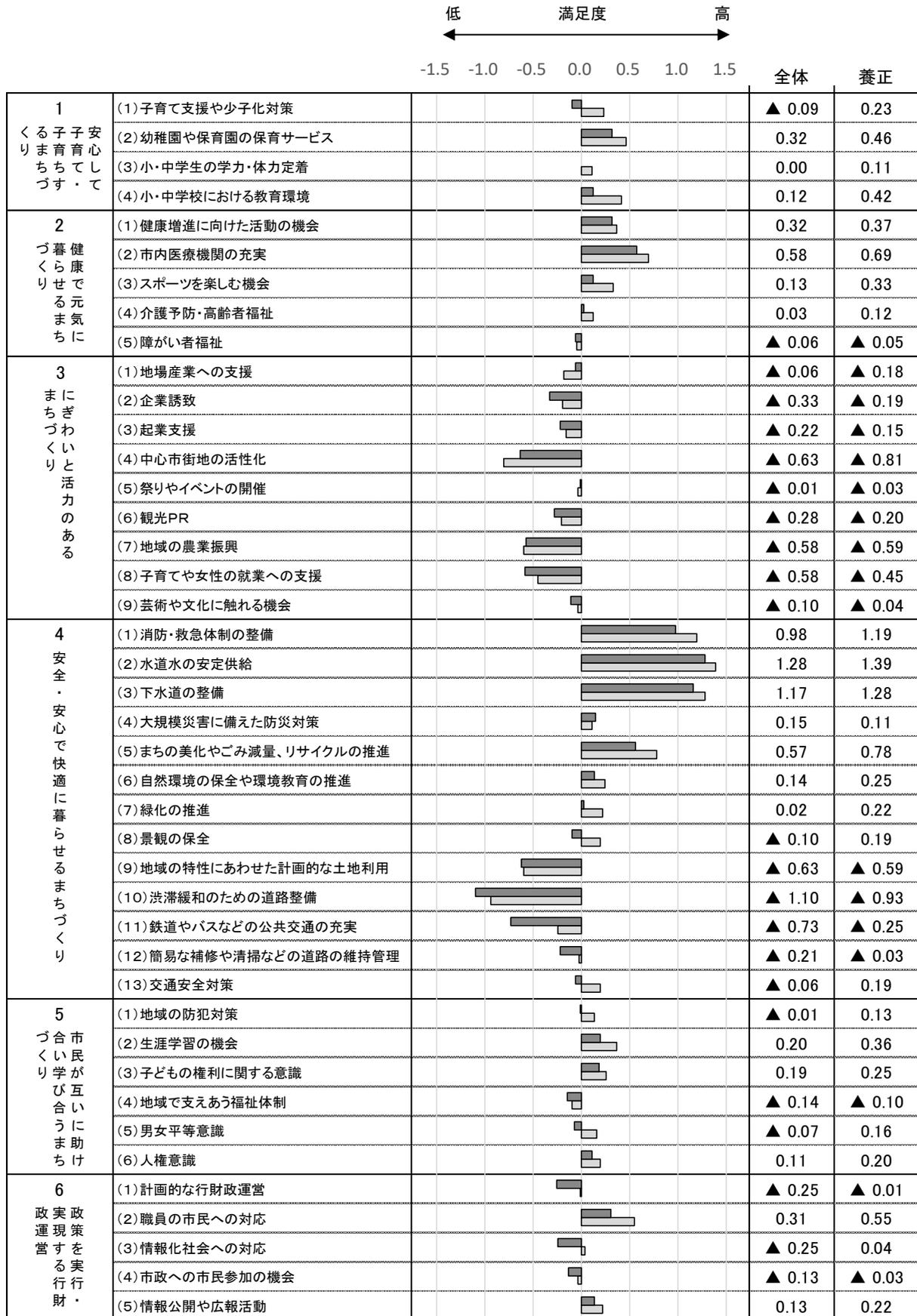
次のページからは各小学校区の満足度を全体と比較したグラフを掲載している。

表 4-1-4 小学校区別「市政への満足度」

		全体	養正	精華	共栄	昭和	小泉	池田	市之倉	滝呂	南畑	根本	北栄	脇之島	笠原
1 子育て安心 子育てして まわす	(1)子育て支援や少子化対策	▲0.09	0.23	▲0.17	0.10	▲0.03	▲0.13	▲0.29	▲0.04	0.15	▲0.41	▲0.24	▲0.12	▲0.35	▲0.38
	(2)幼稚園や保育園の保育サービス	0.31	0.46	0.21	0.19	0.21	0.52	0.20	0.46	0.72	0.21	0.47	0.14	0.11	0.00
	(3)小・中学生の学力・体力定着	0.00	0.11	▲0.01	▲0.21	▲0.14	0.22	▲0.19	0.05	0.26	0.33	▲0.06	▲0.22	0.24	▲0.37
	(4)小・中学校における教育環境	0.12	0.42	▲0.06	0.03	0.14	0.31	0.00	0.29	0.48	▲0.03	▲0.10	▲0.09	0.50	▲0.50
2 健康で元氣に 暮らし	(1)健康増進に向けた活動の機会	0.32	0.37	0.43	0.43	0.20	0.31	0.09	0.45	0.47	0.35	0.22	0.26	0.50	0.23
	(2)市内医療機関の充実	0.58	0.69	0.63	0.51	0.46	0.36	0.68	0.64	0.62	0.12	0.68	0.49	0.81	0.61
	(3)スポーツを楽しむ機会	0.13	0.33	▲0.03	▲0.15	0.20	0.18	0.15	0.52	0.17	0.21	▲0.10	0.24	0.14	▲0.15
	(4)介護予防・高齢者福祉	0.03	0.12	0.13	0.00	▲0.07	0.01	▲0.05	0.17	0.37	▲0.09	▲0.16	0.11	0.09	▲0.44
	(5)障がい者福祉	▲0.06	▲0.05	▲0.09	0.03	0.02	▲0.06	▲0.50	▲0.10	0.39	0.08	▲0.04	▲0.02	▲0.32	▲0.41
3 まちづくり と活力のある	(1)地場産業への支援	▲0.06	▲0.18	▲0.04	0.14	0.01	▲0.01	0.20	0.24	0.19	▲0.34	▲0.27	▲0.16	▲0.34	0.20
	(2)企業誘致	▲0.33	▲0.19	▲0.24	▲0.19	▲0.49	▲0.36	▲0.11	▲0.07	▲0.46	▲0.67	▲0.51	▲0.22	▲0.42	▲0.42
	(3)起業支援	▲0.22	▲0.15	▲0.37	0.04	▲0.20	▲0.22	0.00	0.00	▲0.31	▲0.61	▲0.11	▲0.25	▲0.46	0.33
	(4)中心市街地の活性化	▲0.63	▲0.81	▲0.55	▲0.46	▲0.79	▲0.37	▲0.60	▲0.48	▲0.49	▲0.38	▲0.61	▲0.64	▲0.74	▲1.00
	(5)祭りやイベントの開催	▲0.01	▲0.03	▲0.07	0.30	0.02	▲0.07	0.11	0.00	▲0.12	0.08	0.12	▲0.09	0.05	▲0.03
	(6)観光PR	▲0.28	▲0.20	▲0.25	▲0.16	▲0.16	▲0.25	▲0.36	▲0.33	▲0.02	▲0.46	▲0.36	▲0.24	▲0.67	▲0.58
	(7)地域の農業振興	▲0.57	▲0.59	▲0.47	0.00	▲0.77	▲0.71	▲0.57	▲0.67	▲0.47	▲0.46	▲0.48	▲0.63	▲0.73	▲0.66
	(8)子育てや女性の就業への支援	▲0.58	▲0.45	▲0.48	▲0.43	▲0.60	▲0.74	▲0.56	▲0.41	▲0.14	▲0.92	▲0.63	▲0.73	▲0.89	▲0.80
	(9)芸術や文化に触れる機会	▲0.10	▲0.04	▲0.07	0.05	▲0.21	▲0.15	▲0.10	0.03	▲0.05	▲0.30	▲0.25	0.08	▲0.06	▲0.22
4 安全・安心で 快適に暮らす まちづくり	(1)消防・救急体制の整備	0.98	1.19	0.89	1.09	1.06	0.75	1.19	1.05	0.92	0.93	0.81	0.93	1.04	0.65
	(2)水道水の安定供給	1.28	1.39	1.30	1.14	1.23	1.08	1.40	1.36	1.29	1.17	1.26	1.28	1.33	1.48
	(3)下水道の整備	1.17	1.28	1.18	1.19	1.11	1.04	1.34	1.13	1.29	0.50	1.09	1.35	1.24	1.06
	(4)大規模災害に備えた防災対策	0.15	0.11	0.19	0.24	0.11	0.16	0.06	0.17	0.42	0.00	0.23	0.29	0.00	▲0.30
	(5)まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	0.57	0.78	0.60	0.39	0.60	0.48	0.30	0.55	0.57	0.58	0.55	0.51	0.74	0.59
	(6)自然環境の保全や環境教育の推進	0.14	0.25	0.21	▲0.05	0.16	0.13	0.06	0.00	0.22	0.09	▲0.02	0.16	0.32	0.29
	(7)緑化の推進	0.02	0.22	0.01	▲0.11	0.11	▲0.06	▲0.00	0.17	0.12	▲0.17	▲0.05	▲0.26	0.32	0.11
	(8)景観の保全	▲0.10	0.19	▲0.11	▲0.31	0.06	▲0.12	▲0.19	▲0.25	0.02	▲0.30	▲0.25	▲0.21	▲0.06	0.00
	(9)地域の特性にあわせた計画的な土地利用	▲0.63	▲0.59	▲0.72	▲0.51	▲0.68	▲0.42	▲0.70	▲0.55	▲0.29	▲0.38	▲0.68	▲0.83	▲0.61	▲1.14
	(10)渋滞緩和のための道路整備	▲1.10	▲0.93	▲1.17	▲0.94	▲1.24	▲0.98	▲1.31	▲1.26	▲0.84	▲0.87	▲1.14	▲1.09	▲1.45	▲1.19
	(11)鉄道やバスなどの公共交通の充実	▲0.73	▲0.25	▲0.65	▲0.96	▲0.56	▲0.89	▲0.72	▲1.22	▲0.68	▲0.87	▲1.00	▲0.87	▲1.00	▲0.88
	(12)簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	▲0.21	▲0.03	▲0.27	▲0.26	▲0.10	▲0.14	▲0.13	▲0.36	▲0.23	▲0.30	▲0.47	▲0.25	0.17	▲0.97
	(13)交通安全対策	▲0.06	0.19	▲0.17	▲0.10	▲0.09	▲0.15	▲0.07	▲0.40	0.27	0.00	▲0.16	▲0.08	▲0.06	▲0.48
5 市民が互いに 助けあうまち	(1)地域の防犯対策	▲0.01	0.13	▲0.19	▲0.31	0.07	0.06	0.02	▲0.19	0.19	▲0.17	0.07	▲0.19	0.09	▲0.13
	(2)生涯学習の機会	0.20	0.36	0.14	0.13	0.21	0.21	0.56	0.46	0.04	0.03	0.12	0.03	0.30	▲0.38
	(3)子どもの権利に関する意識	0.19	0.25	0.11	0.04	0.32	0.16	0.30	0.45	0.41	0.16	0.09	▲0.03	0.29	▲0.40
	(4)地域で支えあう福祉体制	▲0.14	▲0.10	▲0.12	0.09	▲0.15	▲0.28	▲0.16	▲0.24	▲0.12	▲0.07	0.07	▲0.51	▲0.08	▲0.21
	(5)男女平等意識	▲0.07	0.16	▲0.07	0.26	▲0.07	▲0.19	▲0.25	▲0.09	0.07	▲0.37	▲0.16	0.08	▲0.34	▲0.39
	(6)人権意識	0.12	0.20	0.14	0.19	0.25	0.09	▲0.15	0.33	0.29	▲0.07	0.14	0.36	▲0.36	▲0.67
6 政策を実行 する	(1)計画的な行財政運営	▲0.25	▲0.01	▲0.36	0.14	▲0.18	▲0.47	▲0.37	▲0.19	▲0.13	▲0.48	▲0.19	▲0.42	▲0.07	▲0.69
	(2)職員市民への対応	0.31	0.55	0.36	0.33	0.42	0.07	0.32	0.18	0.35	0.18	0.26	0.08	0.51	▲0.27
	(3)情報化社会への対応	▲0.25	0.04	▲0.31	▲0.03	▲0.22	▲0.36	▲0.33	▲0.57	▲0.08	▲0.13	▲0.12	▲0.57	▲0.48	▲0.55
	(4)市政への市民参加の機会	▲0.13	▲0.03	▲0.23	0.19	▲0.19	▲0.34	0.22	▲0.37	0.04	▲0.24	0.00	▲0.37	▲0.12	▲0.11
	(5)情報公開や広報活動	0.13	0.22	0.15	0.49	0.11	0.13	0.16	▲0.06	0.27	▲0.21	0.32	▲0.15	0.02	▲0.23
評価がプラスの項目(全42項目中)	19	25	16	24	22	19	19	20	27	16	17	16	21	11	
全体よりも評価が低い項目(全42項目中)		5	22	17	19	29	21	18	7	29	27	30	18	33	
最も評価の高い項目数(全42項目中)		7	0	6	0	1	2	4	10	1	0	3	6	2	
最も評価の低い項目数(全42項目中)		0	0	3	1	1	3	1	1	8	0	4	2	18	

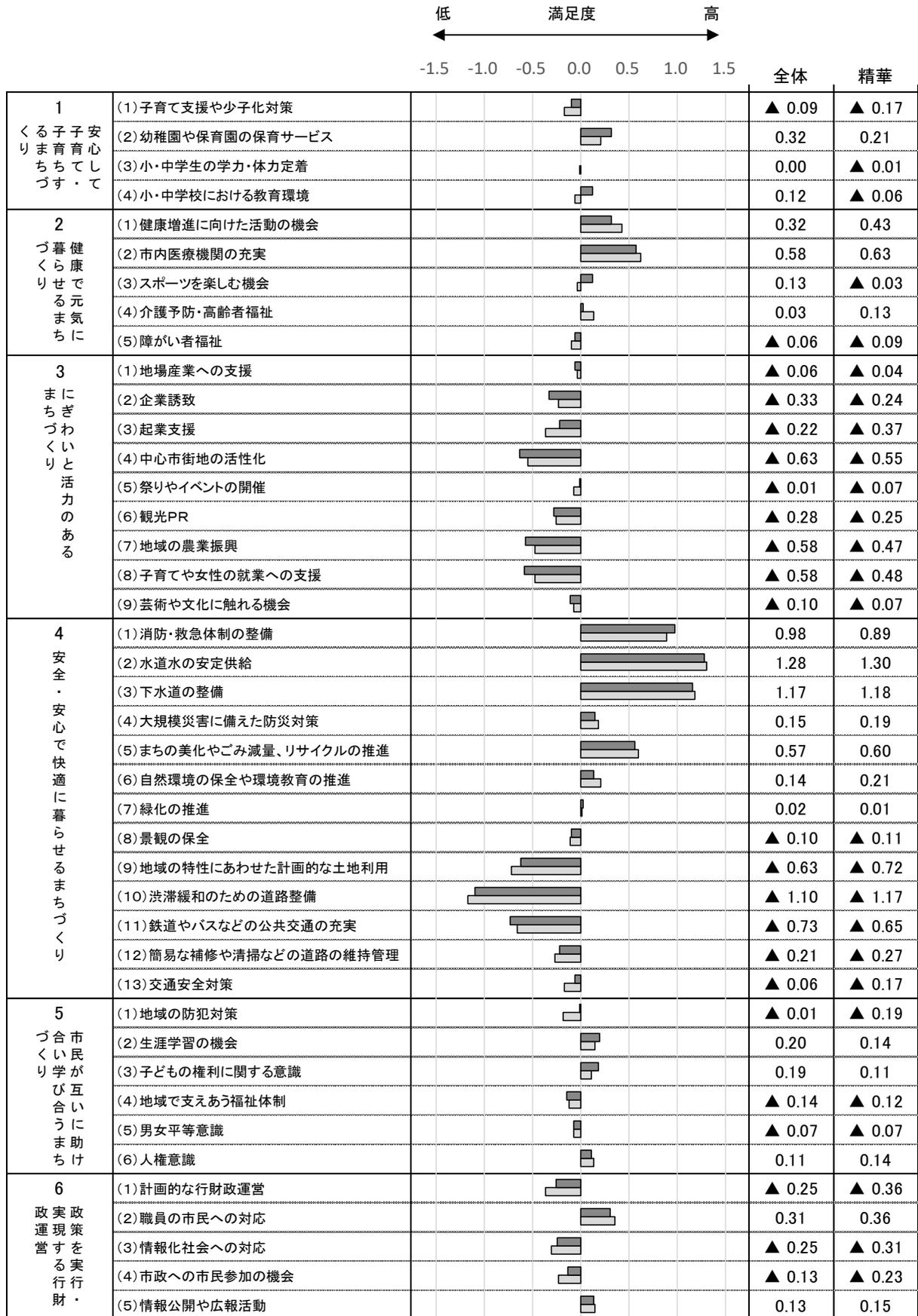
▲ : マイナス
■ : 全体より評価が低いもの
下線 : 各項目で最も評価の高いもの
斜体 : 各項目で最も評価の低いもの

図 4-1-5 「市政への満足度」(養正小学校区)



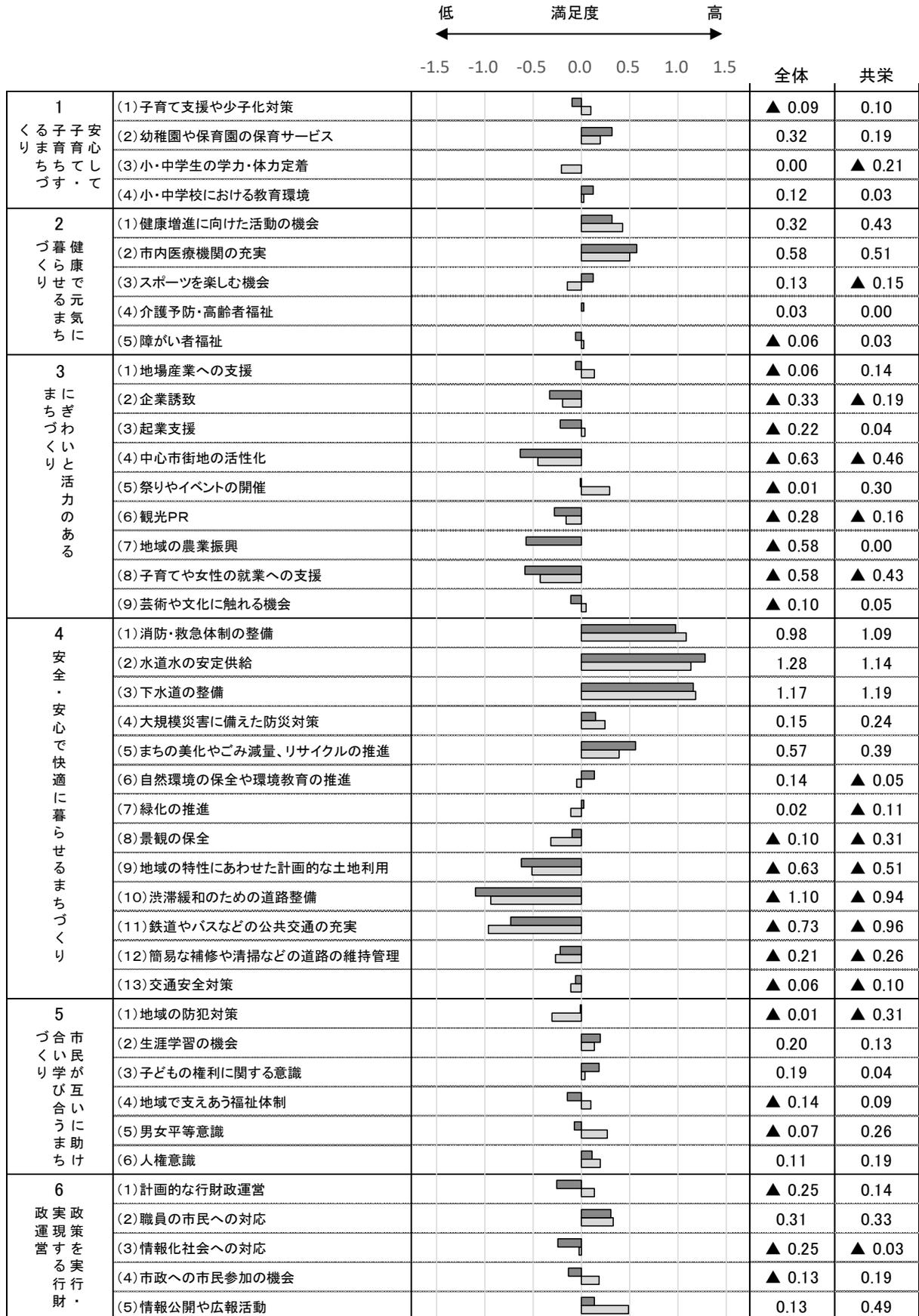
■全体 □養正

図 4-1-6 「市政への満足度」(精華小学校区)



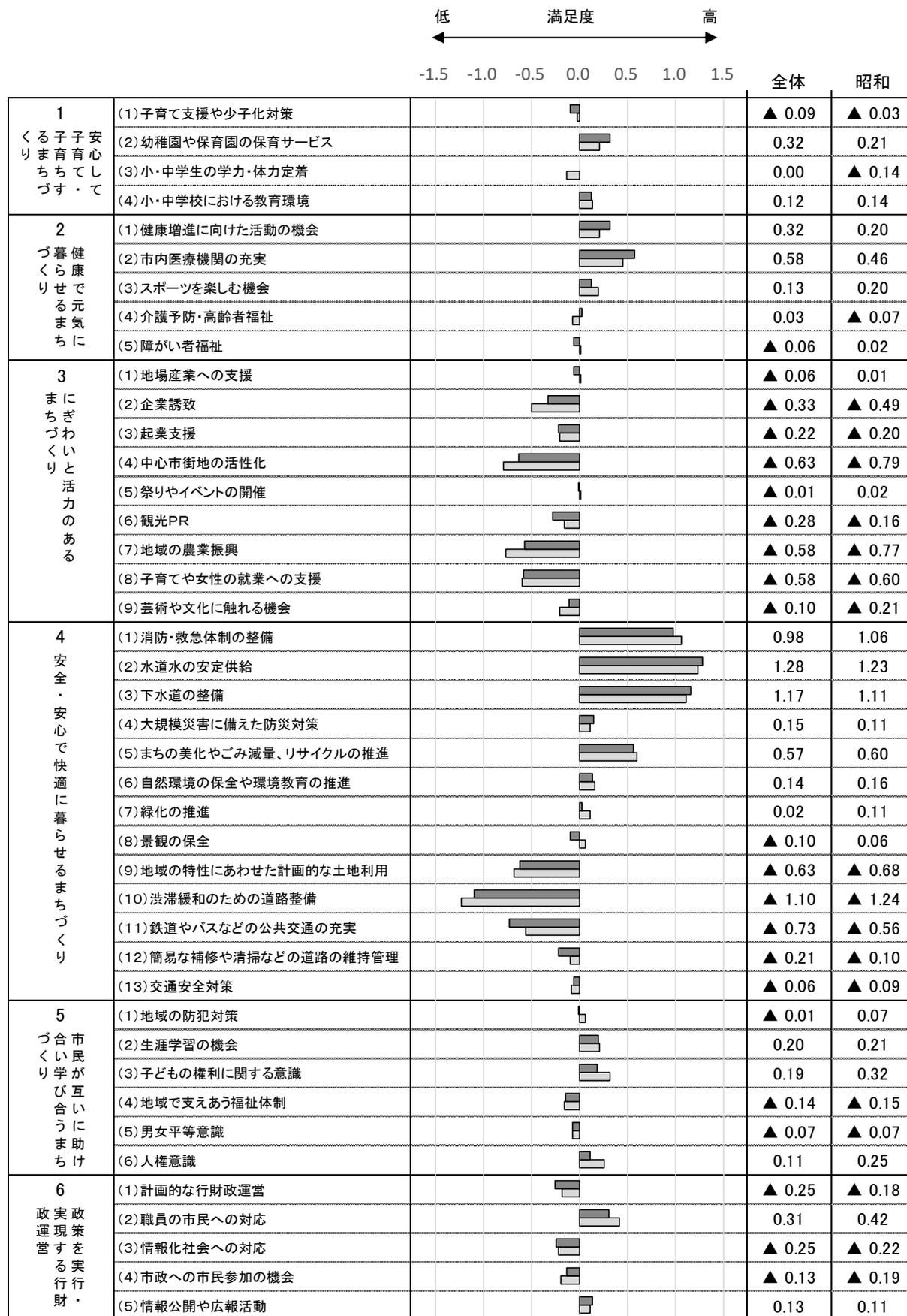
■ 全体 □ 精華

図 4-1-7 「市政への満足度」(共栄小学校区)



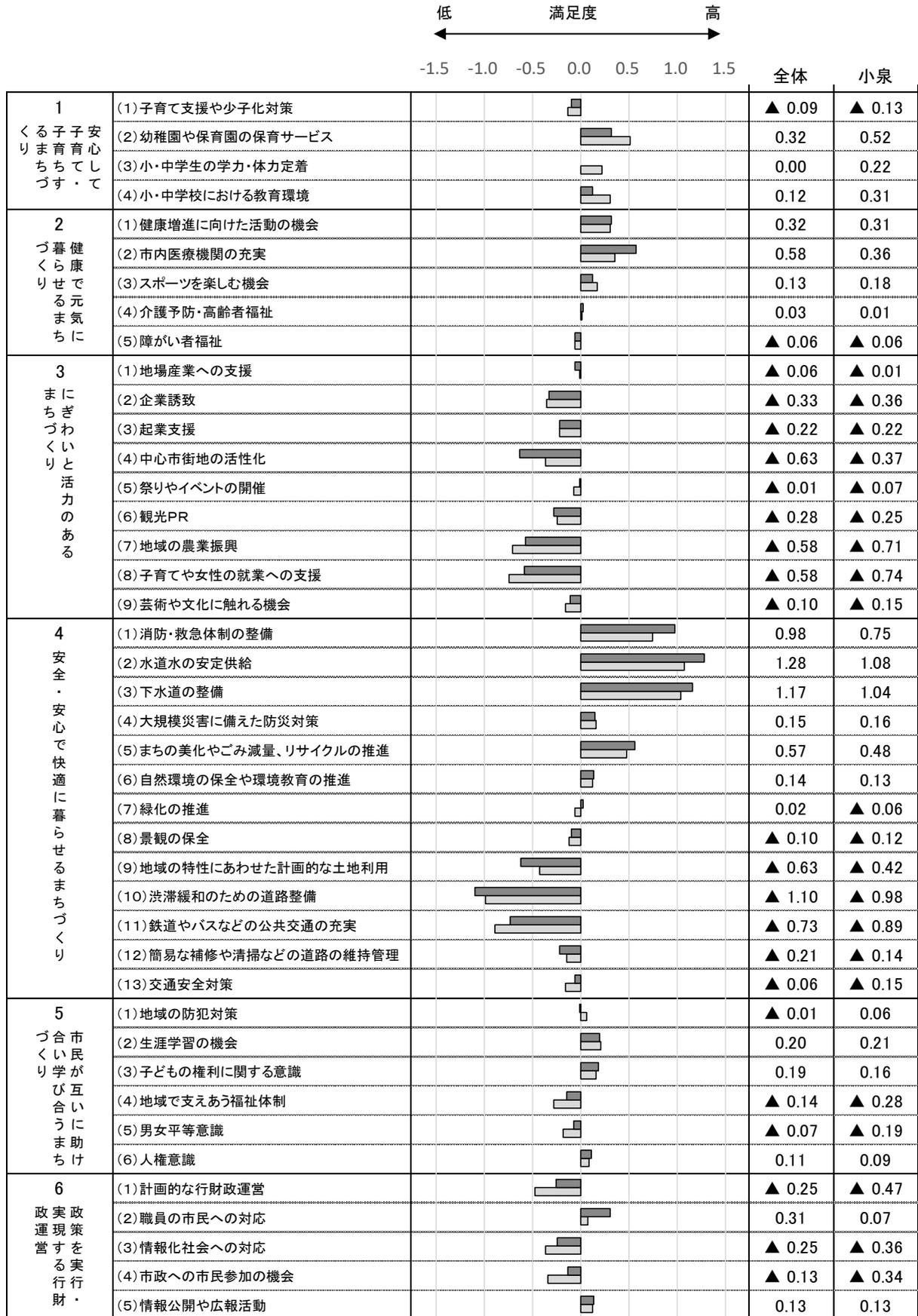
■ 全体 □ 共栄

図 4-1-8 「市政への満足度」(昭和小学校区)



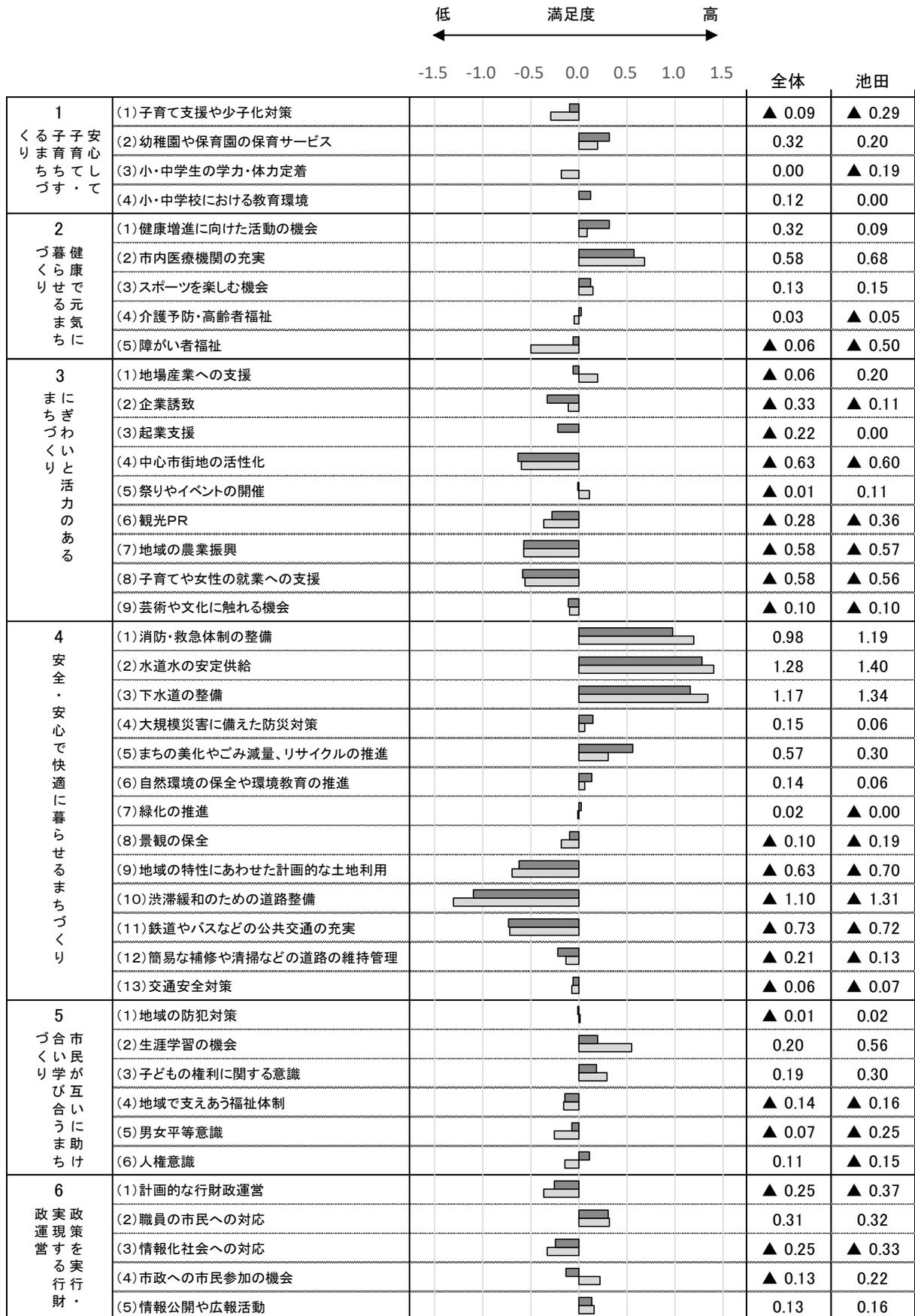
■全体 □昭和

図 4-1-9 「市政への満足度」(小泉小学校区)



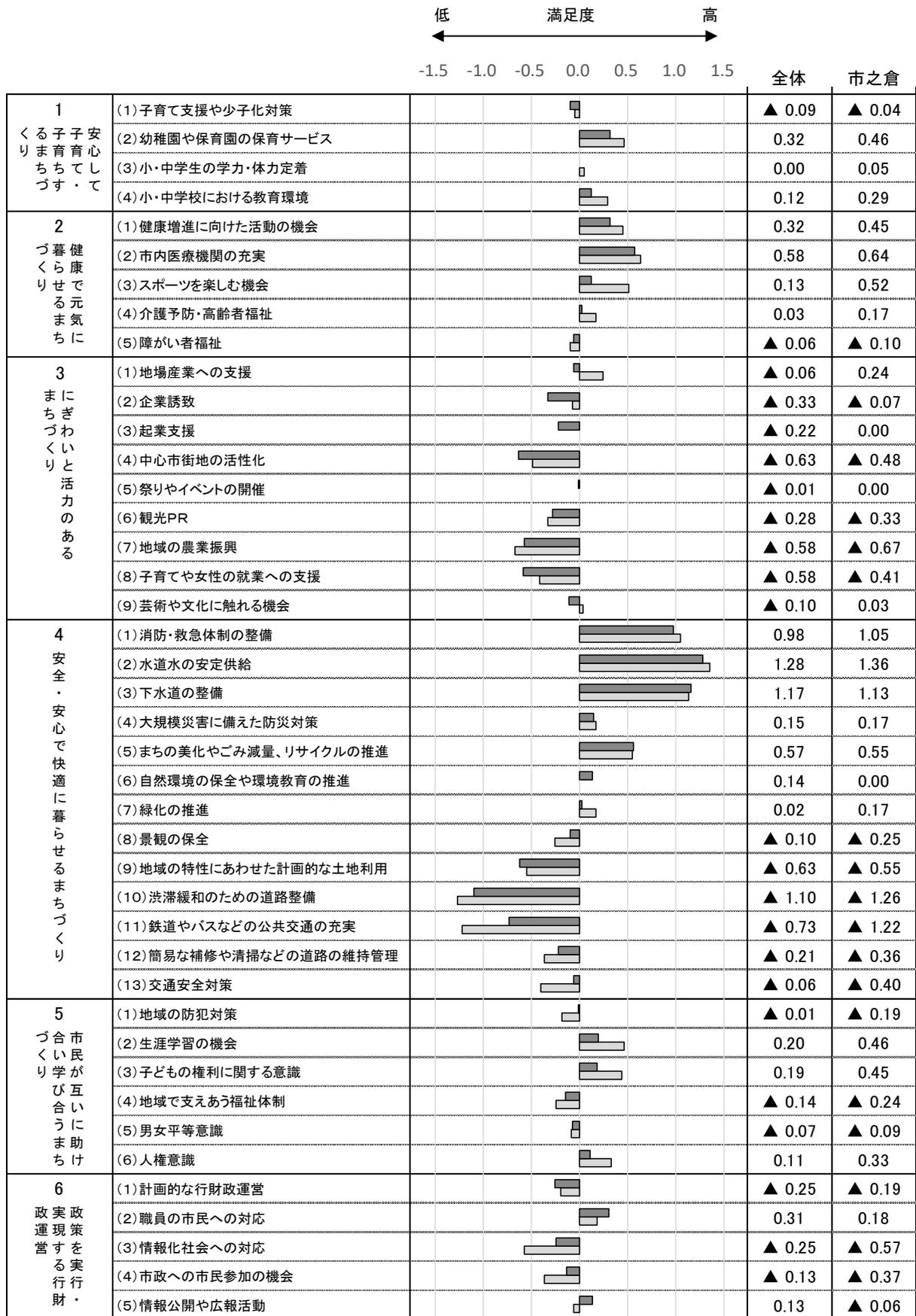
■ 全体 □ 小泉

図 4-1-10 「市政への満足度」(池田小学校区)



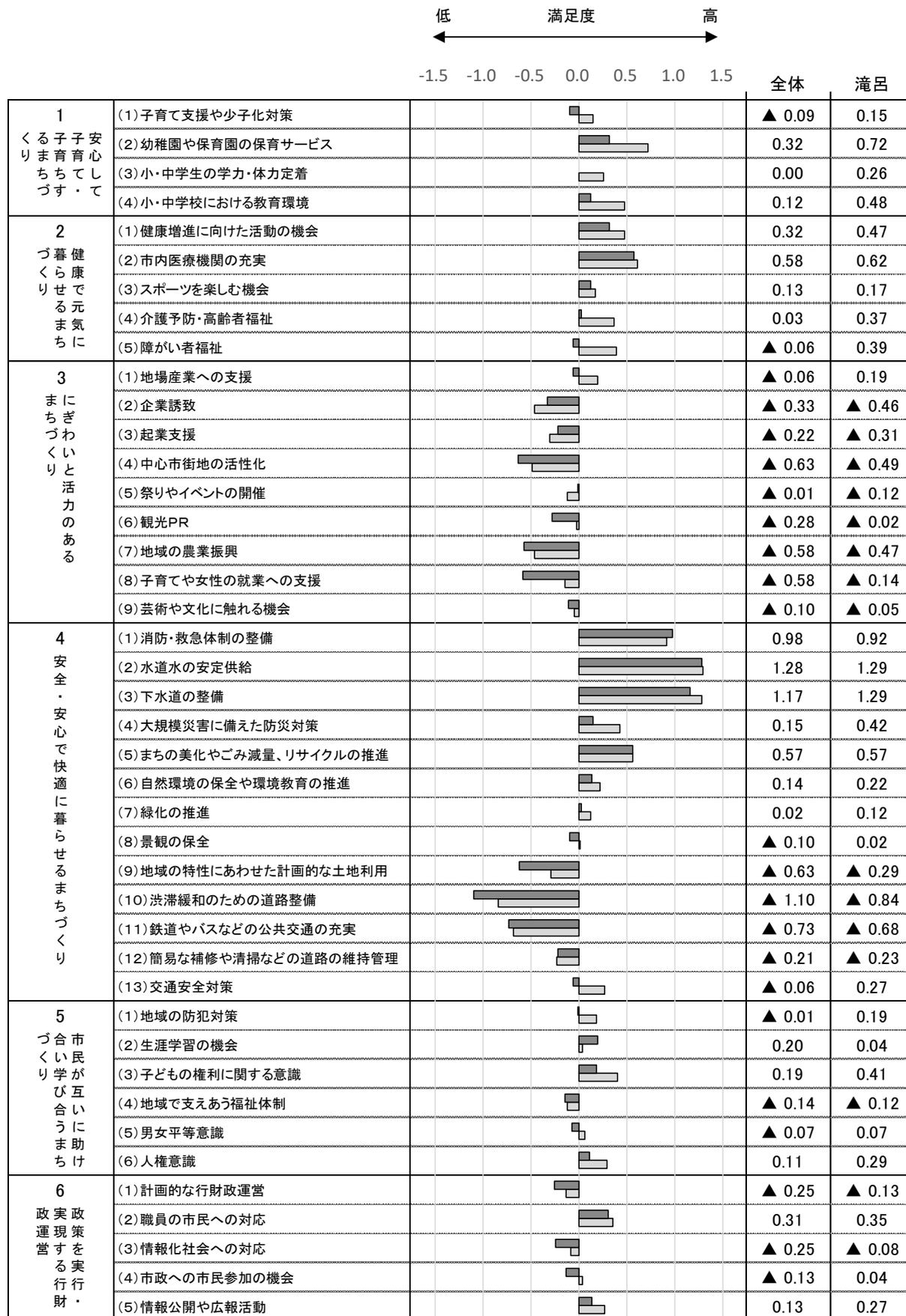
■ 全体 □ 池田

図 4-1-11 「市政への満足度」(市之倉小学校区)



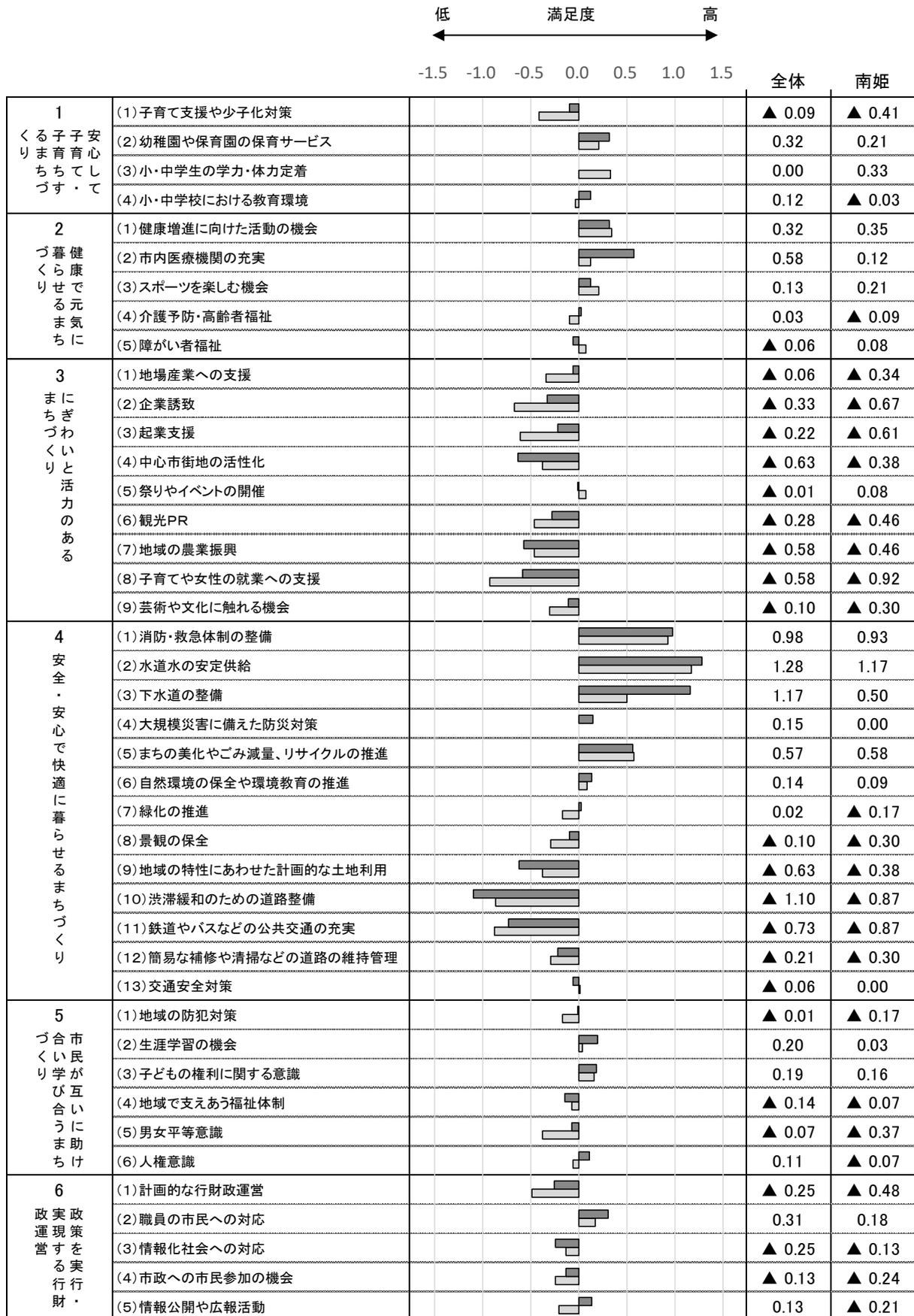
■全体 □市之倉

図 4-1-12 「市政への満足度」(滝呂小学校区)



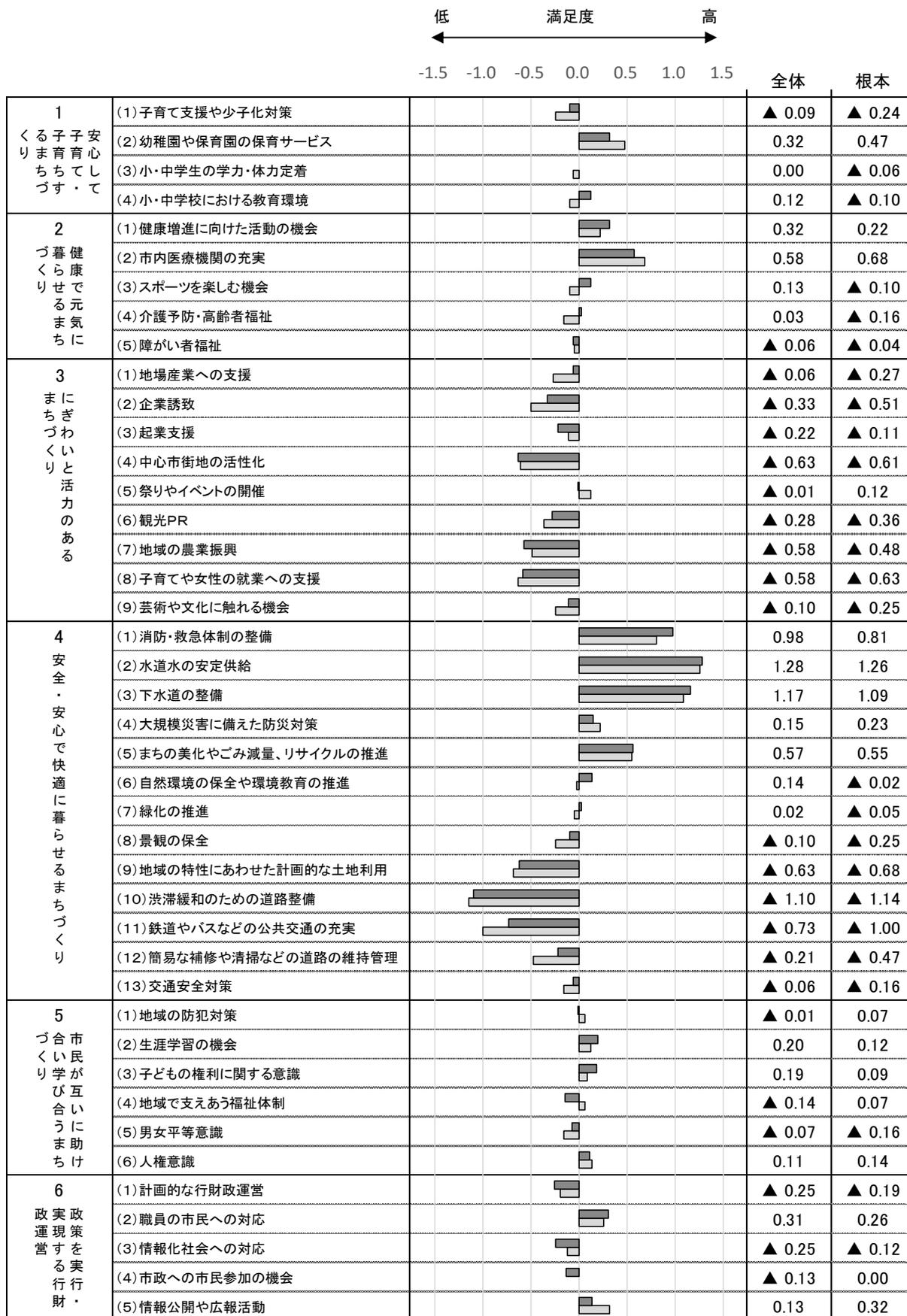
■全体 □滝呂

図 4-1-13 「市政への満足度」(南姫小学校区)



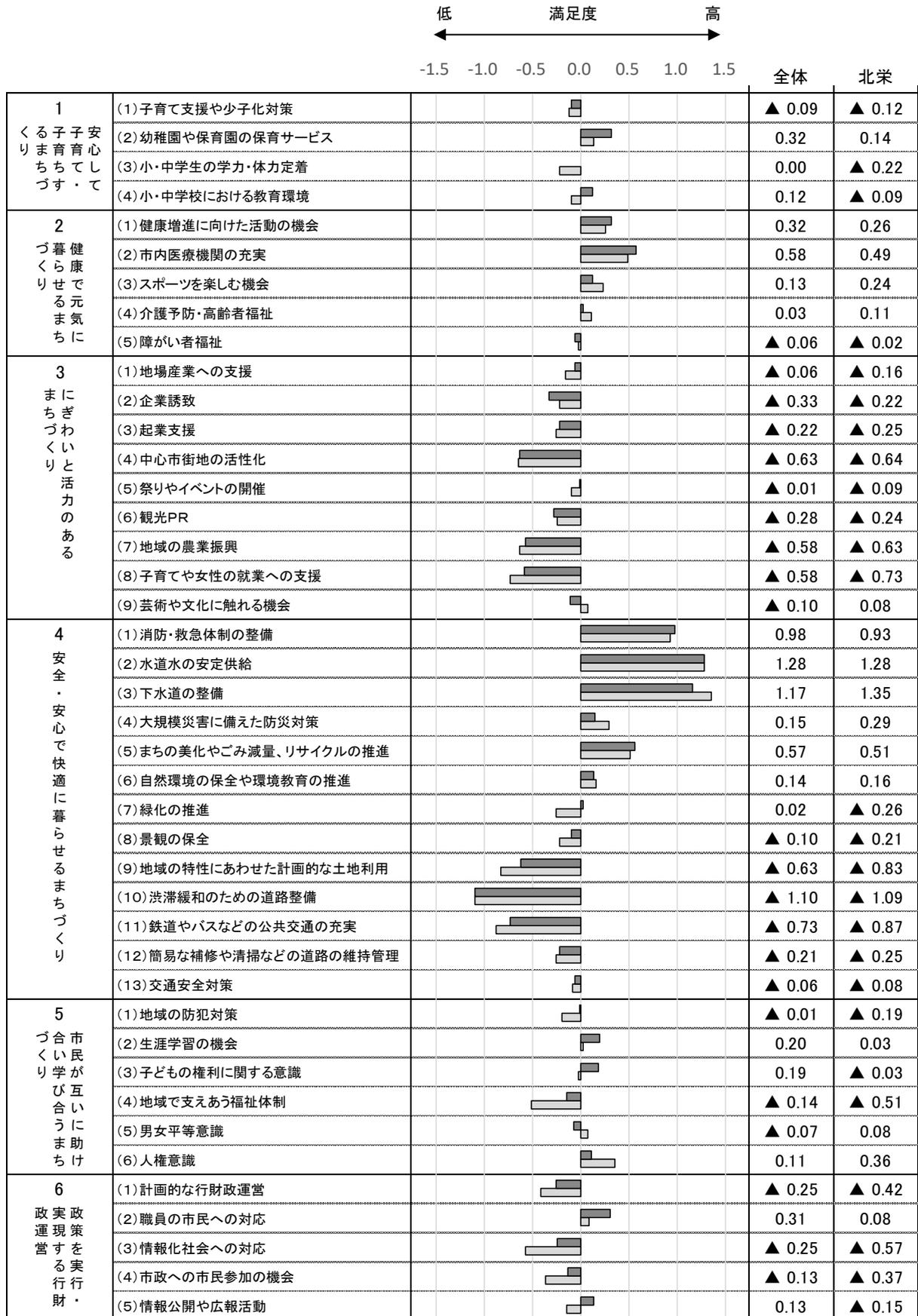
■ 全体 □ 南姫

図 4-1-14 「市政への満足度」(根本小学校区)



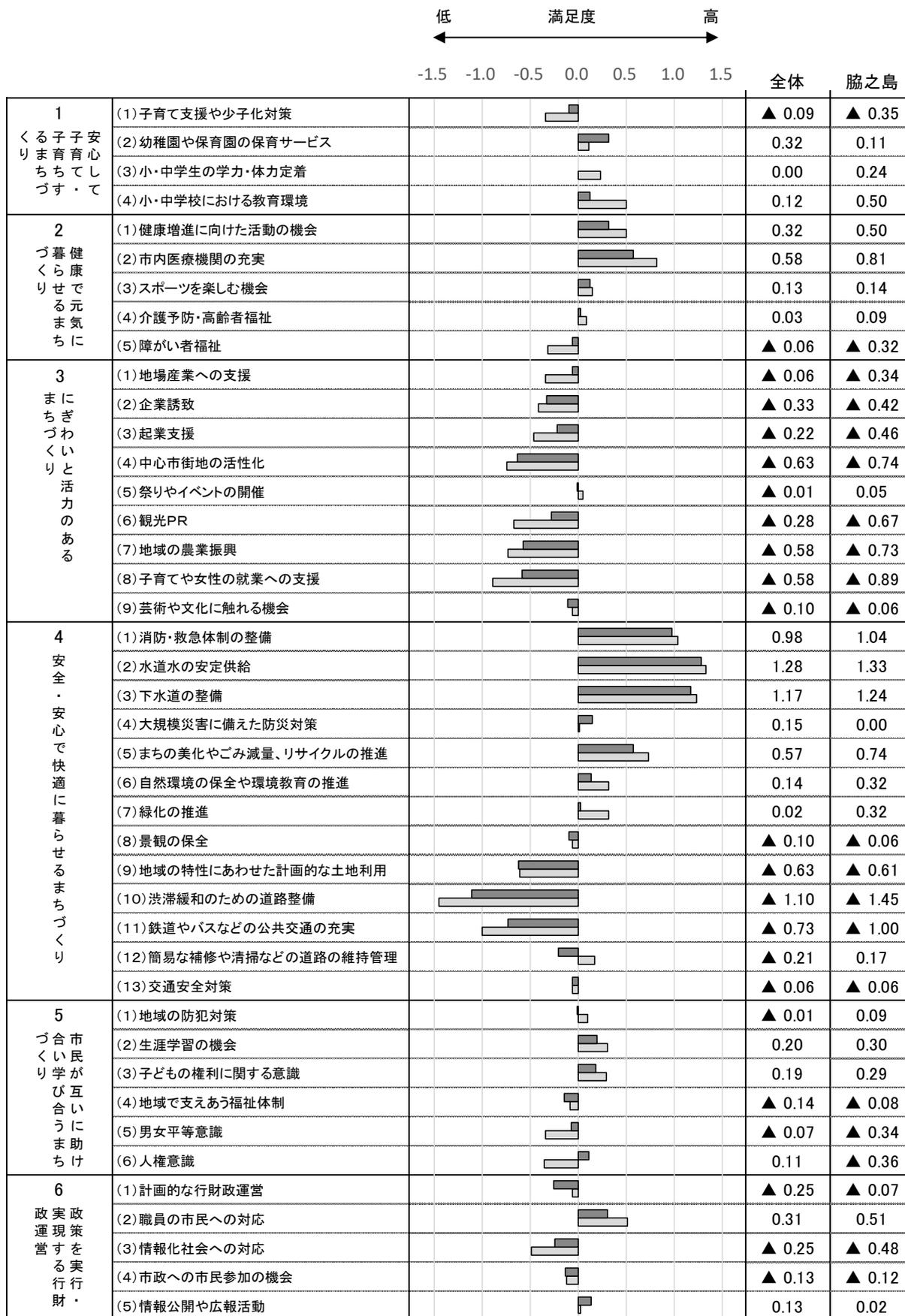
■ 全体 □ 根本

図 4-1-15 「市政への満足度」(北栄小学校区)



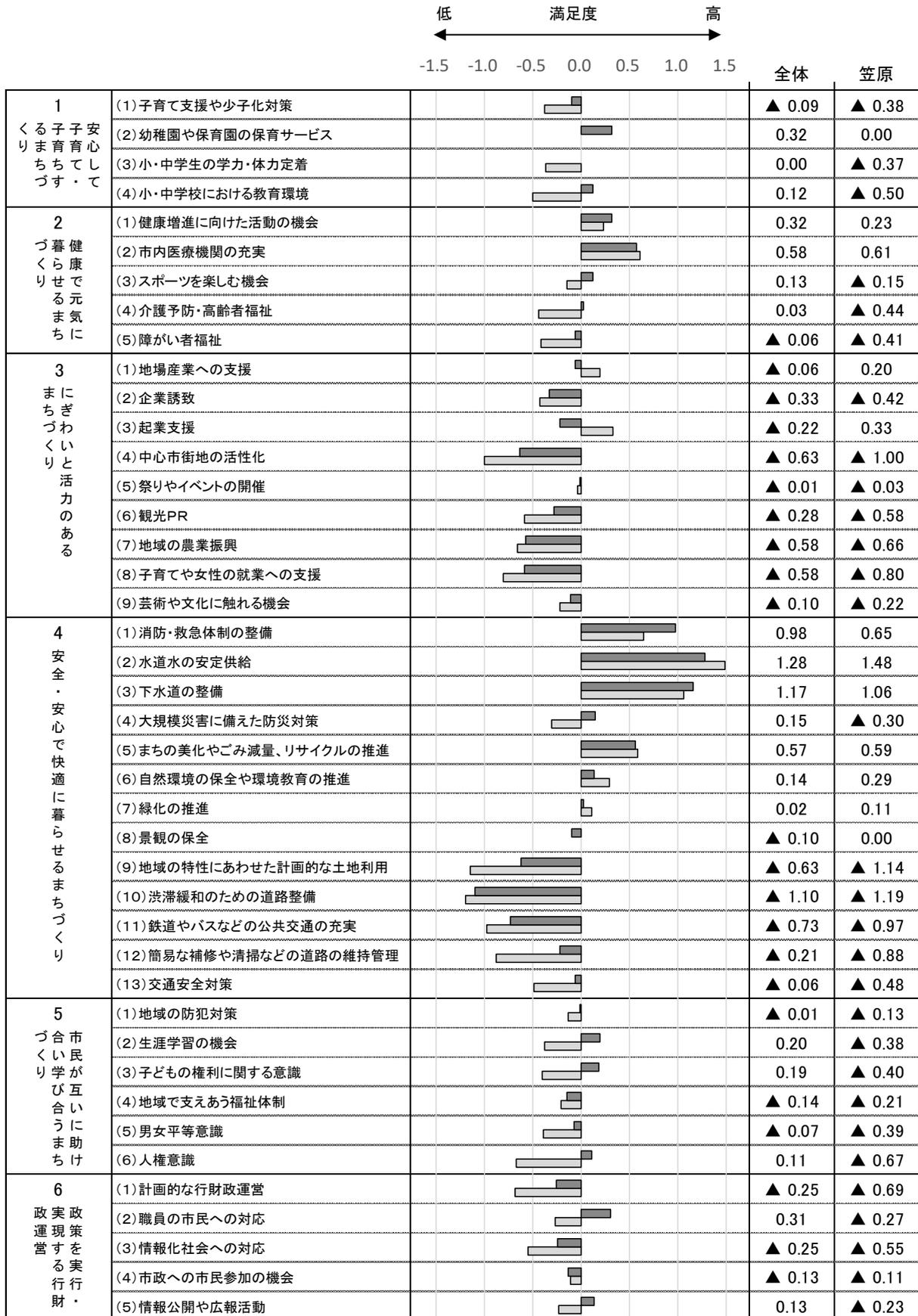
■ 全体 □ 北栄

図 4-1-16 「市政への満足度」(脇之島小学校区)



■全体 □脇之島

図 4-1-17 「市政への満足度」(笠原小学校区)



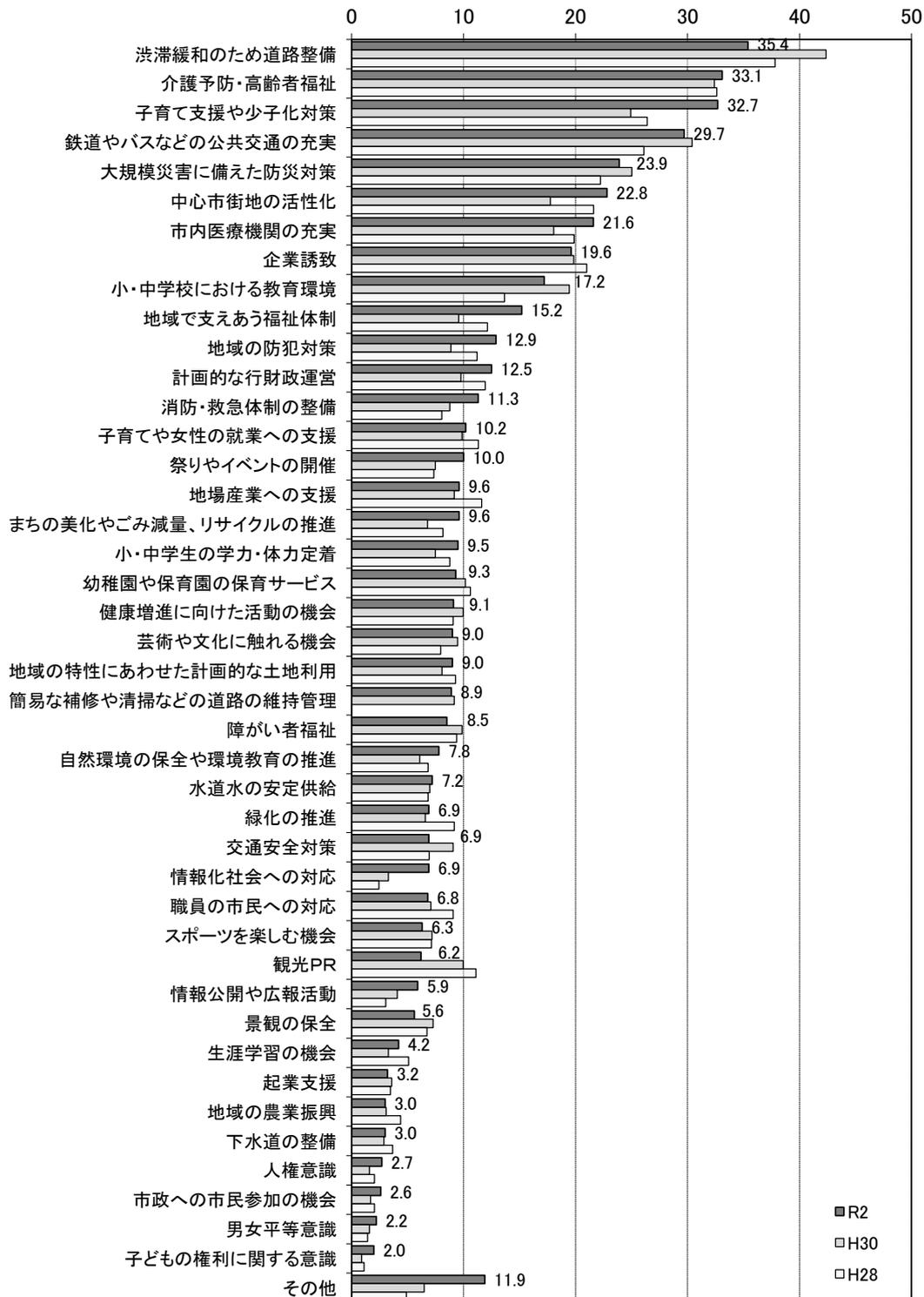
■ 全体 □ 笠原

4-2 市の重点施策

「渋滞緩和のため道路整備」が35.4%と最も高く、次いで「介護予防・高齢者福祉」が33.1%、「子育て支援や少子化対策」が32.7%となっている。

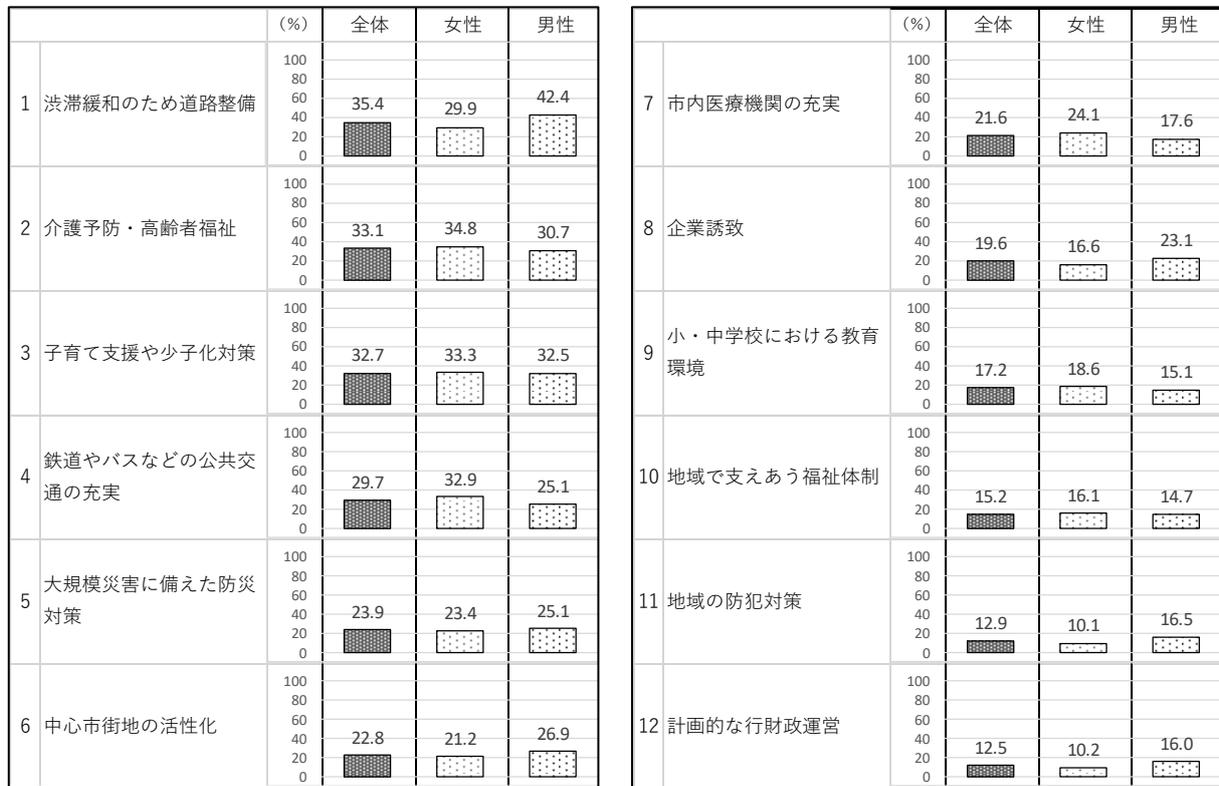
平成30年調査と比較すると、「渋滞緩和のため道路整備」は当時よりポイントが低くなっており、「子育て支援や少子化対策」は高くなっている。

図 4-2-1 「今後力を入れてほしい施策」



性別にみると、女性は「介護予防・高齢者福祉」が34.8%で最も高くなっている。一方で、男性は「渋滞緩和のため道路整備」が42.4%で最も高くなっており、女性の29.9%と比べて12.5ポイント高い。また、次いで高いのは男女ともに「子育て支援や少子化対策」となっている。

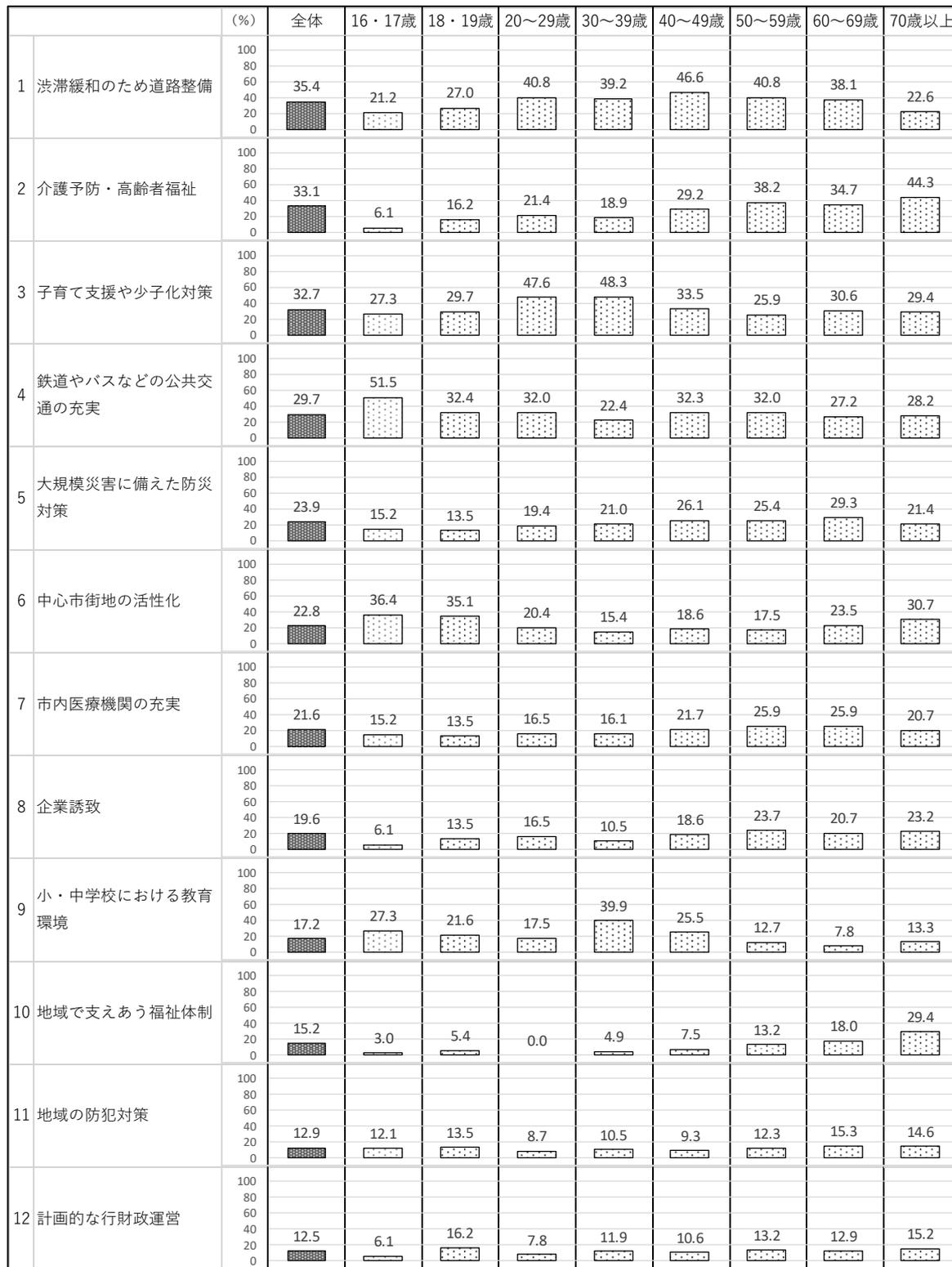
図 4-2-2 性別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)



【市民意識調査 一般】

年代別にみると、「16・17歳」では「鉄道やバスなどの公共交通の充実」、「18・19歳」では「中心市街地の活性化」、「20～29歳」「30～39歳」では「子育て支援や少子化対策」、「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」では「渋滞緩和のため道路整備」、「70歳以上」では「介護予防・高齢者福祉」がそれぞれ最も高くなっており、年代によって力を入れてほしい施策が異なっていることが分かる。

図 4-2-3 年代別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)



小学校区別にみると、「精華」「共栄」「昭和」「池田」「脇之島」では、「渋滞緩和のため道路整備」、「養正」「根本」「北栄」では、「介護予防・高齢者福祉」、「小泉」「脇之島」「笠原」では、「子育て支援や少子化対策」、「市之倉」「滝呂」「南姫」「笠原」では、「鉄道やバスなどの公共交通の充実」がそれぞれ最も高くなっている（「脇之島」では「渋滞緩和のため道路整備」と「子育て支援や少子化対策」が、「笠原」では「子育て支援や少子化対策」と「鉄道やバスなどの公共交通の充実」がそれぞれ同率で最も高くなっている）。

また、「渋滞緩和のための道路整備」は特に「池田」で高くなっており、53.1%と半数を超えている。

図 4-2-4 小学校区別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)

	(%)	全体	養正	精華	共栄	昭和	小泉	池田	市之倉	滝呂	南姫	根本	北栄	脇之島	笠原
1 渋滞緩和のため道路整備	100 80 60 40 20 0	35.4	27.3	38.8	34.4	45.2	32.9	53.1	30.8	27.5	34.0	33.1	32.1	39.1	32.4
2 介護予防・高齢者福祉	100 80 60 40 20 0	33.1	41.0	20.2	29.5	44.5	29.4	28.4	26.9	32.5	30.2	37.6	34.6	24.6	32.4
3 子育て支援や少子化対策	100 80 60 40 20 0	32.7	28.8	30.3	24.6	38.4	45.5	33.3	26.9	30.0	24.5	30.1	28.2	39.1	48.6
4 鉄道やバスなどの公共交通の充実	100 80 60 40 20 0	29.7	26.8	28.1	19.7	25.3	23.8	25.9	48.1	33.8	45.3	29.3	33.3	27.5	48.6
5 大規模災害に備えた防災対策	100 80 60 40 20 0	23.9	26.8	24.7	9.8	29.5	23.8	29.6	17.3	22.5	26.4	21.1	15.4	24.6	21.6
6 中心市街地の活性化	100 80 60 40 20 0	22.8	30.2	29.2	18.0	26.0	14.7	21.0	21.2	20.0	15.1	18.0	15.4	36.2	21.6
7 市内医療機関の充実	100 80 60 40 20 0	21.6	20.5	31.5	29.5	14.4	15.4	17.3	21.2	18.8	24.5	25.6	23.1	17.4	32.4
8 企業誘致	100 80 60 40 20 0	19.6	21.0	17.4	19.7	21.9	15.4	19.8	21.2	11.3	20.8	24.1	16.7	27.5	21.6
9 小・中学校における教育環境	100 80 60 40 20 0	17.2	10.2	16.9	16.4	14.4	23.1	12.3	30.8	16.3	15.1	21.8	23.1	17.4	21.6
10 地域で支えあう福祉体制	100 80 60 40 20 0	15.2	21.5	9.6	11.5	19.2	11.9	11.1	17.3	18.8	9.4	12.8	19.2	20.3	5.4
11 地域の防犯対策	100 80 60 40 20 0	12.9	17.1	11.8	16.4	13.0	14.0	11.1	13.5	10.0	13.2	12.8	7.7	8.7	8.1
12 計画的な行政運営	100 80 60 40 20 0	12.5	16.1	10.7	11.5	19.9	14.0	8.6	9.6	8.8	15.1	12.8	7.7	7.2	8.1

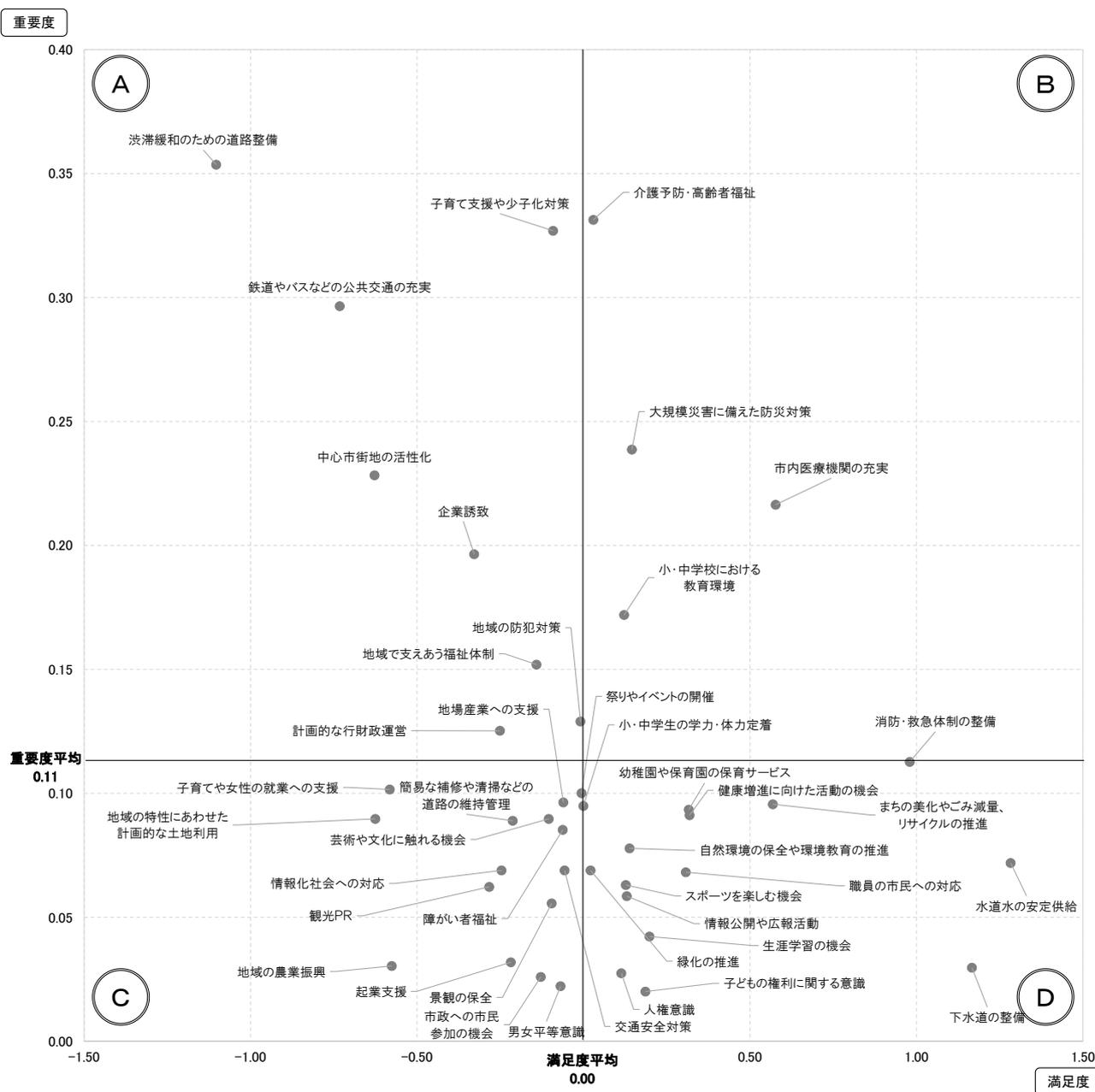
【市民意識調査 一般】

市の施策項目ごとに、重要度の評価得点をつけて評価している。評価得点は、今後力を入れてほしい施策として選択された選択肢に対して点数をつけて算出している。算出にあたっては、以下の式を用いている。

算出した満足度と重要度の評価得点をもとに、満足度と重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、満足度と重要度の平均値を軸として、4つの領域に分割して分析する。

《評価得点の算出式》

$$\text{重要度} = \frac{\text{選択肢を選んだ人数} \times 1 \text{点}}{\text{回答者数}}$$



以上の方法により、満足度と重要度をまとめると、各項目の分類は以下のようになる。

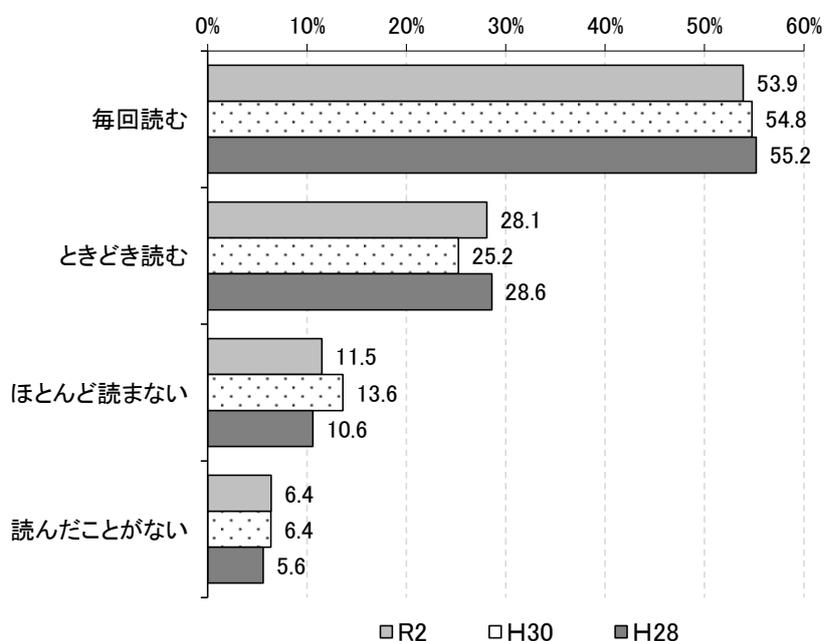
A=満足度が低く、重要度が高い（最優先で改善すべき施策）		
○子育て支援や少子化対策	○渋滞緩和のための道路整備	○地域の防犯対策
○企業誘致	○鉄道やバスなどの公共交通	○地域で支えあう福祉体制
○中心市街地の活性化	○の充実	○計画的な行財政運営
B=満足度も重要度も高い（現状の水準を引き続き重点的に維持すべき施策）		
○小・中学校における教育環境	○市内医療機関の充実 ○介護予防・高齢者福祉	○大規模災害に備えた防災対策
C=満足度も重要度も低い（重要度は低いが、満足度の向上を意識して改善すべき施策）		
○小・中学生の学力・体力定着	○地域の農業振興	○簡易な補修や清掃などの道路の維持管理
○障がい者福祉	○子育てや女性の就業への支援	○交通安全対策
○地場産業への支援	○芸術や文化に触れる機会	○男女平等意識
○起業支援	○景観の保全	○情報化社会への対応
○祭りやイベントの開催	○地域の特性にあわせた計画的な土地利用	○市政への市民参加の機会
○観光PR		
D=満足度が高く、重要度が低い（重要度は低いが、現状の水準を維持すべき施策）		
○幼稚園や保育園の保育サービス	○下水道の整備	○生涯学習の機会
○健康増進に向けた活動の機会	○まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	○子どもの権利に関する意識
○スポーツを楽しむ機会		○人権意識
○消防・救急体制の整備	○自然環境の保全や環境教育の推進	○職員の市民への対応
○水道水の安定供給	○緑化の推進	○情報公開や広報活動

5. 情報提供について

5-1 広報たじみ【Tajimist (たじみすと)】を読んでいますか

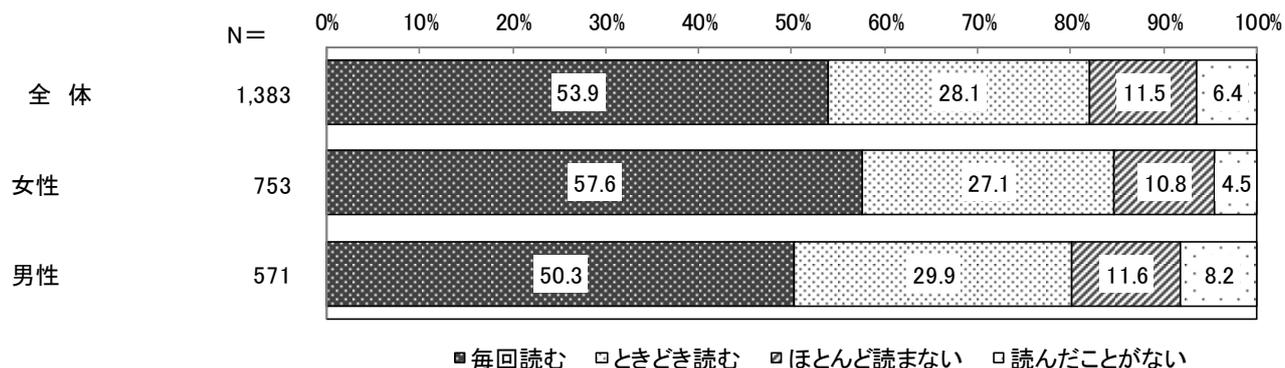
「毎回読む」が53.9%と最も高く、次いで「ときどき読む」が28.1%、「ほとんど読まない」が11.5%となっている。また、「毎回読む」と「ときどき読む」を合わせた“読む”は82.0%、「ほとんど読まない」と「読んだことがない」を合わせた“読まない”は17.9%となっている。過去の調査と比較すると、平成28年調査から「毎回読む」が徐々に減少している一方で、「ときどき読む」は平成30年調査から2.9ポイント増加した。

図 5-1-1 「広報たじみの閲読頻度」(過年度比較)



“読む”は「女性」で84.7%、「男性」で80.2%となっている。特に「毎回読む」は「男性」が50.3%であるのに対して、「女性」は57.6%と「男性」よりも7.3ポイント高くなっている。一方で“読まない”は「女性」で15.3%、「男性」で19.8%となっている。

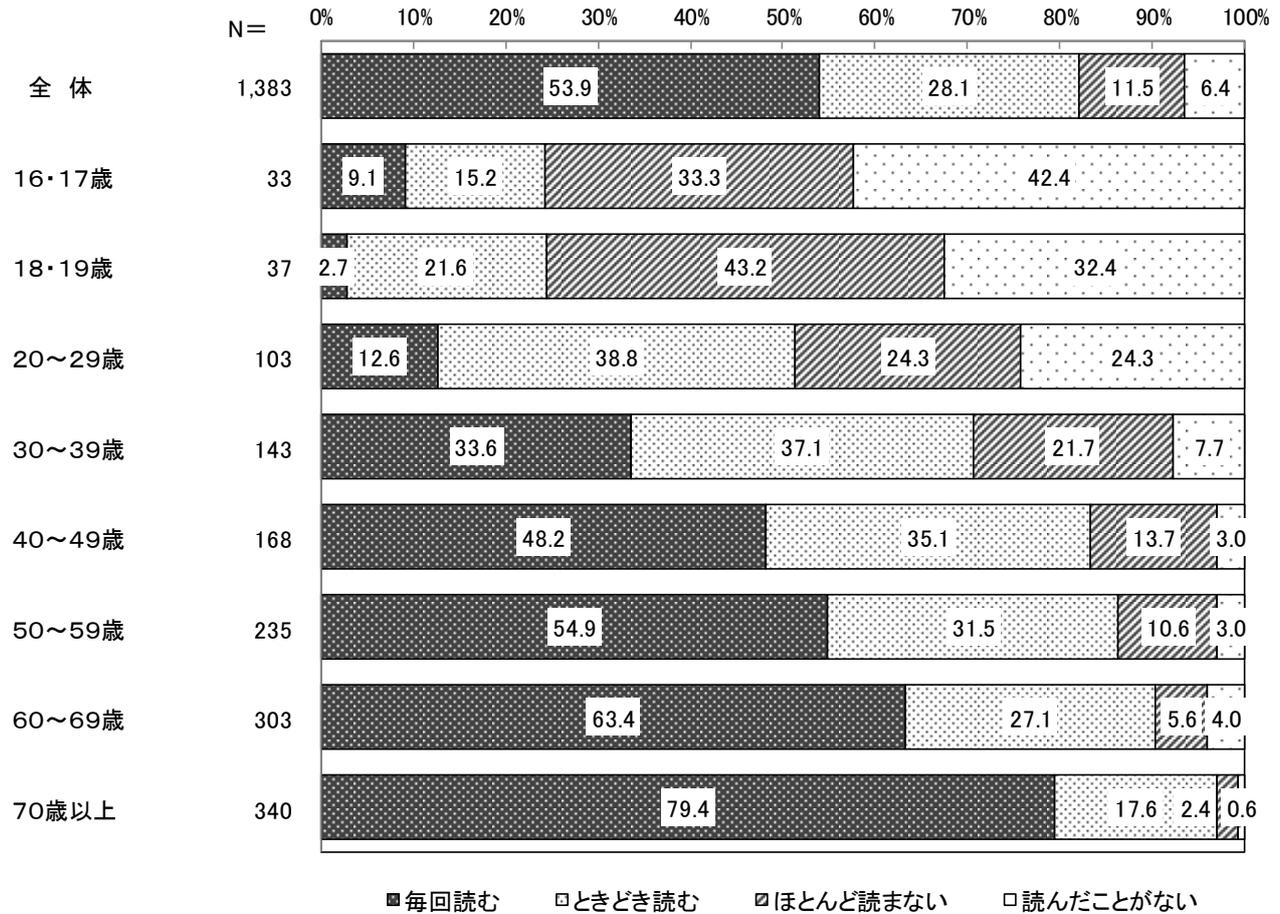
図 5-1-2 性別「広報たじみの閲読頻度」



「16・17歳」は「18・19歳」に比べ「毎回読む」が9.1%で6.4ポイントと高くなっている。また、「20～29歳」から年代が上がるにつれて、「毎回読む」の割合は増加し、「70歳以上」では79.4%となっている。また、「読む」は「30～39歳」以上で、いずれの年代でも7割以上となり、特に「60～69歳」以上の年代で9割を超えている。

一方で「読まない」は「16・17歳」「18・19歳」で約7割半ばと他の年代に比べて高くなっている。

図 5-1-3 年代別「広報たじみの阅读頻度」

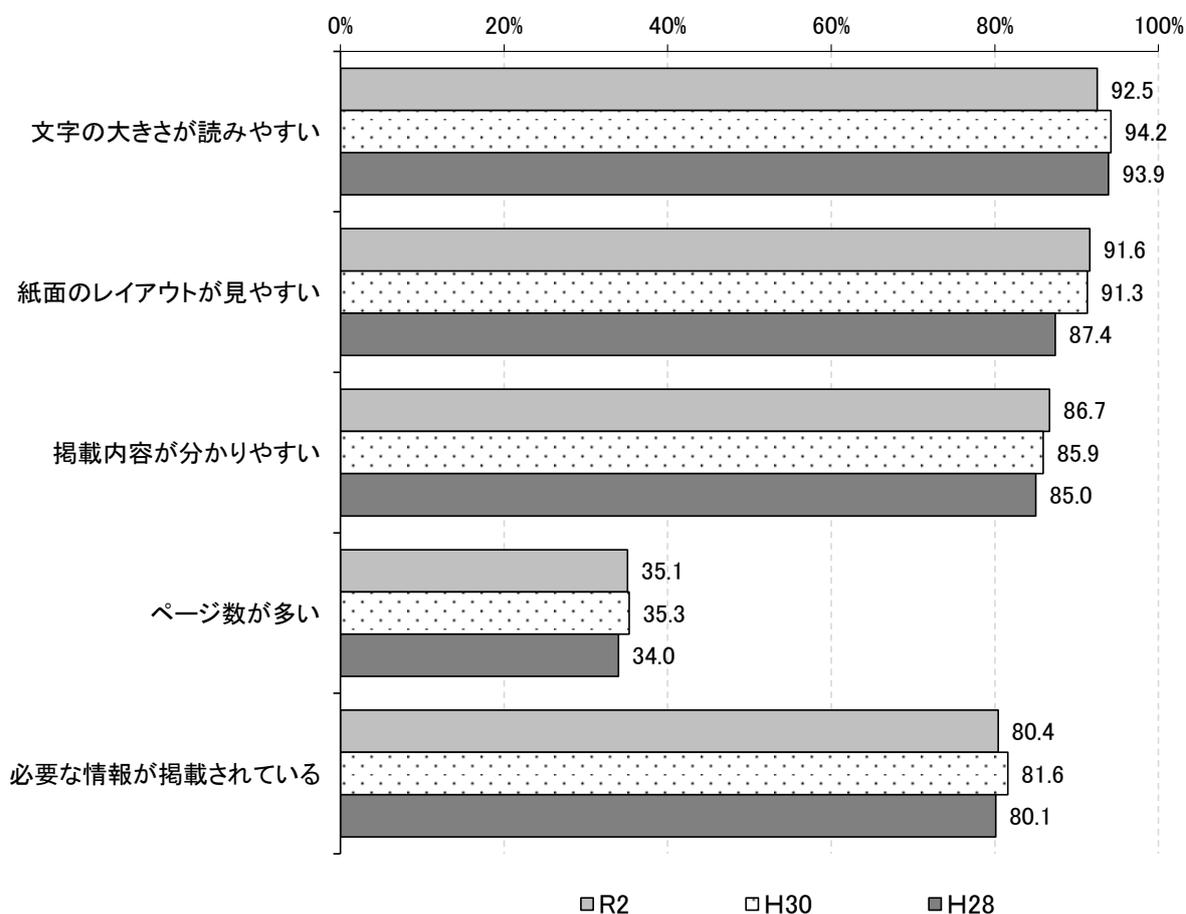


5-2 広報たじみ【Tajimist (たじみすと)】の内容

「ページ数が多い」を除いていずれの項目も8割を超えており、特に「文字の大きさが読みやすい」、「紙面のレイアウトが見やすい」は9割以上となっている。一方で「ページ数が多い」は35.1%と他の項目の半分以下の割合となっている。

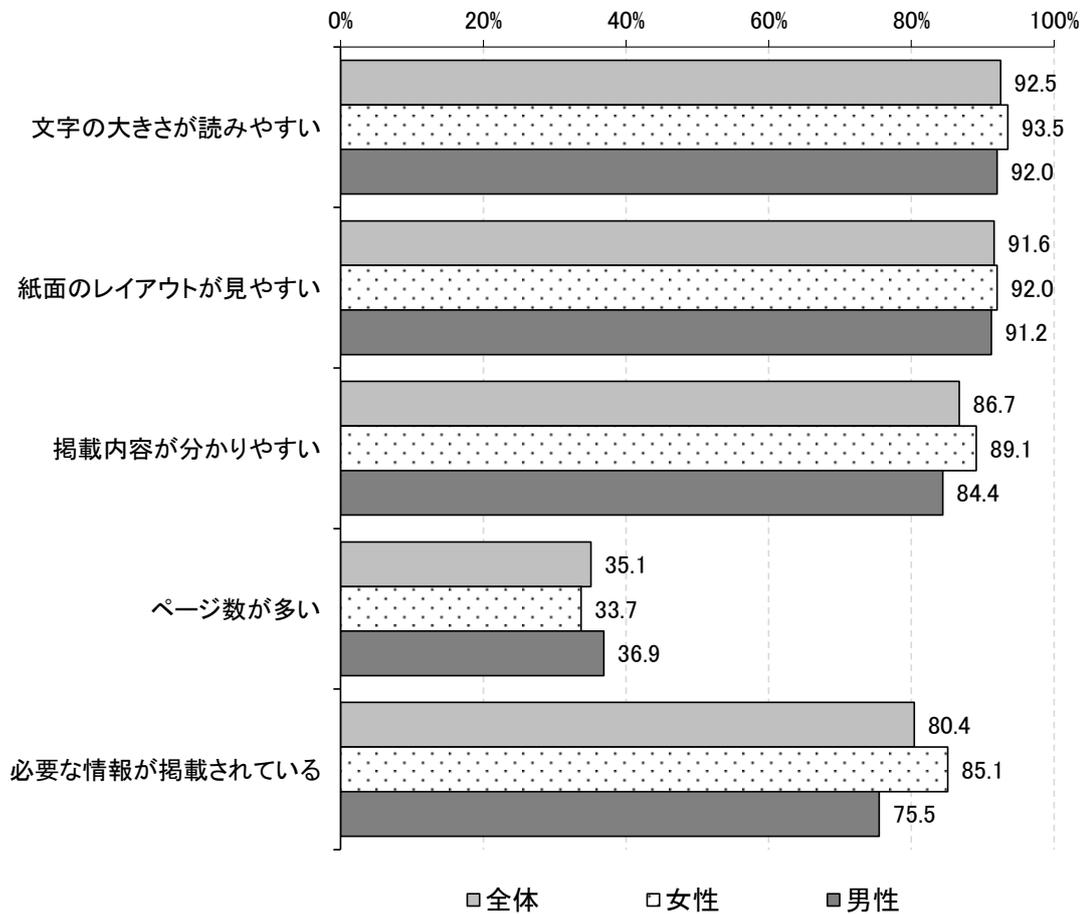
過去調査と比較すると、「紙面のレイアウトが見やすい」と「掲載内容が分かりやすい」はやや増加傾向にある。

図 5-2-1「広報たじみの内容に対する意見」(過年度比較)



性別にみると、「ページ数が多い」を除くいずれの項目においても、「男性」よりも「女性」の割合が高くなっており、「必要な情報が掲載されている」では9.6ポイントの差がみられる。

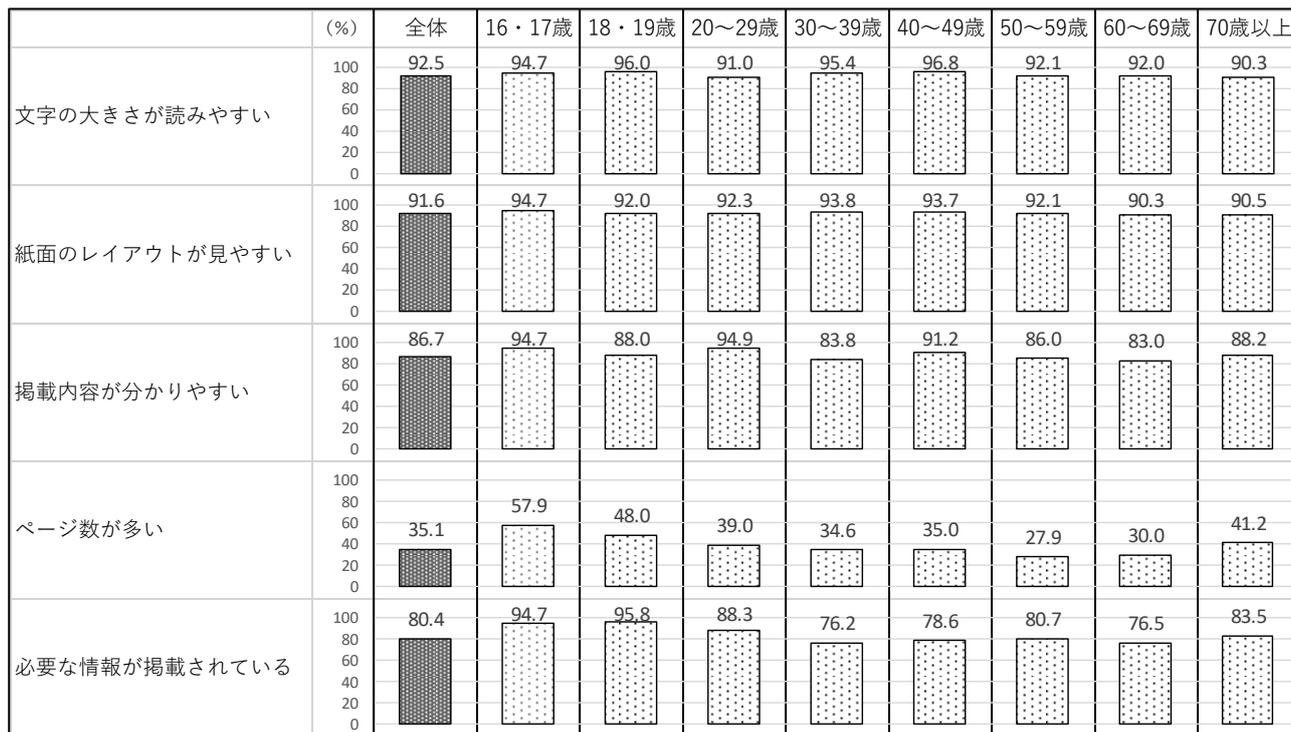
図 5-2-2 性別「広報たじみの内容に対する意見」



【市民意識調査 一般】

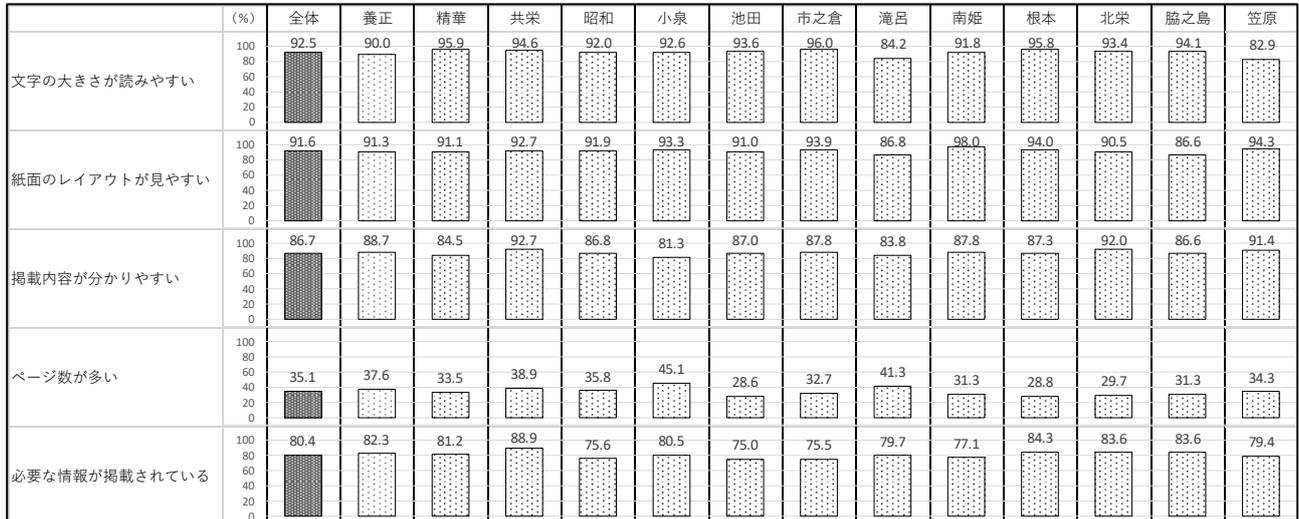
年代別にみると、「16・17歳」「18・19歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」では「文字の大きさが読みやすい」が最も高くなっており、いずれも9割を超えている（「16・17歳」は「紙面のレイアウトが見やすい」「掲載内容が分かりやすい」「必要な情報が掲載されている」が、「50～59歳」は「紙面のレイアウトが見やすい」がそれぞれ同率で最も高くなっていてる）。一方、「ページ数が多い」がすべての年代で最も低くなっており、特に「50～59歳」では27.9%と3割を下回っている。

図 5-2-3 年代別「広報たじみの内容に対する意見」



小学校区別にみると、「精華」「共栄」「昭和」「池田」「市之倉」「根本」「北栄」「脇之島」では「文字の大きさが読みやすい」が、「養正」「小泉」「滝呂」「南姫」「笠原」では「紙面のレイアウトが見やすい」がそれぞれ最も高く、いずれも8割を超えている。一方、「ページ数が多い」は全ての地域でそれぞれ最も低く、特に「池田」「根本」「北栄」では3割を下回っている。

図 5-2-4 小学校区別「広報たじみの内容に対する意見」

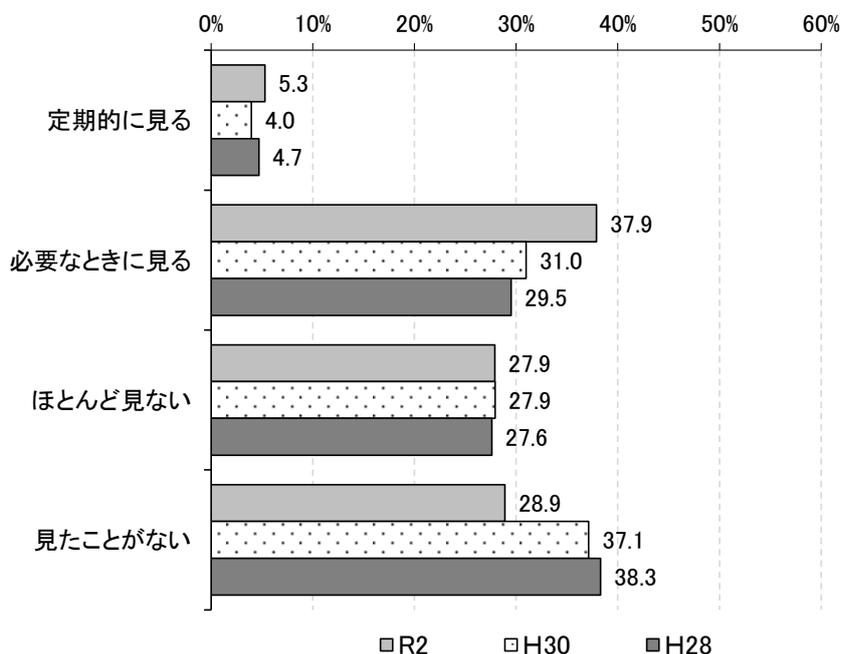


5-3 市のホームページ

「必要なときに見る」が37.9%と最も高く、次いで「見たことがない」が28.9%、「ほとんど見ない」が27.9%となっている。また、「定期的に見る」と「必要なときに見る」を合わせた“見る”は43.2%、「ほとんど見ない」と「見たことがない」を合わせた“見ない”は56.8%となっている。

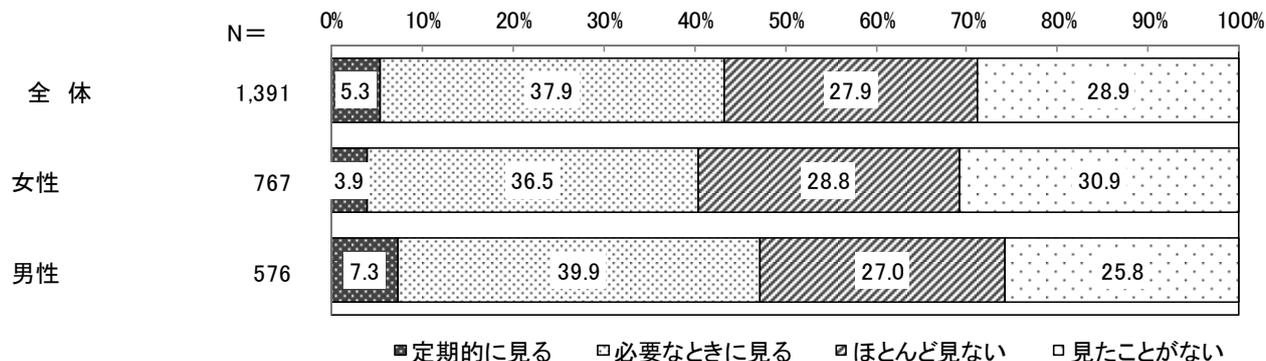
平成30年調査と比較すると、「必要なときに見る」が平成30年調査より6.9ポイント増加し、反対に「見たことがない」が8.2ポイント減少している。

図 5-3-1 「ホームページ閲覧頻度」(過年度比較)



“見る”は「女性」で40.4%、「男性」で47.2%となっており、「男性」の方が「女性」よりも6.8ポイント高くなっている。一方で“見ない”は「女性」で59.7%、「男性」で52.8%となっている。

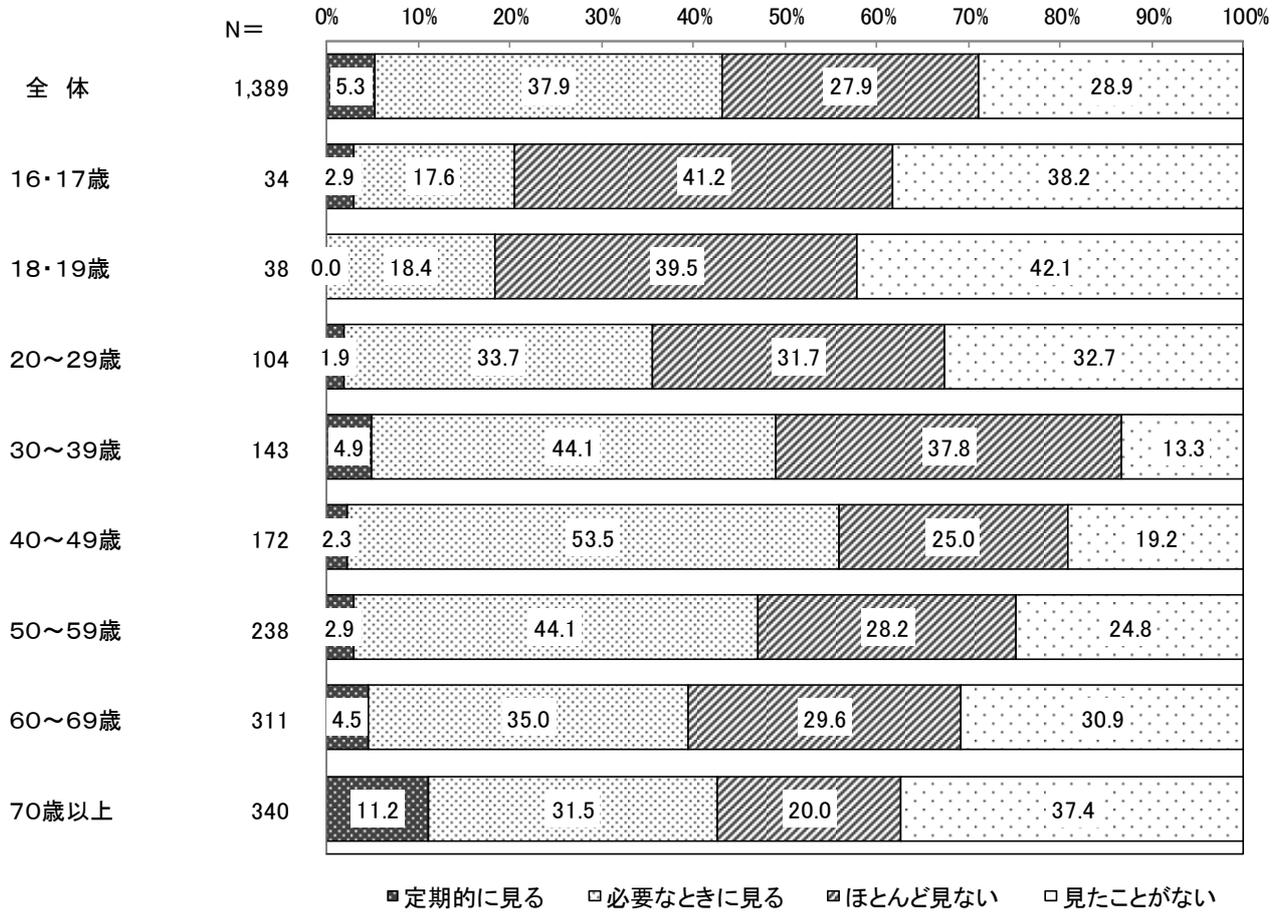
図 5-3-2 性別「ホームページ閲覧頻度」



「定期的に見る」が、「18・19歳」では0.0%となっている一方で、「70歳以上」では11.2%と1割を超えている。“見る”は「40～49歳」で最も高く、55.8%となっている。

「見たことがない」は「18・19歳」で42.1%と唯一4割を超え、次いで「16・17歳」が38.2%となっている。また、“見ない”は「18・19歳」で最も高く、81.6%となっている。

図 5-3-3 年代別「ホームページ閲覧頻度」

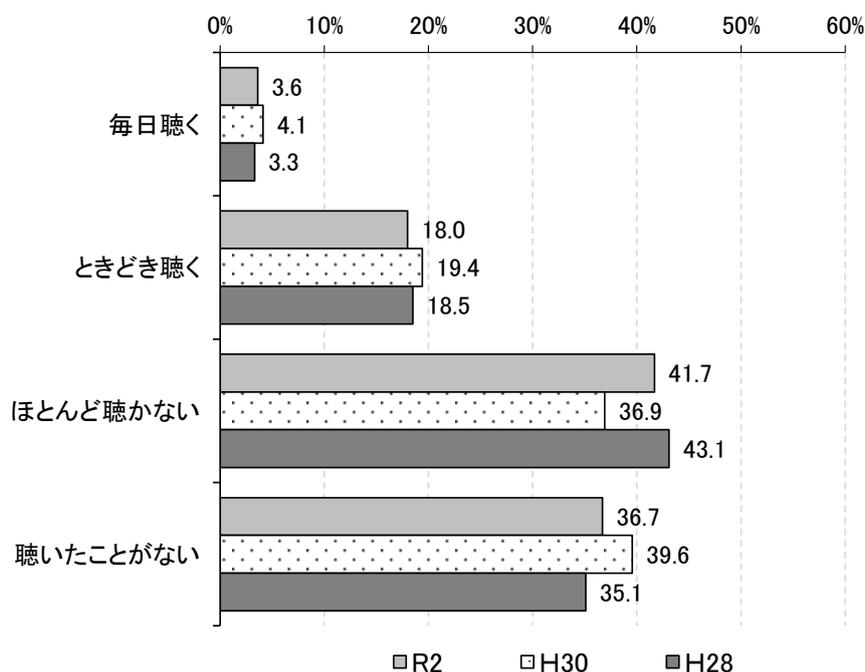


5-4 FMたじみ (エフェムピピ)

「ほとんど聴かない」が41.7%と最も高く、次いで「聴いたことがない」が36.7%、「ときどき聴く」が18.0%となっている。「毎日聴く」と「ときどき聴く」を合わせた“聴く”は21.6%、「ほとんど聴かない」と「聴いたことがない」を合わせた“聴かない”は78.4%となっている。

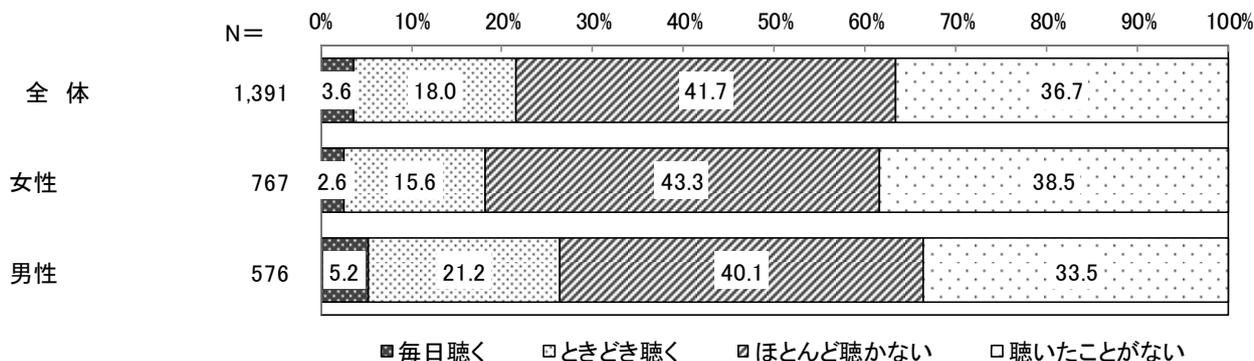
平成30年調査と比較すると、「聴いたことがない」が2.9ポイント減少し、「ほとんど聴かない」が4.8ポイント増加している。

図 5-4-1 「FMたじみの聴取頻度」(過年度比較)



“聴く”は「女性」が18.2%、「男性」が26.4%となっており、「男性」の方が8.2ポイント高くなっている。また、“聴かない”は「女性」が81.8%、「男性」が73.6%となっている。

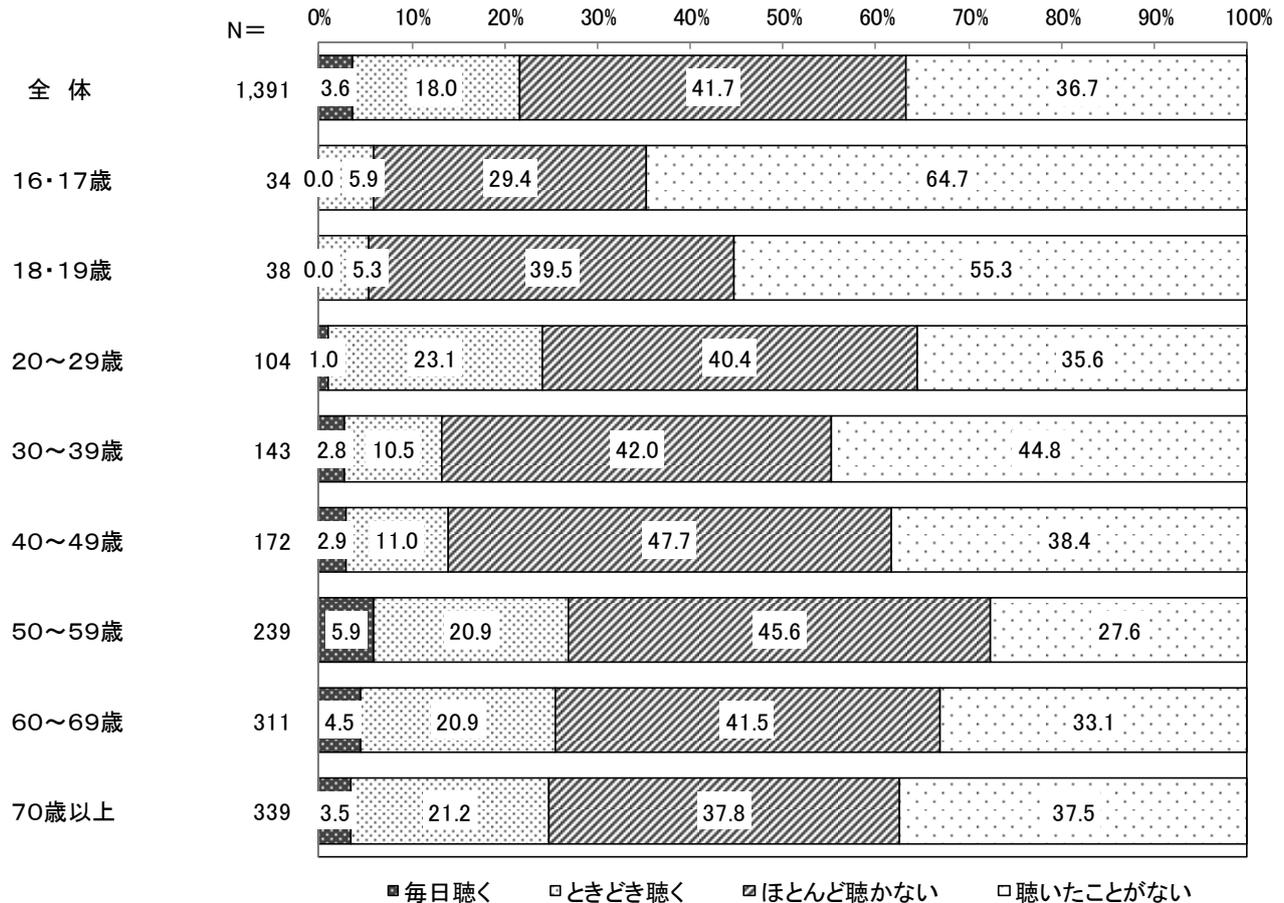
図 5-4-2 性別「FMたじみの聴取頻度」



「毎日聴く」は「16・17歳」、「18・19歳」では0.0%であり、他の年代でも1割に満たない。
 “聴く”は「20～29歳」および「50～59歳」以上の年代で2割台となっている。

「聴いたことがない」は「16・17歳」で64.7%と最も高く、次いで、「18・19歳」で55.3%と、特に若い世代に多くみられている。一方で、最も低い「50～59歳」でも27.6%が「聴いたことがない」としている。また、“聴かない”は「16・17歳」「18・19歳」で9割を超え、その他の年代でも7割以上となっている。

図 5-4-3 年代別「FMたじみの聴取頻度」

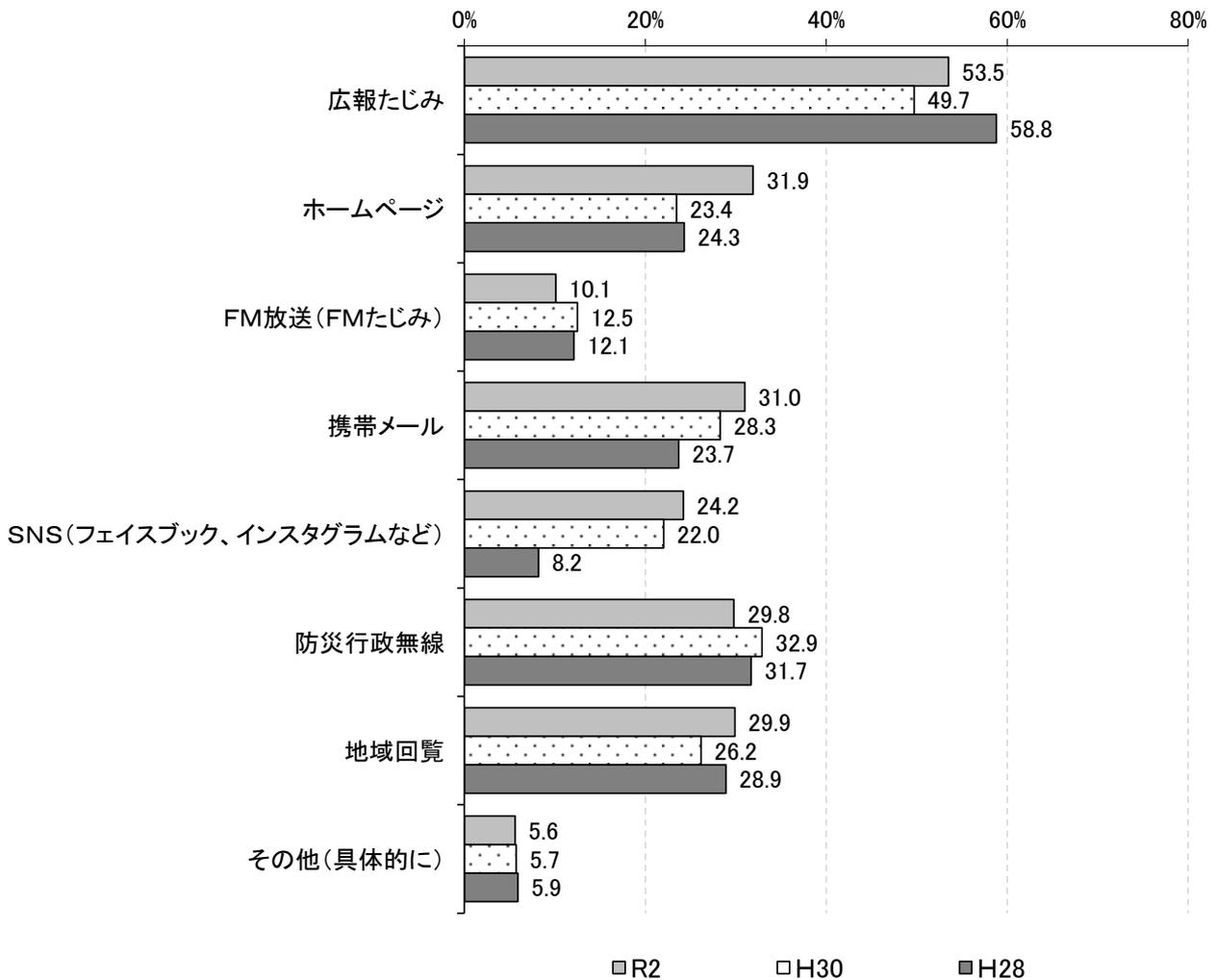


5-5 市の広報手段

「広報たじみ」が53.5%と最も高く、次いで「ホームページ」が31.9%、「携帯メール」が31.0%となっている。

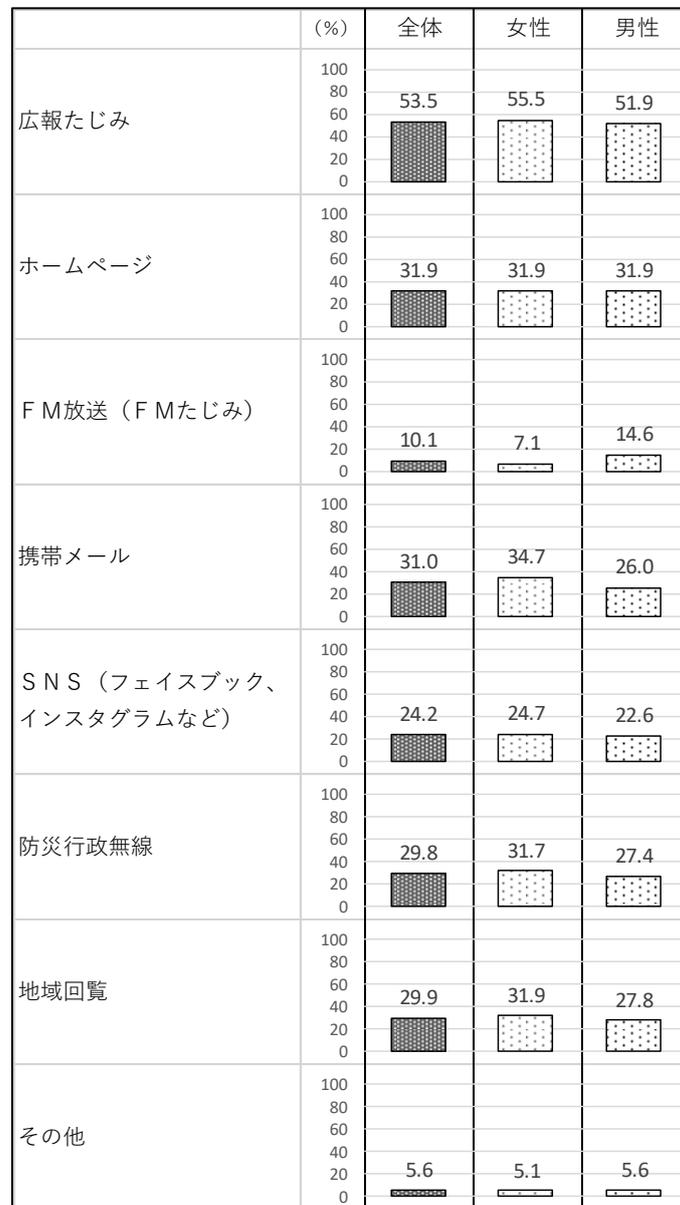
過去の調査と比較すると、「SNS（フェイスブック、インスタグラムなど）」は平成28年調査から大きく増加しているほか、「携帯メール」も増加傾向にある。

図 5-5-1 「今後の市の広報手段として力を入れるべきと思う媒体」(過年度比較)



「広報たじみ」が男性・女性ともに最も高くなっており、「女性」で55.5%、「男性」で51.9%となっている。また、「携帯メール」では「女性」が34.7%、「男性」が26.0%となっており、「女性」が「男性」を8.7ポイント上回っている。

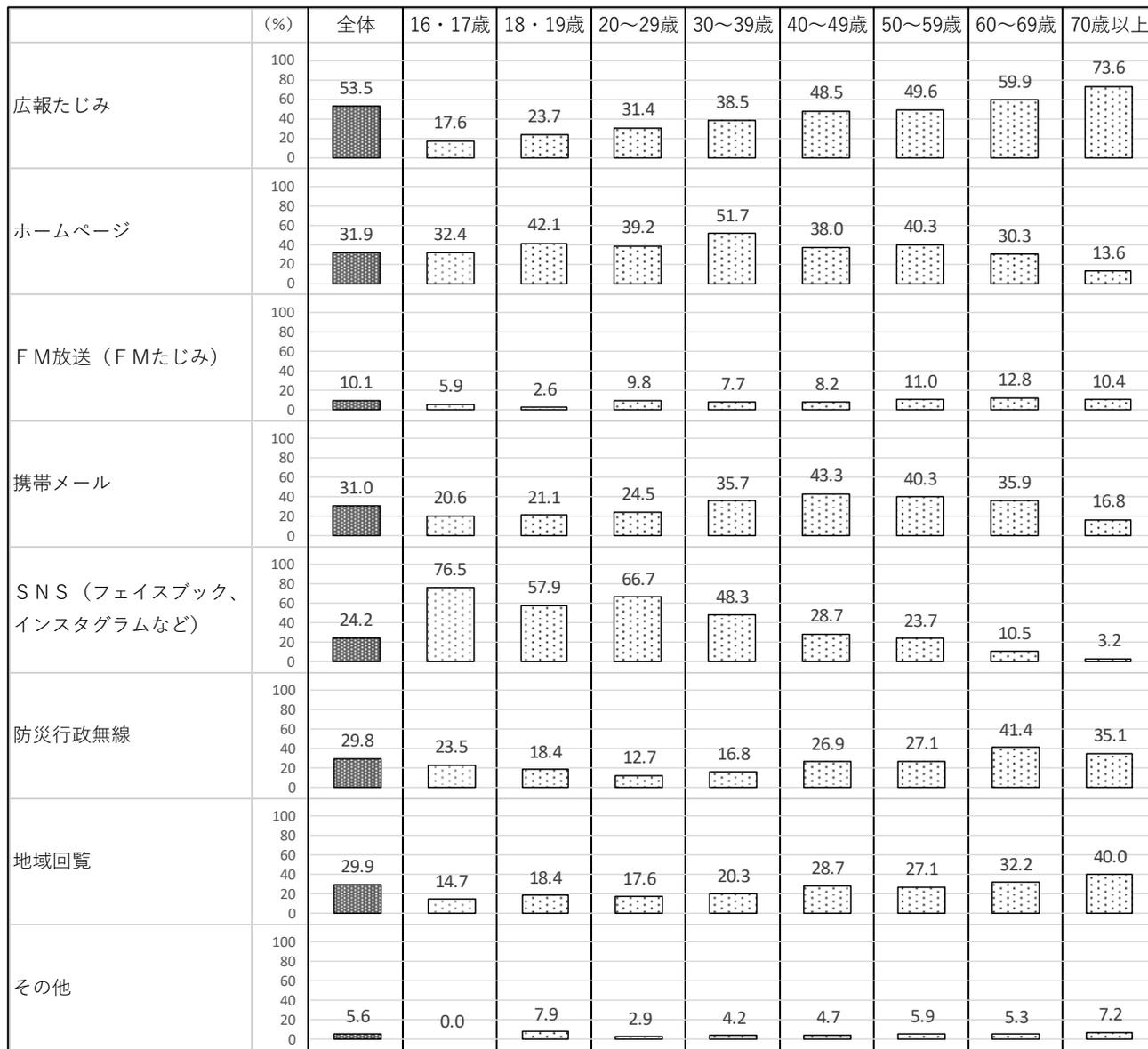
図 5-5-2 性別「今後の市の広報手段として力を入れるべきと思う媒体」



【市民意識調査 一般】

「16・17歳」「18・19歳」「20～29歳」の若い年代ではSNSが最も高く、いずれも5割を超えているが、「20～29歳」以降、年代が上がるにつれてその割合は減少している。一方で「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」は「広報たじみ」がそれぞれ最も高く、さらに年代が上がるほど割合が高くなる傾向にあり、「70歳以上」では73.6%となっている。

図 5-5-3 年代別「今後の市の広報手段として力を入れるべきと思う媒体」



第Ⅲ部

市民意識調査 高校生

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市民意識調査に加え、若者の生活意識や市政全般、今後のまちづくりについての意見、要望などを把握するため市内高校生を対象として行うものであり、今後の住みよいまちづくりに向けての各種施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査方法等

- 調査地域 多治見市全域
- 調査対象 市内高等学校（多治見高等学校、多治見北高等学校、多治見工業高等学校、多治見西高等学校）2年生の男女
- 調査方法 インターネット回収
- 調査時期 令和2年8月～9月

3. 回収結果

	依頼数	回収票数	回収率
市内高等学校4校	839	456	54.35%

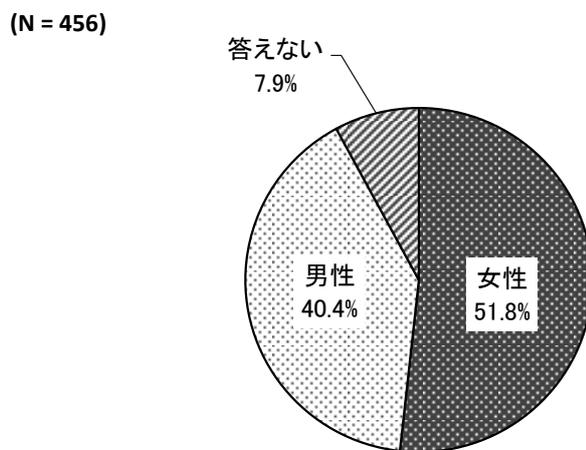
第2章 調査結果

1. 基本属性

1-1 性別

「女性」が51.8%、「男性」が40.4%、「答えない」が7.9%であった。

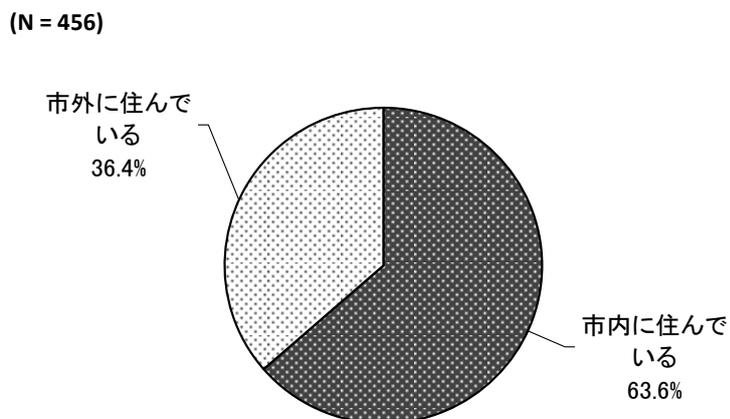
図 1-1-1 「性別」



1-2 居住地

「市内に住んでいる」が63.6%、「市外に住んでいる」が36.4%であった。

図 1-2-1 「居住地」



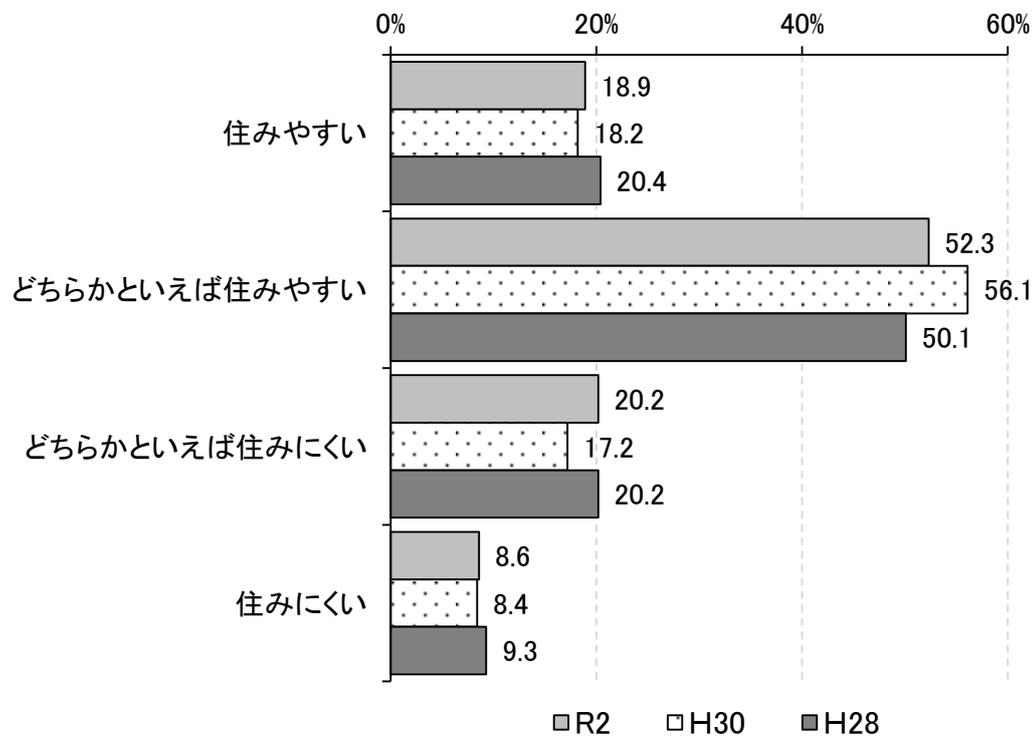
2. 住みやすさと居留意向

2-1 住みやすさ

「どちらかといえば住みやすい」が52.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば住みにくい」が20.2%、「住みやすい」が18.9%となっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”は71.2%となっている。

一方、「どちらかといえば住みにくい」が20.2%、「住みにくい」が8.6%となっており、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた“住みにくいと感じている人”は28.8%となっている。

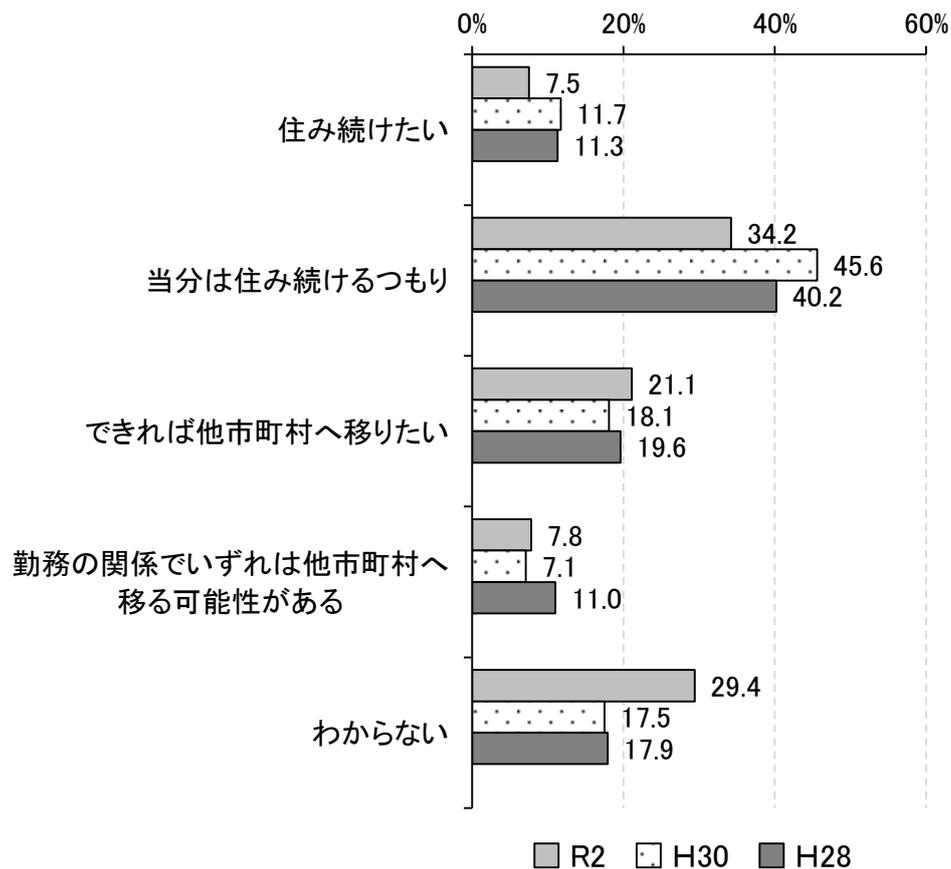
図 2-1-1 「住みやすさ」



2-2 今後の居留意向

「当分は住み続けるつもり」が34.2%と最も高く、次いで「わからない」が29.4%、「できれば他市町村へ移りたい」が21.1%となっている。「住み続けたい」と「当分は住み続けるつもり」を合わせた“住み続けたいと感じている人”は41.7%となっている。

図 2-2-1 「今後の居留意向」

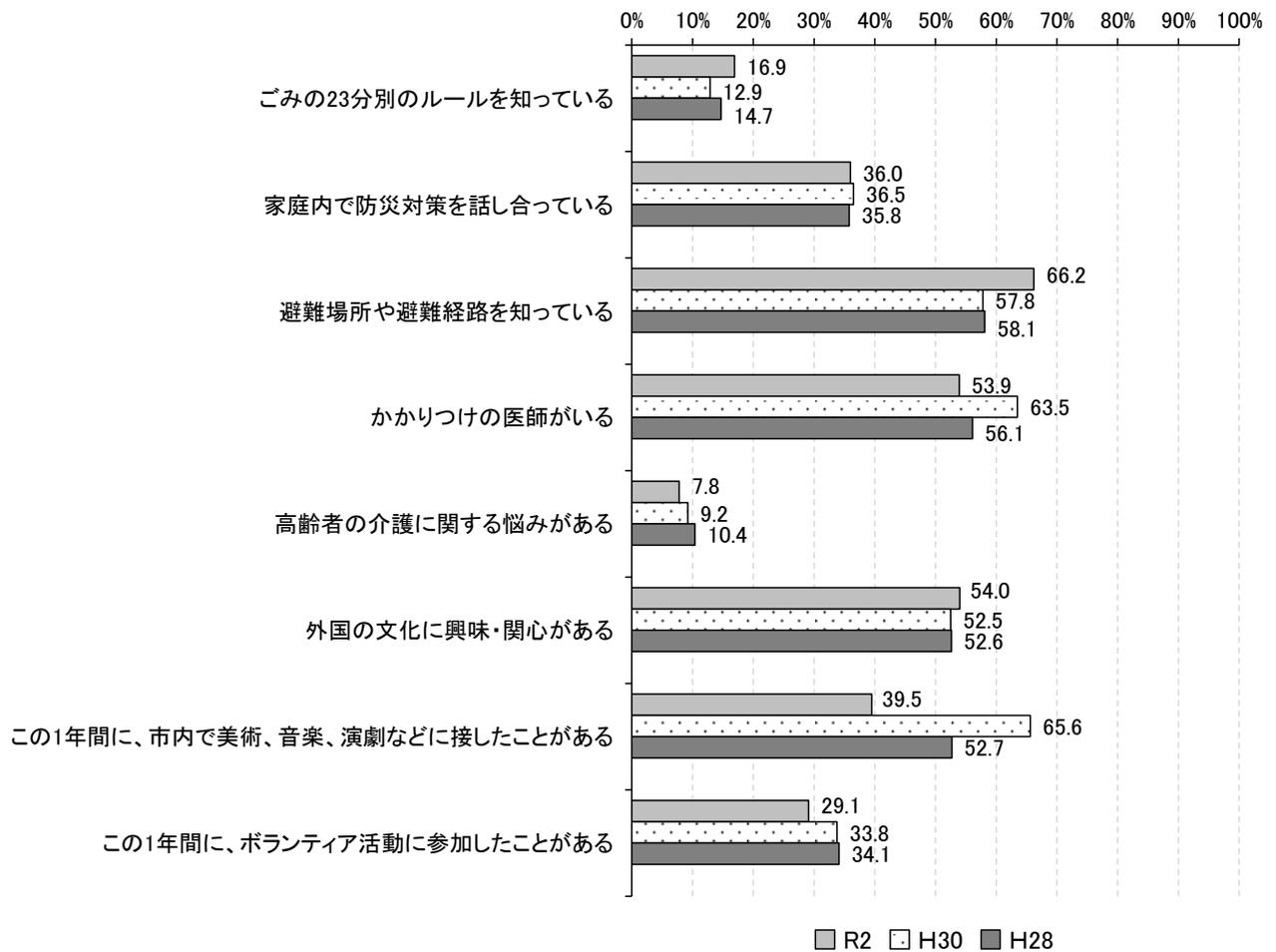


3. 生活実態および市民意識

3-1 生活実態および市民意識

「避難場所や避難経路を知っている」が66.2%で最も高くなっており、次いで「外国の文化に興味・関心がある」が54.0%、「かかりつけの医師がいる」が53.9%となっている。

図 3-1-1 「生活実態および市民意識」



4. 市政全般について

4-1 市政への満足度

市政への満足度は全ての項目においてプラスとなっている。

平成30年調査と比較すると、「職員の市民への対応」が最も大きく評価が上がっている一方で、「祭りやイベントの開催」は唯一評価が下がっている。

図 4-1-1 「市政への満足度」

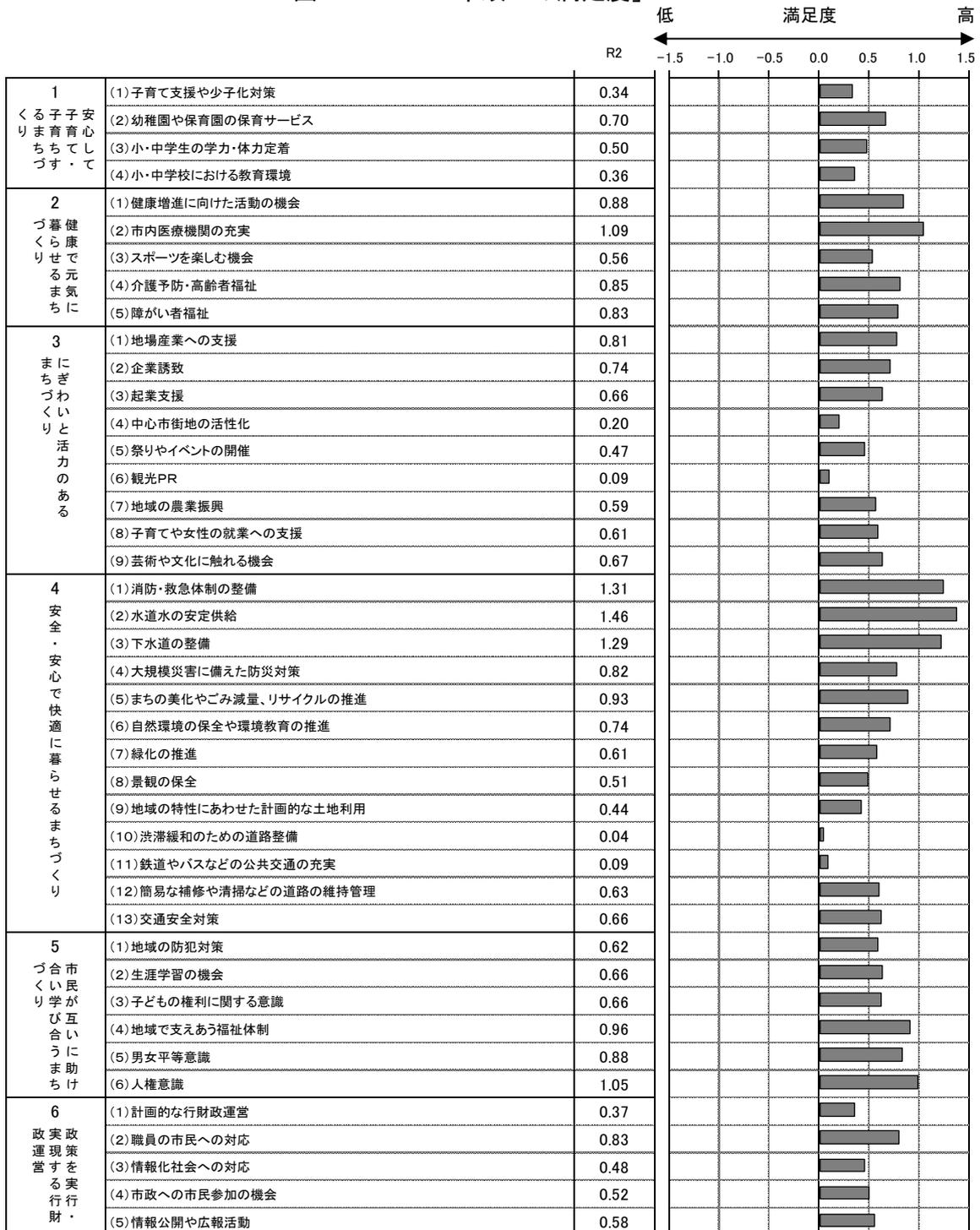
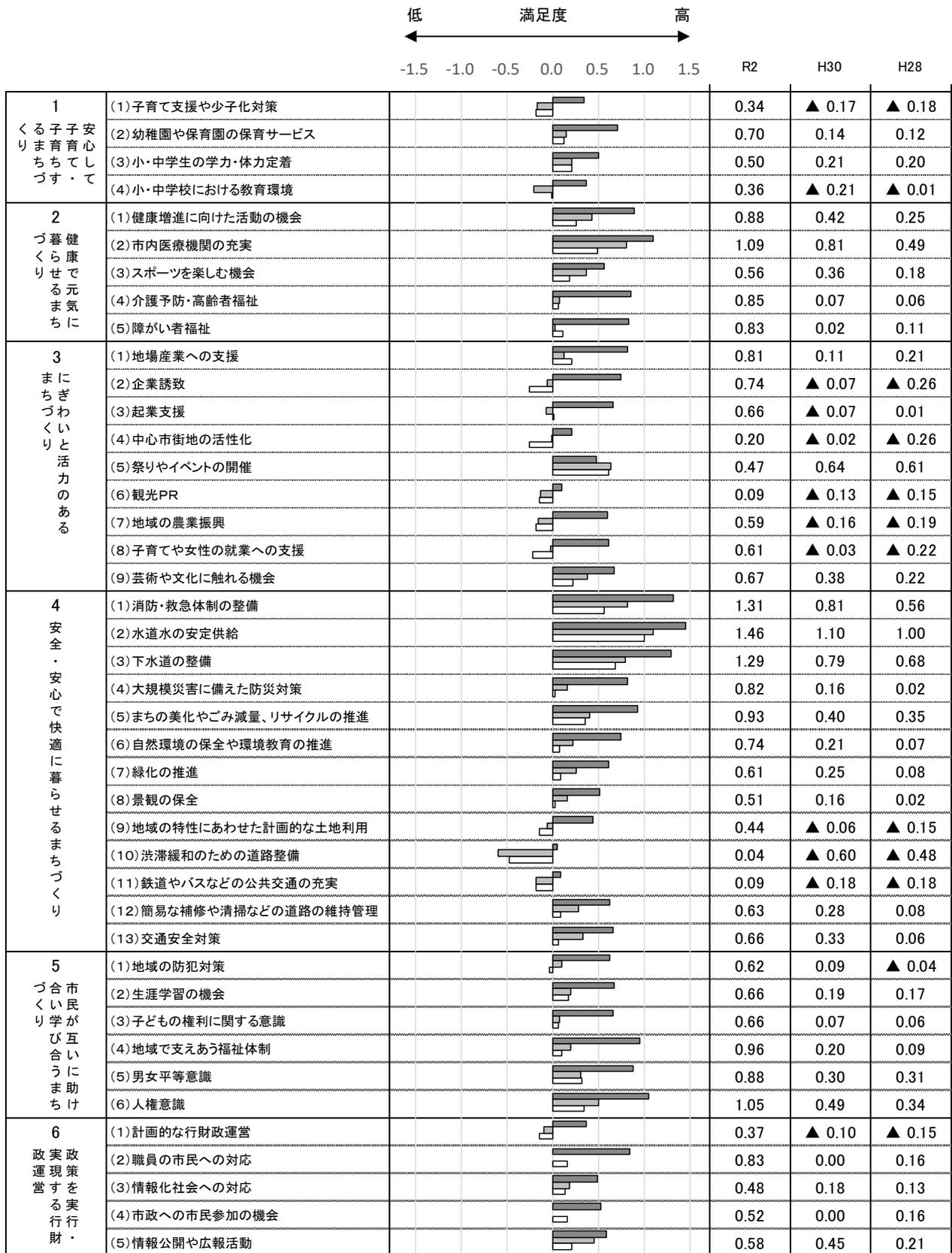


図 4-1-2 「市政への満足度」(過年度比較)

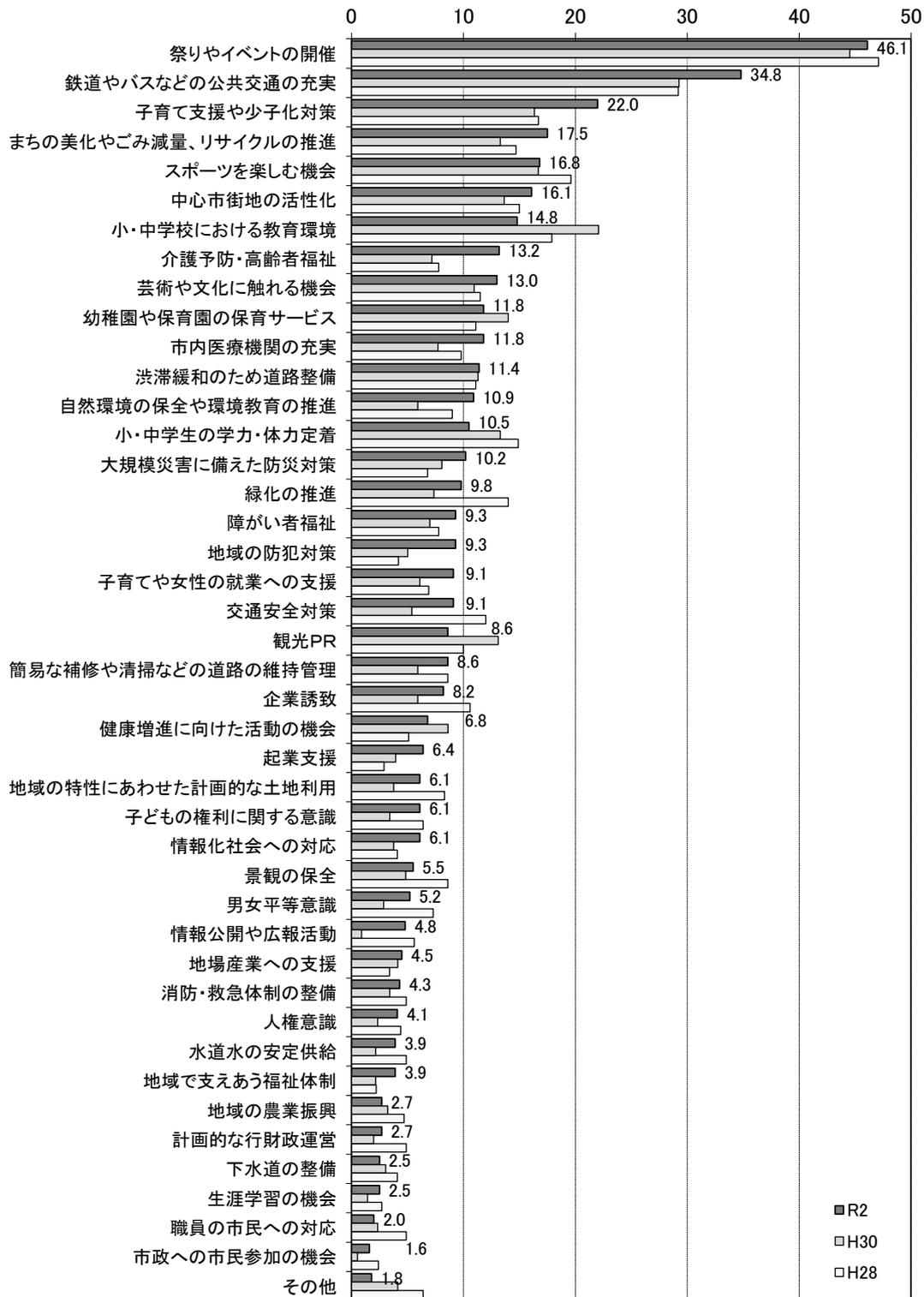


■ R2 ■ H30 □ H28

4-2 市の重点施策

「祭りやイベントの開催」が46.1%と最も高く、次いで「鉄道やバスなどの公共交通の充実」が34.8%、「子育て支援や少子化対策」が22.0%となっている。

図 4-2-1 「今後力を入れてほしい施策」



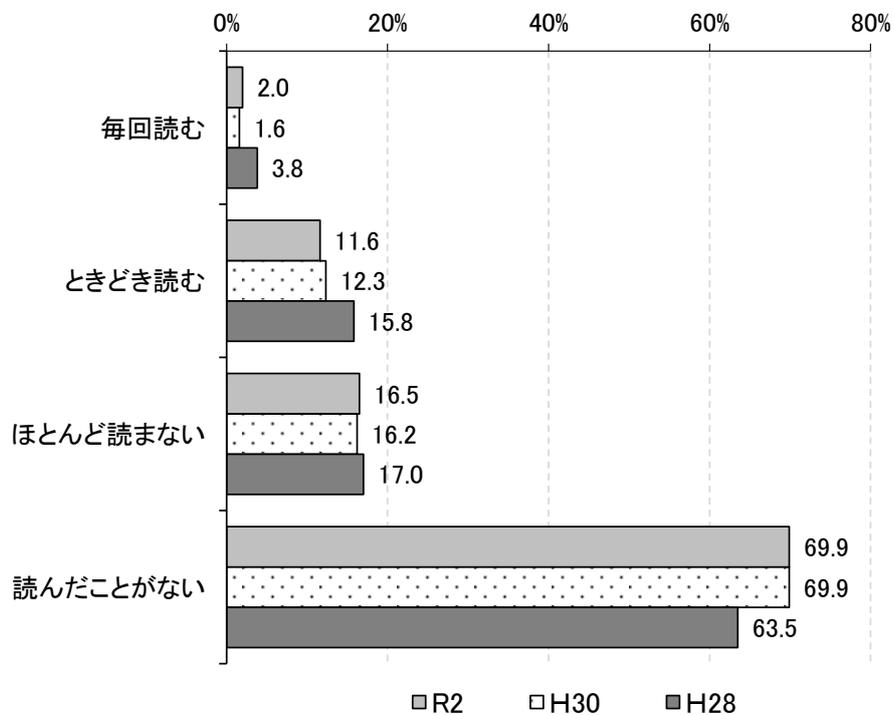
5. 情報提供について

5-1 広報たじみ【Tajimist (たじみすと)】を読んでいますか

「読んだことがない」が69.9%と最も高く、次いで「ほとんど読まない」が16.5%、「ときどき読む」が11.6%となっている。また、「毎回読む」と「ときどき読む」を合わせた“読む”は13.6%、「ほとんど読まない」と「読んだことがない」を合わせた“読まない”は86.4%となっている。

過去の調査と比較すると、平成28年調査から“読む”はやや減少傾向に、“読まない”はやや増加傾向にある。

図 5-1-1 「広報たじみの閲読頻度」(過年度比較)

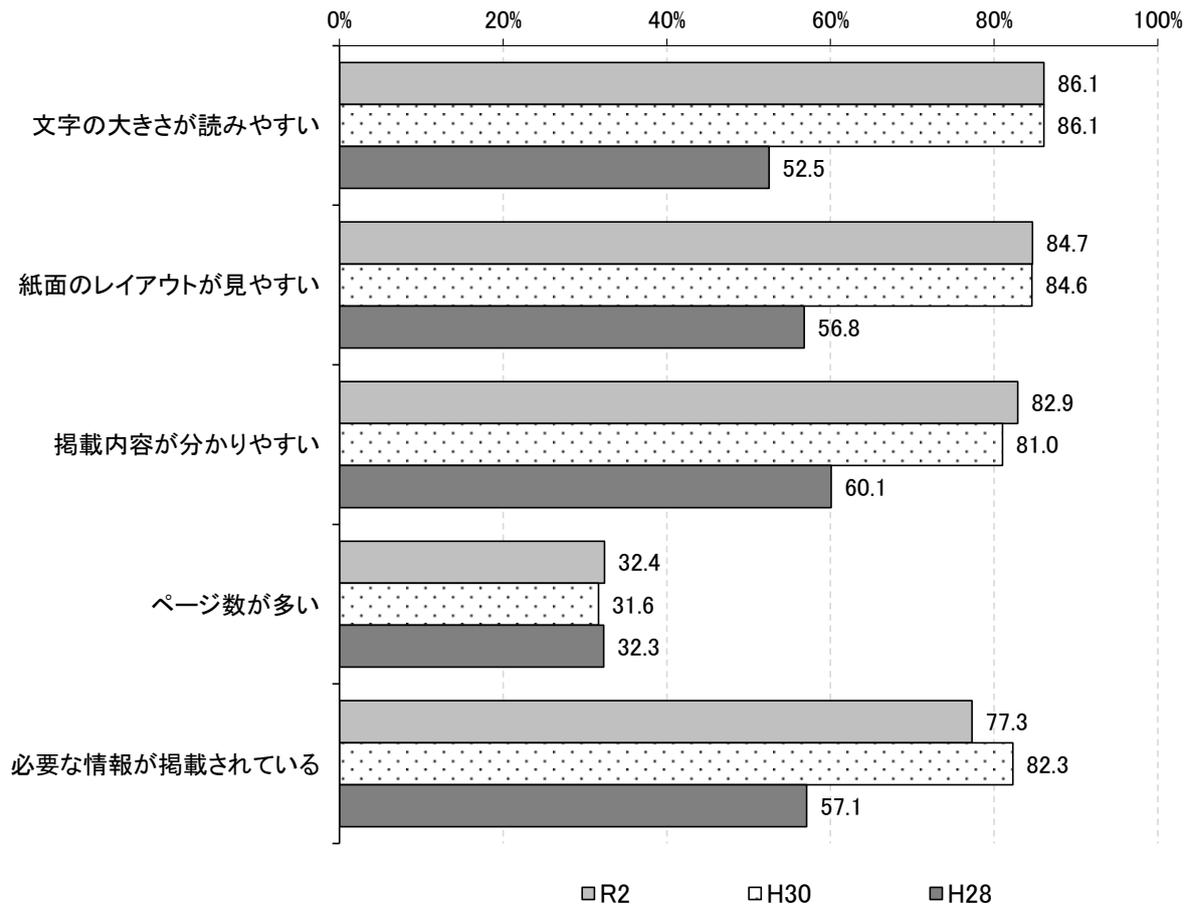


5-2 広報たじみ【Tajimist (たじみすと)】の内容

「文字の大きさが読みやすい」が86.1%で最も高くなっており、次いで「紙面のレイアウトが見やすい」が84.7%、「掲載内容が分かりやすい」が82.9%となっている。

過去の調査と比較すると、平成30年調査から「必要な情報が掲載されている」がやや低下している。

図 5-2-1 「広報たじみの内容に対する意見」(過年度比較)

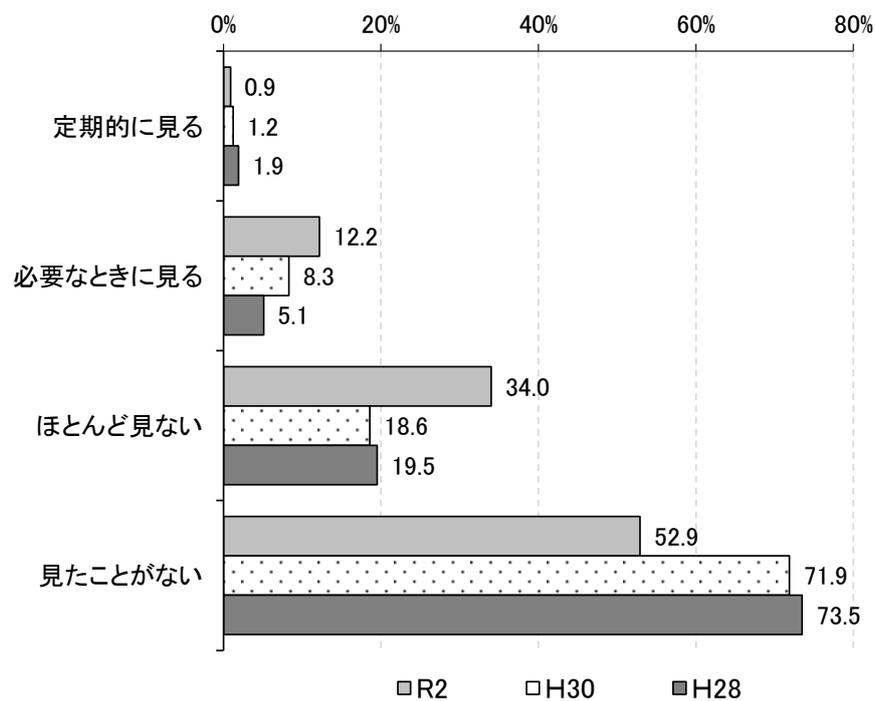


5-3 市のホームページ

「見たことがない」が52.9%と最も高く、次いで「ほとんど見ない」が34.0%、「必要なときに見る」が12.2%となっている。また、「定期的に見る」と「必要なときに見る」を合わせた“見る”は13.1%、「ほとんど見ない」と「見たことがない」を合わせた“見ない”は86.9%となっている。

平成28年調査、平成30年調査と比較すると、“見る”は増加、“見ない”は減少傾向にある。

図 5-3-1 「ホームページ閲覧頻度」(過年度比較)

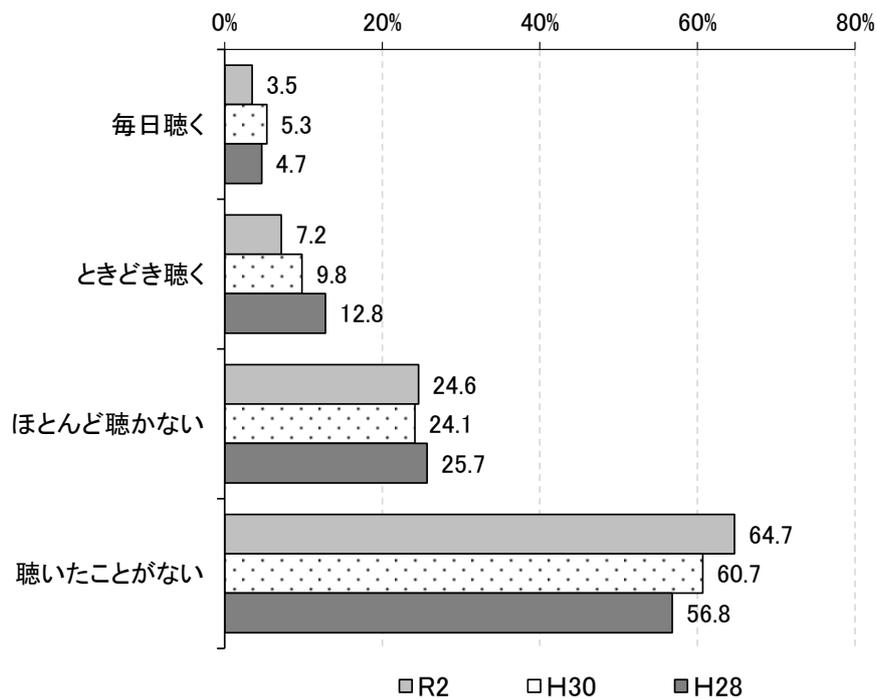


5-4 FMたじみ (エフエムピピ)

「聞いたことがない」が64.7%と最も高く、次いで「ほとんど聴かない」が24.6%、「ときどき聴く」が7.2%となっている。「毎日聴く」と「ときどき聴く」を合わせた“聴く”は10.7%、「ほとんど聴かない」と「聞いたことがない」を合わせた“聴かない”は89.3%となっている。

平成28年調査、平成30年調査と比較すると、“聴く”は減少、“聴かない”は増加傾向にある。

図 5-4-1 「FMたじみの聴取頻度」(過年度比較)

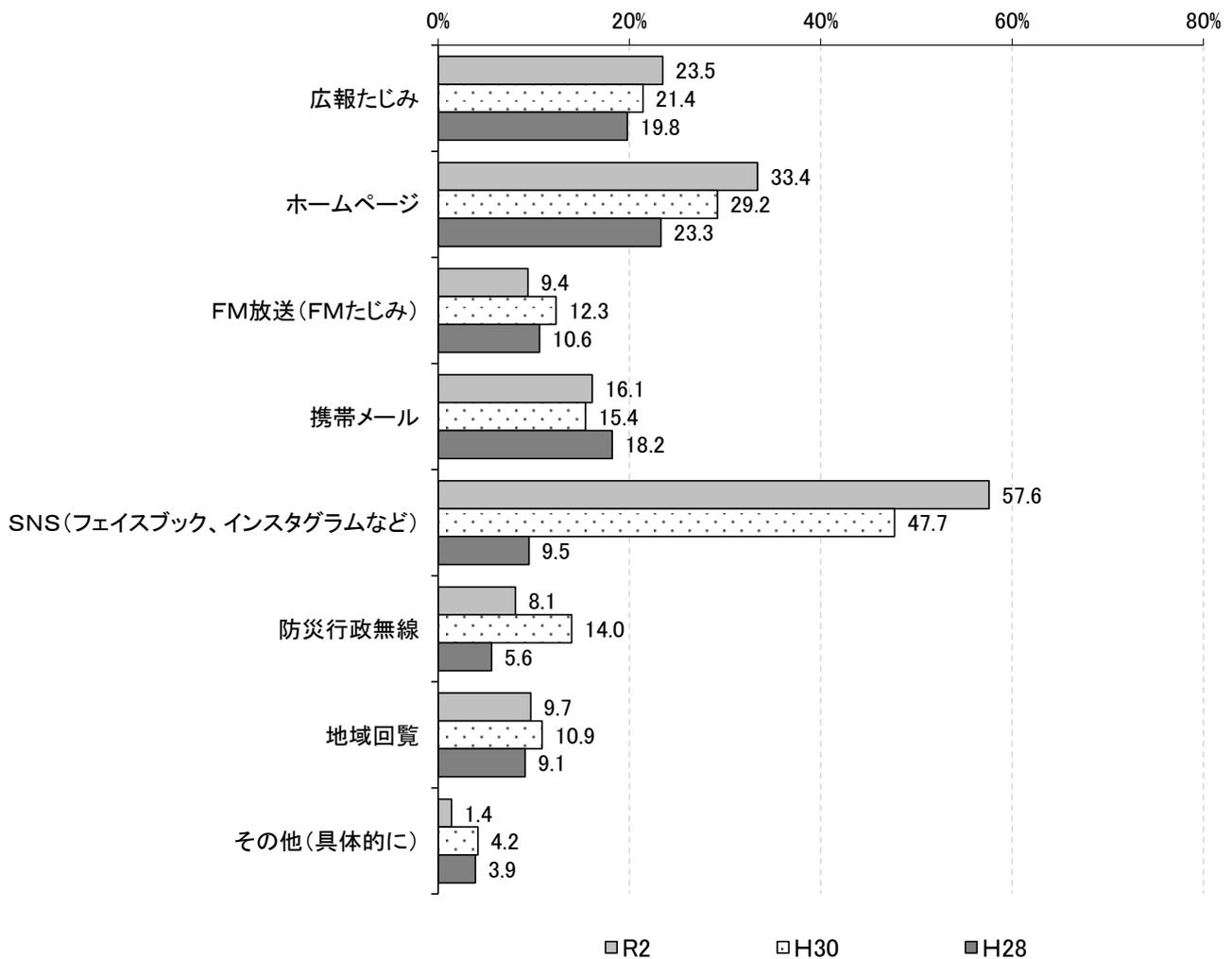


5-5 市の広報手段

「SNS（フェイスブック、インスタグラムなど）」が57.6%と最も高く、次いで「ホームページ」が33.4%、「広報たじみ」が23.5%となっている。

過去の調査と比較すると、「SNS（フェイスブック、インスタグラムなど）」が大きく増加しているほか、「広報たじみ」と「ホームページ」も増加傾向となっている。

図 5-5-1「市の広報手段」(過年度比較)



参考資料

依頼文書および調査票

多治見市「市民意識調査」

ご協力をお願い

日頃は多治見市政にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、市では、隔年で実施している「市民意識調査（アンケート）」を、令和2年度に実施します。

このアンケートは、市民の皆さまから市の施策や行政サービスに対するご意見をお聞かせいただき、今後の市政運営や施策形成の際の基礎資料とするためのものです。

今回は、新型コロナウイルス感染症に関する設問を特設（追加）しています。

調査を行うにあたり、市内にお住まいの16歳以上の方から、2,000人を無作為に抽出して対象者を選ばせていただきました。アンケートは無記名回答とし、結果は統計的に処理され、個人的な意見や考えが外部にもれることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年8月25日

多治見市長 古川 雅典

【ご記入にあたってのお願い】

1. 質問には、できるだけ封筒のあて名の方ご本人がお答え下さい。都合により回答できない場合は、家族のどなたでも構いませんので、代わってご記入ください。その場合は記入された方の立場でお答えください。
2. 住所や氏名をご記入いただく必要はありません。
3. ご回答にあたっては、指示のある数だけ、答えの番号に○印をつけてください。
4. お答えの中で、「その他」を選んだ時は、その内容を具体的に記入してください。

※このアンケートをご記入いただきましたら、恐縮ですが同封の返信用封筒で
令和2年9月25日（金）までにご返送ください。切手は不要です。

※インターネットでパソコンやスマートフォンからも回答いただけます。
インターネットで回答いただいた方は返信用封筒で返送いただく必要はありません。

<https://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/kocho/ishikichosa/r2ishikichosa2.html>



インターネット入力用 ID

(IDはランダムに発行されています。個人を識別できるデータと関連付けることはありません。)

ご不明な点がございましたら、担当までお問い合わせください。

担当：多治見市 企画部 秘書広報課（小久保、水野、加藤）

電話 0572-22-1372 Eメール hisyokoho@city.tajimi.lg.jp

問1～問5は新型コロナウイルス感染症に関する質問です

【問1】 今後、新型コロナウイルス感染症の対策として優先度が高いと考える項目を**3つまで選び**○印をつけてください。

- 1 一人ひとりの基本的感染症対策（身体的距離（ソーシャルディスタンス）、マスクの着用、手洗い）
- 2 医療体制の充実
- 3 PCR検査体制の充実
- 4 災害時における避難所の感染症対策
- 5 働き方の新しいスタイル（テレワーク、時差出勤など）
- 6 経済復興
- 7 学校への施策（休校、授業のあり方など）
- 8 生活困窮者への支援
- 9 施設やイベントの感染予防対策
- 10 買い物や諸手続きのオンライン化
- 11 その他（具体的に） []

【問2】 新型コロナウイルス感染症への多治見市の学校教育に対する評価についておたずねします。次の項目についてあてはまるものをそれぞれ**1つずつ選び**○印をつけてください。

(1) 休校の対応（国が、3月2日～5月24日まで一斉休校としたこと）

- | | | |
|-------|--------------|---------------|
| 1 適切 | 2 どちらかといえば適切 | 3 どちらかといえば不適切 |
| 4 不適切 | 5 わからない | |

(2) 夏休みの対応（市が、学習の遅れを早期に取り戻すため、夏季休暇を9日間に短縮したこと）

- | | | |
|-------|--------------|---------------|
| 1 適切 | 2 どちらかといえば適切 | 3 どちらかといえば不適切 |
| 4 不適切 | 5 わからない | |

【問3】 多治見市独自の経済対策についておたずねします。次の項目についてあてはまるものをそれぞれ**1つずつ選び**○印をつけてください。

(1) テイクアウト200円引き『タジミールゴー』

- | | | | | |
|------|--------|--------|------|---------|
| 1 満足 | 2 やや満足 | 3 やや不満 | 4 不満 | 5 わからない |
|------|--------|--------|------|---------|

(2) 美濃焼購入最大40%引き『美濃焼GO』

- | | | | | |
|------|--------|--------|------|---------|
| 1 満足 | 2 やや満足 | 3 やや不満 | 4 不満 | 5 わからない |
|------|--------|--------|------|---------|

【問4】 1人10万円の特別定額給付金の支給に関して多治見市のスピード感についておたずねします。あてはまるものを**1つ選び**○印をつけてください。

- | | | | | |
|------|--------|--------|------|---------|
| 1 満足 | 2 やや満足 | 3 やや不満 | 4 不満 | 5 わからない |
|------|--------|--------|------|---------|

【問5】 新型コロナウイルス感染症のまん延により、自分の生活に変化はありましたか。あてはまるものに○印をつけてください。（複数回答可）

- 1 マスクの着用や手洗いを徹底するようになった
- 2 外出、外食を控えるなど三密を避ける行動をとるようになった
- 3 公共交通機関の利用を控えるようになった
- 4 趣味、サークル活動を自粛したり、やり方を工夫したりするようになった
- 5 インターネットやSNSの利用が増えた（ネットショッピングなど）
- 6 働き方が変わった（テレワーク、時差出勤など）
- 7 変わらない
- 8 その他（具体的に） []

【参考資料】

↓ここからは、通常の質問です

【問6】 多治見市の住みごちについて、日頃感じていることを**1つ選び**○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 2 どちらかといえば住みやすい |
| 3 どちらかといえば住みにくい | 4 住みにくい |

【問7】 今後も多治見市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを**1つ選び**○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1 住み続けたい | 2 当分は住み続けるつもり |
| 3 できれば他市町村へ移りたい | 4 勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある |
| 5 わからない | |

【問8】 次の項目について、はい・いいえの**どちらかに**○印をつけてください。

項 目	はい	いいえ
① ごみの23分別のルールは知っていますか	1	2
② 家庭内で防災対策を話し合っていますか	1	2
③ 避難場所や避難経路を知っていますか	1	2
④ かかりつけの医師はいますか	1	2
⑤ 高齢者の介護に関する悩みはありますか	1	2
⑥ 子育てに関する悩みはありますか	1	2
⑦ 外国の文化に興味・関心がありますか	1	2
⑧ この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがありますか	1	2
⑨ この1年間に、ボランティア活動に参加したことがありますか	1	2
⑩ 市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っていますか	1	2

【問9】 多治見市のまちづくりに対する満足度をおたずねします。次の項目についてあなたのお考えに最も近いものをそれぞれ**1つずつ選び**、番号に○印をつけてください。

設問項目	評 価				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
〈記入例〉〇〇〇〇の整備	1	2	③	4	5

(1) 安心して子育て・子育てするまちづくり

① 子育て支援や少子化対策	1	2	3	4	5
② 幼稚園や保育園の保育サービス	1	2	3	4	5
③ 小・中学生の学力・体力定着	1	2	3	4	5
④ 小・中学校における教育環境	1	2	3	4	5

(2) 健康で元気に暮らせるまちづくり

① 健康増進に向けた活動の機会	1	2	3	4	5
② 市内医療機関の充実	1	2	3	4	5
③ スポーツを楽しむ機会	1	2	3	4	5
④ 介護予防・高齢者福祉	1	2	3	4	5
⑤ 障がい者福祉	1	2	3	4	5

(3) にぎわいと活力のあるまちづくり

	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
① 地場産業への支援	1	2	3	4	5
② 企業誘致	1	2	3	4	5
③ 起業支援	1	2	3	4	5
④ 中心市街地の活性化	1	2	3	4	5
⑤ 祭りやイベントの開催	1	2	3	4	5
⑥ 観光PR	1	2	3	4	5
⑦ 地域の農業振興	1	2	3	4	5
⑧ 子育てや女性の就業への支援	1	2	3	4	5
⑨ 芸術や文化に触れる機会	1	2	3	4	5

(4) 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

① 消防・救急体制の整備	1	2	3	4	5
② 水道水の安定供給	1	2	3	4	5
③ 下水道の整備	1	2	3	4	5
④ 大規模災害に備えた防災対策	1	2	3	4	5
⑤ まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	1	2	3	4	5
⑥ 自然環境の保全や環境教育の推進	1	2	3	4	5
⑦ 緑化の推進	1	2	3	4	5
⑧ 景観の保全	1	2	3	4	5
⑨ 地域の特性にあわせた計画的な土地利用	1	2	3	4	5
⑩ 渋滞緩和のための道路整備	1	2	3	4	5
⑪ 鉄道やバスなどの公共交通の充実	1	2	3	4	5
⑫ 簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	1	2	3	4	5
⑬ 交通安全対策	1	2	3	4	5

(5) 市民が互いに助け合い学び合うまちづくり

① 地域の防犯対策	1	2	3	4	5
② 生涯学習の機会	1	2	3	4	5
③ 子どもの権利に関する意識	1	2	3	4	5
④ 地域で支えあう福祉体制	1	2	3	4	5
⑤ 男女平等意識	1	2	3	4	5
⑥ 人権意識	1	2	3	4	5

(6) 政策を実行・実現する行財政運営

① 計画的な行財政運営	1	2	3	4	5
② 職員の市民への対応	1	2	3	4	5
③ 情報化社会への対応	1	2	3	4	5
④ 市政への市民参加の機会	1	2	3	4	5
⑤ 情報公開や広報活動	1	2	3	4	5

【参考資料】

【問 10】 多治見市のまちづくりについて、今後、力をいれてほしいものについておたずねします。

次の項目の中から、重要度の高いものを**5つまで選び**、○印をつけてください。

<安心して子育て・子育てするまちづくり>		22 大規模災害に備えた防災対策	
1 子育て支援や少子化対策		23 まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	
2 幼稚園や保育園の保育サービス		24 自然環境の保全や環境教育の推進	
3 小・中学生の学力・体力定着		25 緑化の推進	
4 小・中学校における教育環境		26 景観の保全	
<健康で元気に暮らせるまちづくり>		27 地域の特性にあわせた計画的な土地利用	
5 健康増進に向けた活動の機会		28 渋滞緩和のため道路整備	
6 市内医療機関の充実		29 鉄道やバスなどの公共交通の充実	
7 スポーツを楽しむ機会		30 簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	
8 介護予防・高齢者福祉		31 交通安全対策	
9 障がい者福祉		<市民が互いに助け合い学び合うまちづくり>	
<にぎわいと活力のあるまちづくり>		32 地域の防犯対策	
10 地場産業への支援		33 生涯学習の機会	
11 企業誘致		34 子どもの権利に関する意識	
12 起業支援		35 地域で支えあう福祉体制	
13 中心市街地の活性化		36 男女平等意識	
14 祭りやイベントの開催		37 人権意識	
15 観光PR		<政策を実行・実現する行財政運営>	
16 地域の農業振興		38 計画的な行財政運営	
17 子育てや女性の就業への支援		39 職員の市民への対応	
18 芸術や文化に触れる機会		40 情報化社会への対応	
<安全・安心で快適に暮らせるまちづくり>		41 市政への市民参加の機会	
19 消防・救急体制の整備		42 情報公開や広報活動	
20 水道水の安定供給		43 その他（具体的に）	
21 下水道の整備		[]	

【問 11】 多治見市の広報についておたずねします。

(1) あなたは、広報たじみ (Tajimist (たじみすと)、月1回発行) を読んでいますか。
あてはまるものを**1つ選び**○印をつけてください。

1 毎回読む	2 ときどき読む	3 ほとんど読まない	4 読んだことがない
--------	----------	------------	------------

(2) 広報たじみ (Tajimist (たじみすと)、月1回発行) についておたずねします。

はい・いいえの**どちらかに**○印をつけてください。

項 目	はい	いいえ
① 文字の大きさは読みやすいですか	1	2
② 紙面のレイアウトは見やすいですか	1	2
③ 掲載内容は分かりやすいですか	1	2
④ ページ数は多いですか	1	2
⑤ 必要な情報は掲載されていますか	1	2

(3) あなたは、多治見市のホームページを見ますか。

あてはまるものを**1つ選び**○印をつけてください。

- 1 定期的に見る 2 必要などきに見る 3 ほとんど見ない 4 見たことがない

(4) あなたは、FMたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか。
あてはまるものを**1つ選び**○印をつけてください。

- 1 毎日聴く 2 ときどき聴く 3 ほとんど聴かない 4 聴いたことがない

(5) これからの広報手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答可）

- | | |
|--------------------------|----------|
| 1 広報たじみ | 2 ホームページ |
| 3 FM放送（FMたじみ） | 4 携帯メール |
| 5 SNS（フェイスブック、インスタグラムなど） | 6 防災行政無線 |
| 7 地域回覧 | |
| 8 その他（具体的に） [|] |

【問12】 あなた自身のことについておたずねします。

次の項目についてあてはまるものをそれぞれ**1つずつ選び**○印をつけてください。

(1) 性別

- 1 女性 2 男性 3 答えない

(2) 年齢

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 16・17歳 | 2 18・19歳 | 3 20～29歳 | 4 30～39歳 |
| 5 40～49歳 | 6 50～59歳 | 7 60～69歳 | 8 70歳以上 |

(3) お住まいの小学校区

- | | | | | |
|-------|--------|-------|------|-------|
| 1 養正 | 2 精華 | 3 共栄 | 4 昭和 | 5 小泉 |
| 6 池田 | 7 市之倉 | 8 滝呂 | 9 南姫 | 10 根本 |
| 11 北栄 | 12 脇之島 | 13 笠原 | | |

校区が分からない場合は町名をご記入ください

多治見市（_____）町

(4) 職業

- | | |
|------------|--------------------|
| 1 農林業 | 2 自営業（卸売・小売・サービス業） |
| 3 自営業（製造業） | 4 会社員・公務員・団体職員 |
| 5 パート・内職 | 6 学生 |
| 7 無職 | 8 その他（具体的に） [|
| |] |

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないかをお確かめの上、同封の封筒に入れて

令和2年9月25日（金）までに、お近くのポストへ投函してください。（切手は不要です。）

【参考資料】

多治見市「市民意識調査（高校生用）」 ご協力をお願い

日頃は多治見市政にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。
さて、市では、隔年で実施している「市民意識調査（アンケート）」を、令和2年度に実施します。

このアンケートは、市内高校生の皆さまから市の施策や行政サービスに対するご意見をお聞かせいただき、今後の市政運営や施策形成の際の基礎資料とするためのものです。

今回は、新型コロナウイルス感染症に関する設問を特設（追加）しています。

アンケートは無記名回答とし、結果は統計的に処理され、個人的な意見や考えが外部にもれることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年8月25日
多治見市長 古川 雅典

【ご回答にあたってのお願い】

インターネットでパソコンやスマートフォンから回答してください。



<https://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/kocho/ishikichosa/r2ishikichosa-hs.html>

インターネット入力用 ID

(IDはランダムに発行されています。個人を識別できるデータと関連付けることはありません。)

※**令和2年9月25日（金）**までに回答してください。

ご不明な点がございましたら、担当までお問い合わせください。

担当：多治見市 企画部 秘書広報課（小久保、水野、加藤）

電話 0572-22-1372 Eメール hisyokoho@city.tajimi.lg.jp

令和2年度 市民意識調査報告書

令和3年2月発行

発行：多治見市役所 企画部 秘書広報課

〒507-8703 多治見市日ノ出町2丁目15番地

TEL 0572-22-1372

調査機関：株式会社 東京商エリサーチ 岐阜支店

〒500-8842 岐阜県岐阜市金町6-4

岐阜東京海上日動ビルディング 2F

TEL 058-265-0206